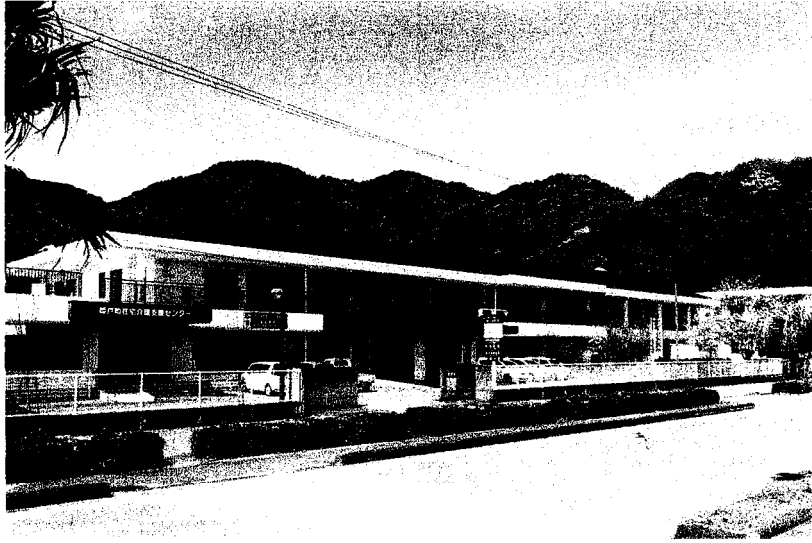


令和5年度

社会福祉法人姫戸福祉会

事業報告書



社会福祉法人姫戸福祉会

- 特別養護老人ホーム翔洋苑
- 特別養護老人ホーム翔洋苑ユニット棟
- 翔洋苑デイサービスセンター
- 姫戸町在宅介護支援センター翔洋苑
- 姫戸町ホームヘルプステーション翔洋苑

TEL (0969) - 58 - 3611 (代表)

在介専用 58 - 3633

FAX (0969) - 58 - 3618

【URL】 <http://www.shoyoen.or.jp>

【E-mail】 info@shoyoen.or.jp

令和5年（2023年）度 社会福祉法人姫戸福祉会事業報告書

I. 理事会・評議員会の開催、及び監事監査の実施等

【1】理事会の開催

日時・出席者等	議 案
第1回 理事会 ○開催の通知 令和5年5月24日 ○開催日 令和5年6月7日 午後2時～3時45分 ○出席者 理事5名、監事1名	議案第1号 令和4年度事業報告（案）の承認について 議案第2号 令和4年度決算（案）の承認について 議案第3号 令和4年度監事監査報告について 議案第4号 理事・監事候補者の推薦について 議案第5号 評議員会の開催日時及び場所の決定について 議案第6号 評議員会の目的及び議案の概要の決定について
第2回 理事会 ○書面による開催の通知 令和5年6月22日 ○決議があったとみなされた日 令和5年6月22日 理事6名の同意、監事2名の確認	議案第1号 理事長の選定について
第3回 理事会 ○書面による開催の通知 令和5年9月4日 ○決議があったとみなされた日 令和5年9月7日 理事6名の同意、監事2名の確認	議案第1号 評議員会の開催日時及び場所の決定について 議案第2号 評議員会の目的及び議案の概要の決定について
第4回 理事会 ○開催の通知 令和5年10月9日 ○開催日 令和5年10月24日 午後2時～3時05分 ○出席者 理事5名、監事2名	議案第1号 給与規程の改正について 議案第2号 非常勤職員給与規程の改正について 議案第3号 経理規程及び経理規程施行細則の改正について 議案第4号 理事長の職務執行状況の報告について
第5回 理事会 ○書面による開催の通知 令和6年3月28日	議案第1号 就業規則の改正について 議案第2号 非常勤職員就業規則の改正について 議案第3号 給与規程の改正について

<p>○決議があったとみなされた日 令和 6 年 3 月 30 日 理事 6 名の同意、監事 2 名の確認</p>	<p>議案第 4 号 非常勤職員給与規程の改正について 議案第 5 号 令和 5 年度資金収支補正予算書（案）について 議案第 6 号 令和 6 年度社会福祉法人姫戸福祉会事業経営計画（案）について 議案第 7 号 令和 6 年度社会福祉法人姫戸福祉会資金収支予算書（案）について 議案第 8 号 継続契約の確認について 議案第 9 号 理事長の職務の執行状況の報告について</p>
-------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【2】評議員会の開催

日時・出席者等	議 案
<p>第 1 回 評議員会 ○開催の通知 令和 5 年 6 月 8 日 ○開催日 令和 5 年 6 月 22 日 10 時～11 時 35 分 ○出席者 評議員 6 名</p>	<p>議案第 1 号 令和 4 年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認、並びに令和 4 年度事業報告について 議案第 2 号 理事及び監事の選任について 議案第 3 号 定款の変更について</p>
<p>第 2 回 評議員会 ○書面による開催の通知 令和 5 年 9 月 8 日 ○決議があったとみなされた日 令和 5 年 9 月 11 日 評議員 7 名の同意</p>	<p>議案第 1 号 定款の変更について</p>

【3】監事監査の実施

日時・出席者等	監 査 項 目
<p>○開催の通知 令和 5 年 5 月 24 日 （姫福発第 41 号） ○監査の実施日 令和 5 年 6 月 2 日 ○監査報告書の提出日 令和 5 年 6 月 3 日 監事：本田明男・山下保</p>	<p>社会福祉法第 45 条の 18、28 及び関係法令に基づき、令和 4 年度事業に係る理事の業務の執行の状況及び法人の財産の状況</p>

II. 部門別実績報告

【1】ISO 部門

(1) 年間事業報告

月	日	摘 要	備 考
4月	6日	事故発生防止委員会	7名
5月	5日	事故発生防止委員会	8名
	30日	第1回メンテナンス	7名
6月	1日	事故発生防止委員会	5名
7月	6日	事故発生防止委員会	8名
8月	3日	事故発生防止委員会	9名
9月	7日	事故発生防止委員会	7名
10月	5日	利用者満足度調査 職員アンケート 事故発生防止委員会	8名
11月	9日	事故発生防止委員会	7名
	15日～16日	サーベイランス審査	10名
12月	22日	第2回メンテナンス	9名
	7日	事故発生防止委員会	6名
1月	11日	事故発生防止委員会	6名
2月	1日～	第1回内部監査	14名
	8日	事故発生防止委員会	7名

(2) 内部監査報告

No.	監査日時		監査 番号	監査部門	内部監査員		指摘件数		立会い
	監査日	時 間			リ-ダ-	監査員	不適合	要観察	
1	2月15日	14:00～14:30	2024-01	居宅介護支援	汐口	野村	0	0	河野
2	2月12日	13:00～13:50	2024-02	訪問介護	奥田	宮崎	0	0	
3	2月14日	14:30～15:00	2024-03	通所介護	坂本	清水	0	1	須崎
4	2月5日	14:00～15:00	2024-04	従来型特養	出口	前森	0	1	
5	2月7日	14:00～15:00	2024-05	運営管理責任者	山下	花田	0	0	
6	2月1日	10:00～10:45	2024-06	ユニット型特養	小西	北垣	0	0	

(3) ヒヤリ・びっど報告

月	総務		特養(従来型)		特養(ユニット型)		通所介護		訪問介護		グループホーム		厨房	
	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析
4月	5		104	○	49	○	30		34	○	175	○	41	○
5月	12		98	○	18	○	24		27	○	136	○	36	○
6月	6		75	○	20	○	32		32	○	112	○	27	○
7月	8		70	○	24	○	32		38	○	64	○	40	○
8月	8		46	○	26	○	16		36	○			46	○
9月	7		77	○	39	○	17		29	○			37	○
10月	8		108	○	63	○	31		23	○			33	○
11月	12		145	○	91	○	34		34	○			25	○
12月	11		130	○	46	○	58		29	○			39	○
1月	13		107	○	44	○	60		37	○			30	○
2月	13		132	○	28	○	32		26	○			37	○
3月	0		65	○	34	○	31		24	○			18	○
平均	9	0回	96	12回	40	12回	33	0回	31	12回	122	4回	34	12回
評価	<p>入所(居)者様の転倒リスクや食事リスクに関すること等のヒヤリはつとが率があった。</p> <p>フロア会議、各チームでハイルスクのスクリーニングを行い、ヒヤリはつと報告の啓蒙・職員間での情報共有を図り、骨折ゼロに取り組みていたが、転倒骨折による事故、介助による骨折(圧迫骨折)等、骨折が発生してしまつた。骨折事故が多かつた為勉強会を実施と、不適切なケアの研修を行い、グループミーティングでの勉強会が実施できた。来年度もフロア会議、チーム会議でリスクの検討を行い骨折ゼロを目標に取り組んでいきたい。</p> <p>毎月のフロア会議で、ヒヤリはつとの検討を、病室事故の予防に努めた。重要な件には行かれる。病的に検討しながら再発予防につなげている。また、環境面での改善も行いなから事故等の予防につなげている。</p> <p>一人暮らしで薬の管理が難しくなってきた。病院への受診には行かれるが、薬の容量も多く飲み忘れておられる方が増えている。服薬の確認や声かけを行い、担当ケアマネに状況を報告し連携を取ることが出来ている。</p> <p>フロア会議にて報告・検討を行った。最終確認で防げるものもあるため、実な確認の徹底を行っていく必要がある。異物混入の不適合が多かつた。原因を把握し再発防止に努める。</p>													

(4) 不適合サービス報告

②従来型特養

月	事故・苦情・意見の別	概要	処置等
5月	事故(アクシデント)	口腔ケア後に顔色不良、脱力状態で発見。声掛けに反応なく、吸引やハイムリック法(胸部突き上げ)実施。食物残渣を少量排出するが状態変わらない為救急搬送実施。上天草総合病院で30分程蘇生処置継続されるが改善なく、死亡確認される	・誤嚥のリスク(嚥下状態、食事時の意識、姿勢等)を再度検討し、テーブル席を見直す。 ・チームごとの誤嚥性肺炎のリスク者は毎月検討出来ているが、周知が足りないのではないかと。 ・常食化する際は、介助者がいるテーブルに変更する
6月	事故	パット交換時物音した為確認するとイズエ様がウォーカーで歩こうとされバランスを崩し転倒。右頬に1cm×0.5cm程の擦り傷あり。	看護師に報告、処置依頼。 トイレ介助が終わったら本人に休まれるか声かけ行う。
	事故(アクシデント)	腰痛訴えあり。様子観察していたが、痛み状況したため、上天草総合病院 整形外科受診。受診の結果、第3腰椎圧迫骨折の診断ある。	・身体機能の低下と高度な認知機能の低下による転倒、骨折リスクが高い方である事を全職員へ再周知し、センサー作動時(特に早朝)は最優先で駆けつける。
7月	事故	テーブルから移動する際に、左肘付近に出血されているのを発見する。	車椅子へ移乗介助行う際は、アームサポートを上げて移乗介助行うようにする。
8月	事故(アクシデント)	居室から独語あり、訪室し確認行くと窓際付近で四つん這いの状態で出血されている。センサー作動なく、夜勤者二名とも他入居者の介助を行っていた。右腕上辺りに4cm程の傷あり。	居室の環境整備。 センサーの位置、種類を検討する。 接触する可能性がある場所は保護を行う。
	事故(アクシデント)	食事介助をした職員が配薬実施。その後、配薬担当者が配薬に来たため誤薬に気付く	服薬マニュアルに沿った対応。 配薬担当者が食事介助中だった場合は、他の職員が交代して配薬業務を行う。
	苦情(意見)	夕食後南側ホールで過ごされていたが具合が悪くなり職員に訴えられたが対応が遅く対応に対し不満あり。DS前森職員に話される。	南側ホールに1人でいらっしゃる時は中央ホールに案内し職員の目の行き届くところで対応を行う。
9月	事故	居室より声あり、確認するとタンスに掴まって立たれており、確認すると1cm程の傷を発見する。	タンス等必要のない物は居室に置かないようにする。 昼夜逆転傾向にある為日中の活動量を増加する。
	事故	特浴介助時、衣類着脱の際に皮膚に衣類をひっかけて表皮剥離させてしまう。	ストレッチャーに移乗した後は、皮膚がどこにもあたっていないか確認し介助を行う。
	事故	パット交換の際に右手首あたりに2cm×2cmの表皮剥離を発見する。	皮膚が乾燥しやすい方には保湿ローションを使用する。
	事故(アクシデント)	起床介助後、廊下の途中でズボンとリハビリパンツがずり下がり足がもつれ転倒される。痛みあり、天草地域医療センター 整形外科受診。検査の結果、左大腿骨転子部骨折との診断あり、手術目的での入院となる	パット交換時、拒否が強い場合は時間を置いて再度声かけ行う。 起床時歩行状態が悪い時は二名介助もしくは車椅子使用行う。
	事故	朝、口腔ケアの際に左口角に出血痕あり。乾燥していた為拭いて確認すると左下唇に二か所切れている部分があった。	口腔ケアや体位変換、入浴時介助拒否がある場合は、安全を確認して対応する。
10月	事故(アクシデント)	夜間不眠ありホールで見守り実施。夜間居室誘導行おうと声掛けするが痛み訴えあり断られる。朝まで様子観察するが、痛み継続したため、天草地域医療センター 整形外科受診。検査の結果、右大腿骨転子部骨折との診断ある。	・ソファや椅子に座られる際には勢いよく座られないように、声掛けや体を支える介助を行う ・歩けるから大丈夫とは思わず、その時その時の身体状況や歩行状態に合わせて付き添い等の介助を行う
	事故(アクシデント)	●●●様に●●●様の食前薬を誤って提供してしまった。	食前薬に名前の記載がなかった際にすぐに看護師に確認する。 食前薬も配薬担当者が提供を行う。
	事故(アクシデント)	南側ホールから物音有り、確認するとりんどう居室前で右側を下にして転倒しておられるショート利用者様を発見する。数日後、右肩と腰部に痛み訴えあり、上天草総合病院 整形外科受診。検査の結果、第12胸椎圧迫骨折との診断ある。	見守りが出来るように他のショート入居者と一緒に中央ホールで過ごして頂く。

	事故	歩行器使用しトイレ後誘導の際に膝折れし、前傾になった際に歩行器で顔を打たれる。眉間付近に擦れたような傷あり。	日中の活動量を増やし夜間の安眠に繋げる
	事故(アクシデント)	本人様の横で名前を読み上げ実施。本人様より「うん」とうなずきあり、口腔内に薬を入れるまで介助実施。服薬を確認。 提供後、起床介助を行っていた職員に、「この方が〇〇様ですよ」と再度確認すると、「今起きて頂いている方がです」との返答あり、誤薬に気付く	服薬マニュアルに沿った対応。 配薬担当者が食事介助中だった場合は、他の職員が交代して配薬業務を行う。
	事故(アクシデント)	(薬の提供ない方の)白湯を提供したボトルを洗浄する際に、薬が溶けた痕跡がある事に気づき誤薬が発覚した。	薬を溶かす時はボトルと薬の名前を確認。ボトルに入れ違いが起きないように看護職員二名又は他の職員二名で必ず確認。薬の袋も捨てずボトルと一緒に提供するまでは保管しておく。
	事故(アクシデント)	他入居者様の起床介助に向かう際、「トイレに行きたいので早く薬を下さい」との訴えあり、配薬実施。その後、他入所様より「薬を下さい」との訴えあり、誤薬に気付く。	・服薬マニュアルに沿った対応(配薬担当者が配薬する。薬を飲む介助をする時は、「名前と朝・昼・夕、日付」を入所者様と一緒に読み上げる)を実施する。 ・同性の方の薬袋には線を引いたり、記名方法を変える等で識別しやすくする。
11月	事故	持参薬を朝食後、夕食後1回分多く持って来ておられるのに気づかず、夜勤者チェック時に朝食後の薬が残っている事に気づき、ご家族に連絡し返却する。	ショートの方の薬のチェックの仕方を見直す。 ショート利用の際、入所時に確認しセットする。
1月	事故	トイレ後居室に誘導中、左足脛から出血しているのを発見する。廊下を歩行中に急に立ち止まって歩行器にぶつけ表皮剥離させてしまった。	本人の拒否が強い場合は無理に介助を行わず本人に合わせた対応を行う。
	事故(アクシデント)	他入居者の介助中にドンと物音あり。確認確認するつばき居室入口で車椅子から降りドアに挟まっていた。上天草総合病院受診後、左肋骨9番にヒビの診断あり。	自走されている時は、職員が声掛け行い誘導、移乗の介助を行う。
	事故	ご家族よりショート利用中薬の処方を頼まれたいたが看護職員への報告を忘れていた。	ノートを準備し連絡事項は一旦メモを取る。連絡調整やケアカルテに記録が出来たら消すようにする。
2月	事故	昼食後ホールソファから手引き歩行中、本人様の足がもつれ床に転倒。右頭部と右顎付近をテーブルに、後頭部を床にぶつけられる。	歩行介助を行う際は手引き歩行ではなく、横に付き添い脇に腕を通し転倒リスクにすぐに対応出来るようにする。
	事故	他の方の介助中、 〇〇 様が居室に居ないので探す中、南側トイレの便座前で仰向けの状態で倒れておられた。両ひざの痛みの訴えあり。	排泄回数が多い時や歩行状態が悪い時は付き添い見守りや、一部介助実施する。
	事故	夜間不眠状態ありAM7:00頃空腹の訴えあり。ソファに誘導行いご家族持参のお菓子を提供する。お茶の準備をしているとドンと音が聞こえたため確認するとソファから床に転倒、食べ物をつまらせ窒息している状態だった。背部叩打法、ハイムリック法実施するが改善見られず口腔内に指を入れて吐き出してもらおうと呼吸改善する。	お菓子などは口腔内の水分が吸収されやすい為提供するときはお茶も併せて提供行う。 今回は状態が改善されたが今後同様な事が起こりうる可能性高い為、誤嚥や窒息時の対応について再度確認しておく必要がある。
	事故(アクシデント)	2/13の薬の準備をしていると、薬棚に2/12.2/13の朝食後の薬が残っている事に気づく。1/22より直食後薬を昼食後提供に変更になっていた。2/13の朝食後の薬はショート入所時に昼食後に提供予定だった事に気づく。	薬が変更になった場合は、次回利用日に申し送り上がるように記録する。
	事故(アクシデント)	ショート利用時の記録を見たご家族からDS利用時、内服薬が2日分入っていたとの報告あり。昼食後薬を当日1包持たせたがその前のショート記録見たら9日に記録がない為薬を飲ませてないのか?そして昼に統一する話になっていたのに10日の記録は朝9時ごろだったからそれも不思議に思った。とご家族よりある。	薬が変更になった場合、薬袋だけ見るのではなく記録で確認し変更になったこと事を次の利用日まで残しておく。利用途中処方分の薬の服用時間が変更になった場合は、記録だけでなく準備する時に確認できるものを作成しておく。
	事故(アクシデント)	いつもと違う表情あり声掛けすると、「どこもかしこも痛か」と話される。看護職員確認。左乳房から右肩甲骨にかけて痛みが時折ある様子。また、触ると痛み訴えあり。腫脹や熱感、内出血等なし。 上天草総合病院 整形外科受診。検査の結果 骨粗鬆症による第8胸椎 圧迫骨折との診断ある	・前傾姿勢での介助にならないよう介助姿勢に注意する ・痛みや身体機能に応じて、負担がかからないよう2名介助実施 ・痛みに応じた、離床時間や座位時間を持つ(長時間の座位をしない) ・痛みに応じた運動の実施を行い、寝たきりにならないよう予防する

不適合:24 アクシデント:15 意見苦情:1

③ユニット型特養

月	区分	概要	処置等
7月	事故	居室より音がしたので訪室。転倒されていた。右肘に1cm×2cmの剥離	センサー設置し対応する。
8月	事故	ベッド低床時に装具を挟み破損。修理を行う弁償をする。	装具を外された後の保管場所を決める。
	事故	居室より声が聞こえ訪室すると、ベッド横に端坐位の状態。後日痛み有り受診すると左骨盤骨折されていた。	・センサーを設置し、作動時は最優先に伺う。 ・夜間職員の待機場所はしらたけユニットと決め、迅速に訪室対応できるようにする。
	事故	入浴介助時に、右足脛に縦1.5cm×横1cm剥離されている事に気づく。	車いす自走され、フットサポート部分に足が当たる可能性が高かったため、フットサポートを外し、当たりそうな箇所は包帯で巻き、剥離のリスク軽減に努める。
9月	事故	入居者様の居室テレビを、カーテンを閉める際に当り倒してしまう。その際画面にヒビが入る。本人様、ご家族に謝罪し弁償する。	テレビに設置場所を変える。
10月	事故	看護職員が処置の為、訪室すると右下腿に右下腿外側に、0.5cm×0.5cmの表皮剥離、その横に点線状に内出血発見する	・車いすの金具付近にタオル等のクッションで養生する ・レッグウォーマーを使用し外傷を予防する
11月	事故 アクシデント	起床介助時に、入居者様衣類から薬が1錠落ちてきた。確認すると薬は水分で表面が溶けており、どの薬かまでは確認出来なかった。	・薬を服用されたか最後まで見守りを行う。 ・口腔内に飲み残しが無いよう、服薬後も水分補給を促す。
1月	事故 アクシデント	インフルエンザの部署内感染拡大について、アルコール消毒の徹底やマスク着用でや換気、温度湿度の管理等できておらず、職員の意識低下が原因で感染拡大したと思われる。また感染症確認後も初期対応としてのゾーニングの遅さも拡大の原因と考えられる。	感染症対策で決められた事を徹底する。ま職員の意識の低さも問題。ルールを守る風土作りを行う。

事故8件(内アクシデント2件)、意見・苦情0件

④厨房

月	事故・苦情・意見の別	概要	処置等
5月	苦情	配食利用者への主食量の間違い(240gの方へ100g提供)	個人食札、主食量食札、個人献立表、お弁当との指差し確認
6月	事故	主食へ毛髪の混入	ユニフォームへの粘着ローラー掛けの徹底 盛り付け時の目視確認
9月	事故	主食へビニールの混入(3.5cm筒状)	残留塩素試薬を束ねているビニールが混入。箱から出した時に最初に束ねてあるビニールを処分する。
12月	事故	主食へ毛髪の混入	ユニフォームへの粘着ローラー掛けの徹底 盛り付け時の目視確認
2月	事故	配食キャンセルの日にちを間違えて記入した事による配食の未提供	栄養課申し送りノートと配食利用表が違っている時はDSの配食ファイルを確認する。報告を受け者は記入ミスがないか確認する。

事故4件(内アクシデント0件)、意見・苦情1件

⑤通所介護

月	事故・苦情・意見の別	概要	処置等
4月	インシデント	利用者様、爪切りで右手第3と5指を傷つけてしまい出血があったためリバテープにて保護する。看護師に報告した。	明るい場所に移動していただき行う
	インシデント	利用者様、ホールで他の利用者様の起床介助、寝具整理を行っていた際、後方からドンと音がしたため確認すると、利用者様が左の靴が脱げた状態で床にうつ伏せに倒れておられた。その場で椅子に座って頂き、痛みや外傷等の確認を行うが、特に異常は認められず、本人からも特段訴え等はない状況であった。本人からは床につまずいたとの返答ある。	・精神的に不穏な場合は、少し落ち着かれるまで会話等に対応する ・歩行の際に、足があまり上がっていない状況も見受けられるため、本人への促しと訓練での改善にもつなげていくようにする

6月	インシデント	<p>前森美香様、静養後に左上肢を支え歩行付き添っていたが左上肢が離れてしまい足が出ずに左前方にふらつかれ転倒される。外傷や痛みなし。ベッドで横になっていただく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移動される場合には、必ず常時付き添うこととする ・付き添う際には、転倒リスク低減のため、統一した方法で介助を行う
	インシデント	<p>厨房へ食数の報告を忘れており、本日休みの2食が配食台にある時に気付く。</p>	<p>相談員の一日の流れを再度把握し、抜けが無いようにする</p>
7月	苦情	<p>前森美香様、利用の際、食後の臥床前に、現状のベッドの配置について意見がある。ベッドとベッドの間を職員が通って行くことについて、廊下でサービスを受けているような気持ちになるとのこと。前回寝ておられた時に、スクリーンの目隠しもなく、在介玄関から丸見えだったとの言葉もある。また、一部の在介職員は在介玄関から出入りしているのに、デイホールを掃除用具等を持ったまま通って行くことについても、同様の気持ちになるとのことであった。改善可能な面については行うことで了承される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドの配置については、利用者様や職員の意見も聞きながら、再度検討し対応す ・ヘルパー訪問の際には、可能な範囲で在介玄関を使用してもらうよう伝え了承
	インシデント	<p>前森美香様、令和5年7月13日(木)10時50分頃、前森美香様が機能訓練室にてローイング実施中、ズボン左下腿部に血液付着しているを発見する。 確認すると、左下腿後面中央部に0.5cm×0.5cm程度の表皮剥離(下方に垂直に剥離)あり。看護職にて創部確認後に絆創膏にて処置実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブル座位時は椅子下への下肢の巻き込みがないか観察を行っていく。 ・訓練時のセラバンド使用は、内側にあたる部位など皮膚の脆弱さに留意する。 また、結び目は外側で固定し、脆弱な部位との接触を避ける。 ・臀部回旋(お尻を回す)時は「足ふみをしましょう(踏み返し)」など分かりやすい声掛けを行い安定した動作を指示、誘導する。 ・移乗動作が不安定な方は下肢の交差を防ぐ目的で、動作を分けて指示や誘導を行う。 ①椅子に近づく→ ②手すりやテーブルを掴む→ ③下肢を踏み返し臀部を回旋する →④ゆっくり着座する
	インシデント	<p>前森美香様、昼食の介助をしている際に、右肘に1.5cm大、右前腕外側に1cm大の表皮剥離を発見する。2か所ともに出血あり。肘掛けにも血液付着あり。すぐにラップキュア、防水フィルムで保護行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タオルや布等での肘掛けの保護は、逆に滑りにくく剥離されやすい状況になると考えられるため、そのままの状態を継続し、ご本人へも注意を促しながら対応していく
9月	インシデント	<p>令和5年9月6日(水)11時50分頃、配食中の前森美香職員より、前森美香様が自宅不在との連絡を受ける。 当日の朝7時に従来型受けて、前森美香様本人より電話連絡にて「熊本への受診のためデイサービスを休みます」との連絡あっており、デイ中松職員が申し送りノートにて確認。 本日はデイサービス利用予定ではなく配食利用予定であったが、デイサービス休みの連絡を誤りと判断し、自宅不在にも関わらず配食中止の判断にまで至らなかった。</p>	<p>ミーティング表にデイサービスと昼配食を併用されている利用者様を記載。 朝のミーティング時、利用中止等の確認を行う際にデイサービスの利用だけではなく、配食サービス調整の必要性についても確認を行っていく。 デイまたは配食利用予定に合った連絡内容であればそのまま受ける。 利用予定と異なった内容の連絡であった場合は、デイサービス側からの電話連絡にて詳細の確認を行う。</p>
	インシデント	<p>厨房、野田栄養士より食数の確認あり、デイからの報告漏れに気付く</p>	<p>以前も同様の報告漏れがあっているため、アラームを使い忘れを予防するようにする</p>
	インシデント	<p>来週の配食を2重チェック時、前森美香様の本日(9/16)の配食の中止が連絡事項に書いていなかった。本人様に確認すると、「30分待った。明日休んで連絡しとったばってん、間違えらしたのかな」と話される。謝罪を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項との照合による予定確認の再徹底 ・週間配食予定表の白丸(○)を黒丸(●)に変更し、確認しやすいようにする

11月	インシデント	<p>令和5年11月17日(金)9時21分頃、■■■■様の迎えで自宅へ伺った際、本人・ご家族より「前回11/15利用時にインスリン注射を忘れていたようです」との報告を受ける。来苑後、記録確認と職員への聞き取りにて注射実施の漏れがわかり、本人様へ再度謝罪。電話連絡にてご家族へも謝罪したうえで再発防止についても説明し了承いただく。担当CMへも報告実施。</p> <p>事故当日は測定器の故障により血糖値測定のみ中止の申し送りを受けていたが、対応した職員の思い込みもあり食前インスリン注射の実施確認を怠っていた。</p>	<p>①アラームによる啓発(11:45鳴動時に職員間での確認を行うため)</p> <p>②食札への表記(配膳時にインスリン実施の確認を行うため)</p> <p>③看護職によるインスリン注射実施後に、それ以外の職員にて配膳を行う (職員の思い込みによる事故の防止、2名の職員によるダブルチェックの徹底のため)</p> <p>④インスリン注射対象の利用者様がいる日は、看護職の早番休憩は行わない (注射対応を看護職にて行い、③のダブルチェックを確実にを行うため)</p>
12月	インシデント	<p>令和5年12月1日(金)午前11:50頃、厨房内に配食の弁当が残っていることに気付いた宮崎栄養士より事務所へ配食担当確認の内線連絡あり。予定表にて訪問介護による担当を確認後、訪問介護へ内線連絡行う。訪問介護にて当日担当の把握なく、遅延発生後の11:55発で訪問介護職員2名にて配食実施し、各利用者様宅にて遅延の謝罪を行う。</p>	<p>・朝の全体ミーティング(zoom)にて当日の配食予定の確認を実施。 当該部署にてミーティング出席者から部署内での周知を行う。</p> <p>・厨房内による配食受け渡し後のチェック体制を設ける。</p> <p>・予定表作成はこれまで通りデイサービス内にてWチェックを継続。 (訪問介護からのメモは翌週まで保存)</p>
	インシデント	<p>令和5年12月27日(水)午前8時50分頃、■■■■様の迎え送迎のため自宅訪問すると、玄関施錠されており外からの呼びかけにも返答なく、事業所から本人携帯へ電話連絡するが応答なし。その後、担当の北垣ケアマネへ状況報告行くと「12/25から入院中です。伝えたはずですが…」との報告あり、利用中止の運びとなる。</p> <p>デイサービス全職員へ確認するが報告を受けた者はおらず連絡漏れと思われる。以前から情報提供漏れが続いており、今回は入院中の利用者様から事業所から電話連絡をしてしまったため不適合報告として再発防止を図る。</p>	<p>通所介護と居宅介護に限らず、短期入所なども含め事業所間での情報共有の在り方を見直す必要があると思われる。 情報の出入り口の整理を行う目的で、現在の情報管理状況を把握し、外部と連絡をとる手段の見直しを行う(事業所の携帯電話の活用状況、個人の携帯電話を用いていないかなど)。</p>
1月	インシデント	<p>自宅前をシルバーカーで歩かれる時、かかとと膝折れされそのまま、地面に転ばれた。しばらく座って頂き、外傷確認と痛み確認するが、本人は大丈夫と言われる。家族に声掛けするが、返事なく、本人様、立たせて下さいと言われたので、介助を行い立っていただき、玄関まで歩いていただいた。再度、外傷の確認を行うと、右すねに擦り傷と少量の出血あり。ティッシュペーパーで止血を行なった。再度家族をよぶとお嫁さんが出てこられたので、状況説明と謝罪を行なった。お嫁さんが処置をして下さった</p>	<p>・デイサービス利用を通じて、身体機能向上を図っていく</p> <p>・入浴後や、排泄後の衣類の確認をしていく</p> <p>・送迎車の停車位置、降車の確認を部署内で行う</p> <p>・利用を通じて、居宅との情報の共有を行う</p>
3月	インシデント	<p>上天草市地域包括センターより、■■■■様の利用についての問い合わせあり。1/6より肺炎のため入院されていたが、入院中(2/1)に、事業対象者から介護保険申請を行われたとのこと。その旨、2/1に翔洋苑に連絡しているが、今日利用されている状況を知り、確認の連絡を行ったとの内容。現在、申請中であり、プランの作成もしておらず、担当者会議の開催もされていない状況にあるため、詳細を知りたいとのことであった。</p>	<p>・担当のCM等を介さない、本人やご家族からの連絡や要望については、確認と報告、記録を行うよう再周知する</p> <p>・担当者へ、連絡の際は、誰が受けたのか明確にできるような方法をお願いする</p>

インシデント	<ul style="list-style-type: none"> 朝の送迎時、[redacted]様の迎えを忘れていた。帰苑すると、[redacted]様(ご主人)より電話があり、お詫びし、他の職員が直ぐにお迎えに伺った。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗られた後、メモに体温記入後、名前の前にチェックする事を徹底する。 朝の送迎確認後送迎の順番、ルートを必ず決めてから出発する。 皆様乗られた後、メモと照らし合わせ利用者様と人数を確認する。 まとめて後から記録せず、一つ一つ確実に記入、記録する事を徹底する。 送迎車内の位置まで考えて送迎する。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事故15件(内アクシデント0件)、意見・苦情1件

⑥訪問介護

月	事故・苦情・意見の別	概要	処置等
7月	意見	デイ利用者様より、ベッドとベットの間の間を通って行ったり、デイホールを掃除用具等を等を持ったまま通って行くことについて不快な気持ちになられた。	ヘルパー訪問の際は、在介玄関を使用するようにした。
11月	意見	大事に取っていた電話番号の紙が見当たらない。ゴミ出しのため、ヘルパー1人で郵便物やチラシ等を片付けていたことに対して違和感を感じておられた。	郵便物やチラシ等を片付ける時は、必ず本人様と一緒に確認しながら処分するようにする。
12月	インシデント	昼配食サービスの遅延 配食担当がヘルパーになっていたが、ヘルパーでは把握していなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 朝の全体ミーティングにて当日の配食担当の確認を実施。 予定表作成(デイ)にてWチェック継続し、ヘルパーからのメモは翌週まで保存する。
	意見	訪問先での無断駐車 駐車所有者から事務所に電話がある。	Y様宅近くの駐車場を管理されている方に本人様と一緒に伺い、止めさせて頂くことを了承して頂いた。
2月	意見	あおり運転 男性より事務所に、「翔洋苑の車からあおられた」ことについて電話がある。	前の車との車間距離をとって運転し、スピードが出た時は早めにブレーキをかける。
	意見	ゴミ出しの件 H様宅の近所の方より、「ゴミの中にペットボトルが入っている」と事務所に電話がある。	<ul style="list-style-type: none"> 本人様も分別ができるように袋を用意する。 ゴミの中に燃えるごみ以外の物が入っている時は取り除く。 汚れがひどい物は新聞紙に包んで捨てる。

事故1件(内アクシデント 0件)、意見・苦情5件

⑧グループホーム

月	事故・苦情・意見の別	概要	処置等
4月	事故(インシデント)	居室で転倒される。腰部の痛みの訴えがあったが、骨折はなかった。	「ふらつとした」「息が苦しい」等の訴えが有り、体調不良で倒れた可能性があり、主治医診察後、入院加療となる。
	事故(インシデント)	居室のテレビ前で転倒されていた。右頭頂部軽度腫脹あるが、骨折なし。	首の手術をされており、振り向きが出来られないため、居室内のテレビの位置を変更し、方向転換しなくても見えるようにした。
	事故(インシデント)	ホーム内を探してもおられず、近隣を探したところ二間戸トンネル内で発見した。	外へ出たい意向が強くあられるため、外出支援を増やした。
5月	事故(インシデント)	右膝に内出血があり、膝全体が腫れているのを発見する。受診の結果、打撲か内服薬による血管損傷ではないかとの診断がある。	夜間不眠で歩き回られるため、その時に打撲された可能性があり、外出支援などで日中の活動を上げ、夜間の安眠へ繋げるようにした。
	事故(アクシデント)	居室で転倒されており、左大腿骨骨折される。「トイレに行こうと思った」とのことだった。	トイレへ行かれる時はナースコールを押して頂くよう依頼していたが、押されなかったこともあり、頻繁にコールを押していただけるよう声掛けをしていく。
6月	事故(インシデント)	昼食後に、夕食後の薬を誤って服薬介助した。体調不良等はなかった。	薬箱を出すときは、間違いなく入っているか確認し、他の職員へも分かるように「確認しました」と声出しするようにした。

事故6件(内アクシデント1件)、意見・苦情 0件

【2】介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム翔洋苑）

(1) 施設利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用実人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	2	2	2	2	2	1	1
	要介護3	5	5	6	6	5	5	5
	要介護4	18	20	18	19	19	20	20
	要介護5	6	4	3	4	4	4	4
	合 計	31	31	29	31	30	30	30
利用延人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	60	62	60	62	62	30	31
	要介護3	142	114	143	157	155	138	125
	要介護4	468	519	470	562	580	554	551
	要介護5	124	97	90	124	124	120	124
	合 計	794	792	763	905	921	842	831
ベッド利用率		88.2%	85.2%	84.8%	97.3%	99.0%	93.6%	89.4%
要介護度Ave.		3.83	3.82	3.77	3.83	3.83	3.91	3.92
		11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
利用実人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	
	要介護2	1	1	1	1	1	17	
	要介護3	6	6	6	6	6	67	
	要介護4	19	19	22	20	20	234	
	要介護5	4	4	4	4	3	48	
	合 計	30	30	33	31	30	366	
利用延人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	
	要介護2	30	31	31	29	31	519	
	要介護3	158	179	171	124	166	1,772	
	要介護4	487	531	564	541	575	6,402	
	要介護5	120	108	93	87	91	1,302	
	合 計	795	849	859	781	863	9,995	
ベッド利用率		88.3%	91.3%	92.4%	93.0%	92.8%	91.28%	
要介護度Ave.		3.88	3.84	3.84	3.88	3.84	3.85	

(2) 面会者・実習・ボランティア

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
面会者（施設）		42	69	47	45	47	47	44
面会者（短期入所）		10	0	0	0	7	4	0
実習		0	0	0	2	5	0	0
ボランティア		0	0	15	0	0	0	0
		11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
面会者（施設）		36	64	74	66	37	618	
面会者（短期入所）		0	4	3	1	4	33	
実習		0	0	0	0	0	7	
ボランティア		0	0	0	0	0	15	

(3) 短期入所生活介護（介護予防短期・障がい者短期含む）利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用実人員	障がい者短期	1	1	1	1	1	1	1
	要支援1	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0
	要介護1	4	6	4	5	4	5	6
	要介護2	2	3	3	4	6	6	7
	要介護3	5	5	5	5	6	7	6
	要介護4	1	1	1	2	2	1	1
	要介護5	0	0	0	0	1	0	1
	合計	13	16	14	17	20	20	22
利用延人員	障がい者短期	5	5	5	5	5	5	3
	要支援1	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0
	要介護1	36	45	33	48	48	37	80
	要介護2	18	19	18	24	41	45	34
	要介護3	87	43	48	54	82	84	67
	要介護4	18	14	9	11	10	11	11
	要介護5	0	0	0	0	25	0	29
	合計	164	126	113	142	211	182	224
送迎回数	55	66	57	71	78	82	77	
ベッド利用率	54.7%	40.6%	37.7%	45.8%	68.1%	60.7%	72.3%	
要介護度Ave.	2.47	2.13	2.20	2.13	2.56	2.32	2.40	
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用実人員	障がい者短期	1	1	1	1	1	12	
	要支援1	0	0	0	0	0	0	
	要支援2	1	0	1	1	1	4	
	要介護1	4	6	4	5	2	55	
	要介護2	6	7	8	7	4	63	
	要介護3	5	5	5	7	7	68	
	要介護4	2	4	3	2	3	23	
	要介護5	1	1	0	0	0	4	
	合計	20	24	22	23	18	229	
利用延人員	障がい者短期	6	7	7	6	2	61	
	要支援1	0	0	0	0	0	0	
	要支援2	3	0	14	13	10	40	
	要介護1	44	73	48	57	16	565	
	要介護2	33	46	49	71	53	451	
	要介護3	53	43	28	84	119	792	
	要介護4	59	74	51	22	36	326	
	要介護5	30	14	0	0	0	98	
	合計	228	257	197	253	236	2,333	
送迎回数	78	97	73	66	66	866		
ベッド利用率	76.0%	82.9%	63.5%	90.4%	76.1%	63.9%		
要介護度Ave.	2.87	2.57	2.20	2.13	2.64	2.42		

【3】ユニット型地域密着型介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム翔洋苑ユニット棟）

(1) 施設利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用実人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	1	1	1	1	1	1	1
	要介護3	4	4	3	2	2	2	2
	要介護4	9	8	8	9	9	9	9
	要介護5	6	7	8	8	8	8	8
	合計	20	20	20	20	20	20	20
利用延人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	0	27	30	31	31	30	31
	要介護3	120	124	90	62	62	60	62
	要介護4	253	248	236	270	279	270	279
	要介護5	167	216	240	248	248	240	248
	合計	540	615	596	611	620	600	620
ベッド利用率	90.0%	99.2%	99.3%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	
要介護度Ave.	4.09	4.06	4.15	4.20	4.20	4.20	4.20	
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用実人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	
	要介護2	1	1	1	1	1	12	
	要介護3	2	2	3	3	3	32	
	要介護4	9	8	7	6	6	97	
	要介護5	8	10	9	10	10	100	
	合計	20	21	20	20	20	241	
利用延人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	
	要介護2	30	31	31	29	31	332	
	要介護3	60	62	75	87	93	957	
	要介護4	212	217	217	174	180	2,835	
	要介護5	249	287	225	218	285	2,871	
	合計	551	597	548	508	589	6,995	
ベッド利用率	91.8%	96.3%	88.4%	90.7%	95.0%	95.82%		
要介護度Ave.	4.23	4.27	4.16	4.14	4.22	4.18		

(2) 面会者

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
面会者		4	12	11	11	7	8	4
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	
面会者		9	21	8	12	23	130	

【4】通所介護事業（翔洋苑デイサービスセンター）

(1) 指定通所介護利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用実人員	要支援1	5	5	5	4	5	5	6
	要支援2	17	18	16	16	15	14	15
	要介護1	20	20	19	19	19	19	17
	要介護2	10	11	9	9	11	11	13
	要介護3	4	5	6	5	5	5	4
	要介護4	1	1	1	1	1	1	1
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	57	60	56	54	56	55	56
利用延人員	要支援1	19	21	23	16	14	20	25
	要支援2	121	156	125	113	114	106	113
	要介護1	151	165	161	148	148	167	145
	要介護2	92	106	86	82	98	105	108
	要介護3	25	49	51	46	47	36	39
	要介護4	12	13	10	7	9	18	17
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	420	510	456	412	430	452	447
営業日数		20	23	22	21	22	26	26
		11月	12月	1月	2月	3月	合 計	比率
利用実人員	要支援1	8	9	8	7	6	73	11%
	要支援2	14	14	9	12	13	173	26%
	要介護1	18	18	14	16	16	215	32%
	要介護2	13	11	14	14	14	140	21%
	要介護3	4	5	6	5	6	60	9%
	要介護4	1	1	1	2	2	14	2%
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0%
	合 計	58	58	52	56	57	675	100%
利用延人員	要支援1	35	31	23	30	23	280	5%
	要支援2	131	110	61	94	116	1,360	26%
	要介護1	160	147	126	114	151	1,783	34%
	要介護2	117	104	120	117	126	1,261	24%
	要介護3	36	39	24	43	44	479	9%
	要介護4	17	8	6	17	21	155	3%
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0%
	合 計	496	439	360	415	481	5,318	100%
営業日数		26	26	25	25	26	288	

18.47

(2) 基準該当デイサービス・配食サービス利用者数

	障がいデイ実績		配食実数				配食数合計
	利用者実人員	利用者延人員	昼食実人員	昼食延人員	夕食実人員	夕食延人員	
4月	2	10	5	70	8	118	188
5月	2	8	5	84	8	130	214
6月	2	9	5	81	7	121	202
7月	2	9	4	68	7	127	195
8月	2	8	5	79	7	125	204
9月	2	9	6	93	7	126	219
10月	2	9	8	91	7	135	226
11月	2	8	5	74	6	99	173
12月	2	9	5	67	5	96	163
1月	2	9	5	48	4	52	100
2月	2	9	4	34	4	41	75
3月	2	8	4	28	4	53	81
合計	24	105	61	817	74	1,223	2,040
対前年比	100.0%	107.1%	101.7%	84.2%	84.1%	81.9%	

【5】上天草市地域支援事業（姫戸在宅介護支援センター）

(1) 活動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	9	8	15	6	4	7	10	6	4	14	5	4	92
包括支援センターへ連絡	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
いきいき高齢者教室	0	1	3	3	3	3	3	2	3	3	2	1	27
実態把握調査	4	9	13	9	9	12	12	6	7	14	7	12	114
家族介護教室	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
担当地域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民生委員定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(2) 相談内訳

①相談方法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	6	8	11	3	1	5	6	5	1	11	5	2	64
来所	2	0	0	0	2	1	3	1	1	3	0	1	14
訪問	1	0	4	3	1	1	1	0	2	0	0	1	14
合計	9	8	15	6	4	7	10	6	4	14	5	4	92

②時間帯

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
08:00～12:00	9	7	7	2	2	4	5	3	0	4	1	3	47
12:00～17:30	0	1	8	4	2	3	5	2	4	9	4	1	43
17:30～08:00	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
合計	9	8	15	6	4	7	10	6	4	14	5	4	92

③相談者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	6	2	4	1	0	2	4	1	0	2	2	2	26
家族(子・きょうだい・親戚)	2	3	6	1	3	4	3	1	0	5	2	2	32
知人	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
民生委員(相談協力員)	0	2	1	1	0	0	1	2	4	4	0	0	15
ケアマネジャー	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
関係機関	1	1	4	1	0	1	2	2	0	3	1	0	16
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	9	8	15	6	4	7	10	6	4	14	5	4	92

④相談内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者虐待に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護・成年後見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費者被害に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護や介護保険等福祉	5	7	10	5	2	6	8	6	4	8	3	4	68
健康・病気など保健、医療	4	1	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	12
その他の相談	0	0	0	1	2	1	0	0	0	6	2	0	12
合計	9	8	15	6	4	7	10	6	4	14	5	4	92

(3) 上天草市在宅高齢者安心生活支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
設置相談	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
申請代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

(4) こども食堂事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	1	0	0	1	2	0	0	0	2	0	0	2	8
★事前申込数	16	0	0	13	17	0	0	0	20	0	0	20	86
☆実人数	16	0	0	12	11	0	0	0	14	0	0	16	69
★-☆	0	0	0	1	6	0	0	0	6	0	0	4	17

R5.1～事業(試行)開始。R5年度も長期休暇中の学童を対象とし開催が継続できた。コロナやインフルエンザの流行等もある中、当日の体調不良や天候により、事前申し込みと当日の実数に差が生じた。この点については、現在市からの補助金を活用している為直接的な影響はないが、自施設で実施するとなれば大きな課題となる部分である。夏休み8月9日は11申し込みに対し当日台風接近で3となり、急遽担当者や学童の先生等に分配しロスが出ないように努めることとなった。冬休みには「自宅でも利用できないか？」との問い合わせ有、施設に取りに来て頂くことを条件とし利用頂く。春休み3月も自宅での利用希望増え2件は学童場所まで取りに来られ対応した。今まで利用したことのあるご家庭から「中学生になったらもう利用はできないのか」との問い合わせを頂いている。アンケートでは、帰宅後の保護者と子どもの話題作りに貢献できていることを知った。日数を増やしてほしい、有料でもいいから継続してほしい、容器が2つはもったいない、という意見が多く聞かれている。

(5) 家族介護教室開催状況

<p>①夏を元気に乗り切ろう！～夏の水分摂取と食事の工夫～ 【宮崎栄養士/北垣】 日(火)10:00～11:15 地域交流スペース 参加者:3名 を参加者と一緒に作り、前日夕方に作って冷やしたものを試食頂く。水分を摂るよりも、喉の通りが良いと実感された。とろみ剤の紹介では温度で固まり方が違うため熱いお茶と冷たい麦茶でその違いを体感して頂く事が出来た。間で前日作った水ゼリーもきな粉をかけて食べて頂く。ゼラチン・アガー・寒天それぞれの特徴を伝え、水分だけでなく日頃の食事に取り入れて頂ける工夫も栄養士よりお話をさせて頂く。メモをしっかりと取りながら真剣に聞いておられ、質問も多く飛んでいた。市販品及び自宅のできる、経口補水液の紹介も注意点含め行い、備蓄品の中に加えて頂くようお話をした。前日の準備打合せ、資料作り等、段取りが十分に行えていたので当日の進行もスムーズであった。</p>	<p>7月18日 お茶ゼリー</p>
<p>②排泄ケア～本人に合った用品選びと社会資源～【(株)ミタカ:宮崎氏/北垣】 (木)14:00～15:00 地域交流スペース 参加者:5名 ク・ミタカ宮崎氏より排泄用品紹介・上天草市介護用品支給事業紹介・尿失禁の種類・自宅のできる体操…という内容で実施。体内年齢チェックで場の空気が和み、その後の会が和気あいあいといふ雰囲気となった。ほとんど立位で過ごされる方が多かったが、改良を重ねられて進化している排泄用品を見て触れて、ものが良くなっていることを実感して頂くことができた。市販のものは種類が多すぎて何を買ったらいいのかわからないとの声が多く、在介でも担当のケアマネジャーでも対応可能であり、福祉用具専門相談員もその役割を担うことをお伝えした。社会資源として要介護3から利用できる市の制度も紹介し、些細な事でもご相談いただければ各所おつなぎできることお伝えする。1時間があったという間だったというお声が多く、内容も面白かったと喜んでおられた。</p>	<p>11月9日 体内年齢チェック</p>

【6】生活支援コーディネーター事業（姫戸在宅介護支援センター）

(1) 活動状況

1 「みつば会」（姫戸町協議体）開催状況 3回開催（6/28・9/6・12/13）

<p>第1回 R5.6.28（水）19:00～20:00 老人福祉センター:21名+スタッフ5名 26名</p> <p>①上天草市・姫戸町の現状について ②「みつば会」について ③グループワーク:「健康寿命を延ばそう」～地域できる事は何か?～ 今年度はコロナの影響も少なく、状況をみながら計画的に進めることが出来年3回開催した。今年度のテーマについてなかなか「これ」という課題が定まらず何度も打ち合わせを行った。「みつば会」において暮らしの中での困りごとは見当たらない状況の中、少子高齢化で先行きに不安。元気で長生きしたいという意見で一致。そのためには健康寿命を延ばすことが大事。に至った。話し合う前に市や町の現状と課題確認、「みつば会」の取り組みを再認識し、4グループに分かれ、話し合った。</p>

第2回 R5. 9. 6 (水) 19:00~20:00 老人福祉センター: 22名+スタッフ4名 26名
<p>①第1回「みつば会」の振り返り ②「健康寿命を伸ばすために」地域で取り組んでいくためには ③グループワーク～地域で助け合い・支え合うために～</p> <p>第1回「みつば会」グループワーク内容をA3用紙に整理し、各地区の参加者に配布。内容を確認しながら振り返りを行った。新しい取り組みはハードルが高いが今まで行ってきた行事や取り組みなら人口減少等があっても取り組みやすく、地域内で行う事で移動手段も歩いて行けるし、場所等も分かっているので参加しやすいそこで地区毎に第1回グループワークの内容の中から①実現可能なものは何か?②実現へ向けて取り組むにはどうしたよいか?について話し合い、発表しあった。発表内容をA4両面に整理し、具体化に向かっての取り組みと、第3回「みつば会」開催内容についてを代表者会議にて確認し、第3回に繋げた。</p>
第3回 R5. 12. 13 (水) 19:00~20:00 老人福祉センター: 23名+スタッフ5名 28名
<p>①「健康寿命を伸ばすために」地域のできる活動について(振り返り) ②グループワーク: 各地区の活動について ③発表: 地区毎に発表</p> <p>第2回「みつば会」のグループワーク内容から①地域で現在実施中の行事や活動と②今後実行したい・予定について洗い出し、地区毎に発表してもらった。グループもいつもの地区と違う地域と組み合わせたことで新鮮で良かったとの声が多数聞かれた。公民館利用の促進・行事等の周知・声掛け・誘い・意見の聞き取り・実施中の行事を絶やさず継続していく等が共有できた。今後の活動のための意見や思いについて意見交換の場を設けた。5年間の取り組みの検証が必要ではとの意見があり、賛同の声があがった。12/18反省会にて今後の取り組みの方向について確認、次年度の取り組みに向けて打合せ会・代表者会を開催し「みつば会」の継続に向け話し合っている。</p>

2 「みつば会」に伴う会議

① 「代表者会議」

実施回数: 5回 (4/20・5/22・7/31・10/18・3/4)

開催時間: 19:00~20:00

参加者: 代表者9名・甲崎・橋本 11名

場所: 姫戸統括支所会議室

② 「打ち合わせ会」

実施回数: 8回 (4/10・5/15・5/29・6/22・6/26・8/24・12/4・2/20)

参加者: 2~5名 (甲崎・橋本・帆足・坂田・関山)

場所: 松島庁舎・老人福祉センター

③ 「反省会」

実施回数: 3回 (7/10・9/14・12/18)

参加者: 4~5名 (甲崎・橋本・帆足・坂田・関山)

場所: 老人福祉センター

3 「コーディネーターだより」発行

5年度6回発行：No.15～No.20	奇数月（5月・7月・9月・11月・1月・3月）
<p>令和5年5月からコロナが5類移行となり、それに伴い、地域差はあるも暮らしや地域活動・取り組みが活発になってきた。地域の小さな動きや思いをキャッチし、行事や集会、通いの場等に参加し入手した情報を他の地域に紹介、共有に努めた。地域により、情報から水平展開する地域もあり、更なる地域の活動の広がりを感じている。又伝える手段として「コーディネーターだより」は説明や周知がしやすく地域へ出向く際に大いに役立っている。少子高齢化の先行き不安の中、「できることをできるしこ」の精神で地域で取り組む事の重要さをしみじみ感じており、「コーディネーターだより」の隔月発行を心待ちして下さってる住民の方の声を励みに取り組んでいる。</p>	
<p>内容：① 「みつば会」情報・お知らせ</p> <p>② 地域行事・地域活動・中学生の取り組み</p> <p>③ 居場所作り・通いの場紹介</p> <p>④ 健康寿命・介護予防</p> <p>⑤ 地域の誇り</p> <p>⑥ 市の取り組み・意向周知</p>	

【7】居宅介護支援事業（姫戸町在宅介護支援センター翔洋苑）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
予防給付（計）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
要介護1	22	21	20	22	21	20	19	19	20	18	19	19	240
要介護2	13	12	10	13	13	13	16	16	15	18	18	15	172
要介護3	4	5	6	5	6	6	5	5	4	4	7	6	63
要介護4	2	2	1	2	2	2	2	3	4	5	4	5	34
要介護5	0	0	0	0	1	0	1	2	2	0	0	0	6
介護給付（計）	41	40	37	42	43	41	43	45	45	45	48	45	515
合計	42	41	37	42	43	41	43	45	45	45	48	45	517

【8】訪問介護事業（姫戸町ホームヘルパーステーション翔洋苑）

（1）訪問介護

①利用者実人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	11	11	10	11	11	11	11	10	10	10	9	9	124
要介護2	6	7	5	4	3	3	3	3	3	3	3	2	45
要介護3	2	3	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	11
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5
合計	19	21	16	16	14	14	14	14	15	15	14	13	185

②利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	30分未満	0	0	0	0	0	9	3	2	0	0	0	0	14
	30分以上1時間未満	8	7	10	13	13	7	5	6	9	9	8	9	104
	1時間以上1時間半未満	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	1時間半以上2時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2時間以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	8	7	10	13	13	16	8	9	9	9	8	9	119
	合計	8	7	10	13	13	16	8	9	9	9	8	9	119
身体生活	30分以上1時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1時間以上1時間半未満	16	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
	1時間半以上2時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2時間以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	16	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
	合計	16	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
	合計	16	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
生活援助	30分以上1時間未満	84	79	63	64	73	70	75	80	87	64	62	64	865
	1時間以上1時間半未満	3	4	0	7	9	8	7	4	9	9	6	7	73
	合計	87	83	63	71	82	78	82	84	96	73	68	71	938
	合計	87	83	63	71	82	78	82	84	96	73	68	71	938

(2) 日常生活相互支援事業等訪問介護

①利用者実人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	6	6	6	6	6	7	7	7	9	10	9	9	88
要支援2	6	6	7	5	5	6	7	7	7	6	7	7	76
合計	12	12	13	11	11	13	14	14	16	16	16	16	164

②利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30分以上1時間半未満	68	68	68	69	57	74	78	73	83	86	85	76	885
2時間未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 障害者自立支援居宅介護

①利用者実人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人員数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

②利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30分以上1時間半未満	8	9	9	9	8	9	9	8	9	8	8	9	103

【9】認知症対応型共同生活介護（グループホームひめど）

(1) 施設利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均年齢(歳)	91.7	91.4	92.8	93	91.5								
平均要介護度	2.3	3	3.2	3.3	4								-
利用 実 人 員	要支援2	0	0	0	0	0							-
	要介護1	4	1	1	1	0							-
	要介護2	1	3	1	1	0							-
	要介護3	2	1	2	1	1							-
	要介護4	1	1	0	1	0							-
	要介護5	1	2	2	2	1							-
	合計	9	8	6	6	2	0	0	0	0	0	0	0
利用 者 延 べ 人 数	要支援2	0	0	0	0	0							0
	要介護1	115	31	30	31	0							207
	要介護2	30	65	30	8	0							133
	要介護3	60	31	60	31	1							183
	要介護4	12	1	0	17	0							30
	要介護5	30	62	60	32	1							185
	延べ人数	247	190	180	119	2							738
	入居率(%)	91.5%	68.1%	66.7%	42.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(2) 面会者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面会者	38	24	13	5	0								80
ボランティア	0	0	0	0	0								0

Ⅲ. 部門別事業報告

【1】法人総務部門

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(1) 災害発生時のBCPの作成、及び新型コロナウイルス感染症BCPの見直し

- 新型コロナウイルス感染症に係る業務継続計画に関する研修 4/25
- 災害発生時のBCPに関する研修 12/27
- 虐待防止に関する研修 5/25,10/25

(2) 介護報酬の適正受給、補助金等の有効活用による収入の確保に努める。

- 返戻・保留一覧表で全事業所の返戻・保留を把握し、介護報酬を適正に受給できている。
- 補助金について、熊本県高齢者施設物価高騰対策支援金、特定求職者雇用開発助成金第2期交付確定

(5) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

- 月次決算について、適正な執行管理ができた
- 適正かつ公正な収入・支出管理を行った

(6) 社会福祉法人としての地域における公益的な取組み（社会福祉法人の利用者負担軽減・生活困窮者レスキュー事業）の継続、及び新規事業へ取組む。また、地域貢献活動にも積極的に取組む。

- 社会福祉法人等による生計困難者に対する介護サービスに係る利用者負担軽減制度を継続活用できた（広域型特養1名）。
- 生計困難者レスキュー事業について、相談、支援1件

(7) 計画的な設備等の導入・廃棄等を図るため、パソコン設備一覧表（様式2）、車両設備一覧表（様式3）、設備等導入計画・修繕計画（様式4）、設備・備品等廃棄計画書（様式5）を作成し、中長期計画策定に取り組む。

- 廃棄書類・廃棄物等について管理は継続できている。
- 固定資産物品台帳で備品等の増減を把握し、中長期的な設備・備品等の管理につなげている。

(8) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

- 文書はできるだけまとめて発送し、郵便料金削減や事務負担の軽減を図った。
- 保管書類等の整理整頓を行った

(9) 経営の見える化と見せる化の一層の推進を図り、事業運営の透明性の向上とガバナンスの強化を図る。

- 6/2 監事監査、6/7 第三者委員会、6/7 第1回理事会、6/22 第1回評議員会、6/22 第2回理事会（書面発議）、10/25 第3回理事会、3/30 第4回理事会（書面発議）。

- 利用者様の骨折、怪我等の事故発生時に超ビジネス保険【賠償責任に関する補償】でのお見舞い等の検討・対応を行った。
検討6件、弁償1件、見舞金4件（内1件+入院費用支払い）

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携の再構築（ポストコロナを見据えて）

- 広報誌『翔く』を姫戸小・中学校、上天草市姫戸支所、郵便局（姫戸・二間戸）等へ配布し、情報発信することができた。
- 2か月に1回開催のユニット棟運営推進会議は実施した

(3) 上天草市・上天草市社会福祉協議会との連携強化（ポストコロナを見据えて）

- キャラバンメイトとして、認知症サポーター養成講座：姫戸小学校4年生対象（7/1）
- みつば会出席 6/28、12/13

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFEへの対応）

～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(2) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による4つの自立支援活動

- 広域型特養2名、ユニット型特養1名を看取り介護でお見送りすることができた。新型コロナウイルス感染症による面会に制限を設けたが、できるだけ居室内で過ごす時間をとった。家族からご理解を得て、概ね感謝していただいた。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- ボランティア受け入れは控えた。苑庭、苑周辺草取りボランティア1回ご協力いただくことができた。
- 職員が花を生け、玄関等を美しく飾ることができた。

(4) ISO-9001:2015に基づくサービスの品質管理。

- 担当者を定めて個人番号を取り扱う等、管理できた。
- 主任者会議、サービス向上会議以外にも殆どの会議がノート型パソコン使用、Zoom会議が定着。ペーパーレスにつながっている。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上

- LIFEについて、デイサービス・広域型特養・ユニット型特養職員数名と質問等をされた職員に個別に指導を行った。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(1) 介護職員等のキャリア形成の明確化に取り組む。

- 認知症介護に係る研修を未研修職員4名がWebで受講し研修完了した。

(2) 職場・労働環境の整備（年齢等に応じたやりがいと働きがいのある職場を目指して）。

- 「生活習慣病予防健診助成事業」を活用し、200,334 円の Sowel 助成金を受給できた。
- 永年勤続（30・20・15・5年）記念品 13 名、入学祝い品 3 名取得することができた。
- 共済事業給付金を申請し、傷害入院保険金、配偶者死亡弔慰金を其々、1 名に給付された。
- 子の看護休暇や介護休暇が必要な職員に情報を伝え、個別に申請・届出等支援できた。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- 朝のミーティングの周知や部署間連絡は記録管理システム（CARE KARTE）、グループホーム（～9月）への連絡はメールを活用

(4) 将来の介護人材育成・確保に向けて。

- 上天草高校福祉科 3 年「形態別介護実習」ユニット型特養 2 名、広域型特養 1 名、姫戸中学校の職場体験学習 2 名、ワークキャンプを受け入れた。
- 姫戸中学校職場体験やワークキャンプの受け入れ時は、翔洋苑の施設概要・高齢者との接し方・車椅子操作について等を説明し、介護という仕事に関してや翔洋苑の仕事について等を知る機会を提供した。

6. コンプライアンスの徹底

(1) 関連法規（社会福祉法、介護保険法、指定基準等）や専門性向上のために、外部研修への積極的参加を継続する（様式 7：外部研修・出張等年間計画）。

- Web 研修を活用し、情報を得たり、専門的知識を深めたりすることができた。

(2) 関係法規等に規定された内部研修の計画的実施を行う（様式 6：職場内研修・会議計画）。

- 運営基準等で定められた内部研修等が実施できた。実施状況を毎月主任者会議で確認している。
- 年 1 回のストレスチェックは実施。高ストレス者からの産業医面接の希望はなかった。ストレスチェック相談窓口検討した。

【1-2】法人総務部門（ISO）

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応） ～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

（4）ISO-9001：2015 に基づくサービスの品質管理。

- 6月6日コンサルにて、内部監査育成セミナー実施（河野、須崎）
- 品質管理委員会や主任者会議等において、検討を行いながら改善につなげられている
- サーベイランス審査については、11月に受審済み。不適合サービスなし。
- メンテナンスについては、6月、12月に実施。
- 内部監査については、2024の2月に実施済み。
- 利用者満足度調査については、10月に実施し、結果についても周知済み

【2-1】施設サービス部門（介護支援専門員・生活相談員）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

（1）災害発生時のBCPの作成、及び新型コロナウイルス感染症BCPの見直し

- 新型コロナウイルス感染症に係る業務継続計画に関する研修、災害発生時のBCPに関する研修、虐待防止に関する研修等は主任者会議で研修日程を定め実施。参加できた。
- R5年度より虐待防止のための指針適用。虐待防止検討委員会 5/8、8/22、11/8、2/14 実施。参加できた。

（2）介護報酬の適正受給、補助金等の有効活用による収入の確保に努める。

- 相談員2名で施設(従来型特養、ユニット型特養)、短期入所の加算算定要件や利用実績等のチェックを行い、介護報酬の適正受給に努めた。
- 福祉機器展に参加したり、Web研修に参加し、補助金について情報収集を行った。

（3）各種加算の継続取得（様式1）と計画的取得（加算取得計画（様式1-2））に努める。

- LIFE関連加算は広域型特養、ユニット型特養ともに、①栄養マネジメント強化加算、②褥瘡マネジメント加算、③排せつ支援加算、④科学的介護推進体制加算、⑤ADL維持等加算。①②③④は運用、加算算定。⑤は運用中。
- LIFEはサービス向上会会議で議題に上げ、多職種で検討しデータ報告できた。
- 介護関連データベースによる情報の収集・分析はできた。現場へのフィードバックがうまく出来ていない。今後はチーム会議やサービス会議等でフィードバックを行い、エビデンスに基づいたケアに生かせるよう取り組む。

(4) 入所率・利用率の低下防止、及び利用者増に向けて新規利用者の掘り起こし等に努める。

- 入所検討委員会は年2回実施。特列入所者0名。第95回(R5.5.12)・第96回(R6.1.19)で特列入所1名(要介護2継続)入所の適否を判定した。年間申込者33名。
- ユニット型特養と従来型特養間の転居1名。経管栄養(胃ろう・鼻腔)で栄養を摂取する方は年度末で5名(従来型:5名16% ユニット型:1名5%)。
- 従来型特養入退所11名、平均空床期間12.1日。ユニット型特養入退居2名、平均空床期間18日。入退所者中1名は従来型特養からユニット型特養へ転居。年間で26%の入居者様が入れ代わり。新型コロナウイルス感染症の流行により入所調整に時間がかかるケースが多かった。
- 従来型特養入退院20名(R4年度から継続入院、長期入院による退所、病院で死去した方等含む)、平均空床期間29.1日。入院退所者7名。ユニット型特養入退院13名(入院中に死去した方、R4年度へ継続入院等含む)、平均空床期間14.6日。入所率 従来型特養91.0%(R2年度96.9%から年々低下している)、ユニット型特養95.5%(R4年度92.9%から3.3%上昇)。平均要介護度 従来型特養3.90(4月)→3.83(3月)、ユニット型特養:4.05(4月)→4.22(3月)。従来型特養は11名退所中3名、ユニット型特養は2名退居中1名、看取り介護。
- 入院の原因疾患は、誤嚥性肺炎(疑い含む)が8件で最多。他にも急性肺炎、心不全、骨折等、症状や疾患は様々で、退院時についても新型コロナウイルス感染症の本格的な地域での流行の影響は大きかった。また、1年間で複数回入院する方も多く入院期間の長期化に繋がっている。

(6) 社会福祉法人としての地域における公益的な取組み(社会福祉法人の利用者負担軽減・生活困窮者レスキュー事業)の継続、及び新規事業へ取組む。また、地域貢献活動にも積極的に取り組む。

- 社会福祉法人等による生計困難者に対する介護サービスに係る利用者負担軽減制度を継続活用できた(従来型特養1名)。
- 生計困難者レスキュー事業について、相談、支援1件

(8) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

- 主任者会議、サービス向上会議ではノート型パソコンを使用したWeb会議が定着。ペーパーレスにつながっている。DocuWorksDesk等ネットワークシステムも活用できている。外国や遠方在住の家族の他、有職で日中電話連絡をとりにくいご家族や希望されるご家族にはSNS(メール、LINE等)を活用し、迅速に情報共有できている。

(9) 経営の見える化と見せる化の一層の推進を図り、事業運営の透明性の向上とガバナンスの強化を図る。

- 苦情処理状況等について第三者委員への報告を実施した。
- ホームページの更新は業者に依頼し実施。財務諸表等についてはWAM

NETのリンクから最新のものが確認できるようになっている。

- サービス案内や利用料金の更新が出来ていない為、更新する際には変更箇所をまとめて報告したい。
- 骨折等の事故ごとに事務員に報告。事務員から損害賠償保険会社へ該当かどうか確認し、損害賠償保険を活用することができた。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携の再構築（ポストコロナを見据えて）

- 従来型特養「微笑」、ユニット型特養「喫茶居」を毎月発行できた。
- 新型コロナウイルス感染症の地域での感染流行あり、ふれあいボランティアの受け入れは控えた。苑庭、苑周辺の婦人会草取りボランティア1回(6/15) 11名ご協力いただくことができた。
- こども食堂（夏休み：3回、春休み：2回、）実施に協力した。
- ユニットの運営推進会議は2ヶ月に1回開催実施。家族、区長、民生委員等地域の方々から様々な意見をいただくことができた。
- 熊本大学 地域医療特別実習の協力要請あり、施設見学を予定していたがR5.7.10 新型コロナウイルス感染症の地域での感染流行あり、高齢者福祉施設の見学中止となった。

(2) 家族との連携の再構築を図る（ポストコロナを見据えて）

- R5年度の敬老会のご家族を招いて実施する事が出来た。久々のご家族参加の行事で、記念写真を撮られたりお話をされたり等いつもの面会とは、また違った楽しさがあった。
- 新型コロナウイルス感染症の地域での流行の程度に応じて、室内での面会、ガラス越し面会やテレビ電話での面会を行った。
- 入退院の状況や日々の体調に応じて医師と連携し、看取り介護を実施した。(R5年度 看取り 従来型：3名、ユニット型：2名)

(3) 上天草市・上天草市社会福祉協議会との連携強化（ポストコロナを見据えて）

- 新型コロナウイルス感染症感染予防対策として翔洋苑ユニット棟地域交流スペースでの開催なし。毎(火)オレンジカフェ姫浦は姫戸老人福祉センターで行われた。
- 認知症サポーター養成講座(姫戸小学校4年生)開催。

(4) 医療機関との連携強化を図る。

- 新型コロナウイルス感染症の発生等で医療機関や各事業所等との連携が不可欠になっている。また、R6年度 介護報酬改定により医療との連携強化を求められている状況。今までより主治医や上天草総合病院との連携を密にし、まずは入院期間の長期化を防ぐように取り組む必要がある。
- 上天草総合病院地域連携会議へ参加し、近隣医療機関や施設等との情報交換ができ、感染症等について情報共有できた。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応）
～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(1) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による 5 つのゼロの達成
～利用者様の自立支援と自己実現に向けて～

- チーム（ユニット）ごとにサービス向上会議で毎月評価、見直し実施。排泄支援加算（Ⅱ）算定者（年度末）：広域型特養 2 名（6.6%）、ユニット型特養 1 名（5%）。
- センサー設置の必要性について、チーム会議、サービス向上会議、主任者会議等で毎月定期的に評価、見直しを行った。
- 骨折事故は 1 件発生。従来型特養（6 月：腰椎圧迫骨折、9 月：左大腿骨転子部骨折、10 月：右大腿骨転子部骨折、10 月：（ショート）胸椎圧迫骨折、1 月：肋骨骨折（ひび）、2 月：胸椎圧迫骨折）。ユニット型特養 1 件（8 月：左骨盤骨折）。
- 経管栄養（胃ろう・鼻腔）で栄養を摂取する方は年度末で 5 名（従来型：5 名 16% ユニット型：1 名 5%）。摂食・嚥下障がいをもつ方や認知機能の低下が著しい方への経口維持支援について、従来型特養は経口維持加算（Ⅰ）（Ⅱ）2 名。ユニット型特養（Ⅰ）（Ⅱ）1 名。（従来型、ユニット型共に年間を通じて）
- 褥瘡対策委員会等でハイリスク者を把握し対策した。発赤や皮膚剥離等発生者を早期発見し処置を行うよう心がけたが従来型特養では 3 名の方に褥瘡形成あり。また、繰り返しの褥瘡形成あっている為、体位変換や適切なポジショニングで褥瘡形成をしないケアに努める。

(2) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践による）4 つの自立支援活動

- 感染対策の為ユマニチュードの導入に向けた研修等へ参加する事ができなかった。R6 年度はユマニチュードの導入に向けて研修参加等バックアップ行う。
- 認知症ケアの充実に向けた取り組むでは、認知症介護基礎研修（4 名）、認知症介護実践リーダー研修（1 名）受講。年 2 回の認知症に関する研修実施し、認知症をもつ方とのコミュニケーション方法等について学んだ。
- 外部の理学療法士による指導・機能訓練を月 1 回受け（従来型特養・ユニット型特養）、生活機能の維持・向上を図ることができた。
- 従来型特養 3 名、ユニット型特養 2 名、看取り介護でお見送りすることができた。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- 歯科衛生士や管理栄養士、看護介護職員等と協力し口腔体操マッサージや食の自立に向けた取り組みを実施した。食の自立度 従来型特養 4 月：56%→3 月：53% ユニット型特養：4 月 65%→70%
- 季節に応じた行事を各部署で計画実施。夏祭りや敬老会等は相談員も協力し、喜び楽しみを支援した。

(4) ISO-9001:2015に基づくサービスの品質管理。

- ISO サーベイランス審査ではマネジメントシステムに関することを学ぶことができた。内部監査 2~3 月、利用者満足度調査 9 月実施できた。結果公表（玄関掲示、業者等へ送付）済み（11 月）。
- 事故発生防止委員会、サービス向上会議、主任者会議等で、ヒヤリはっと報告や不適合サービス報告について多職種で協議することができた。
- バックアップシステム（share）やメール、Zoom を活用した。個人情報の取り扱い、管理に留意している。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

- 介護福祉士会天草支部の研修や認知症に関わる多職種連携会議、上天草総合病院地域連携会議等に参加し専門的な知識の取得に努めた。
- R4 年度に従来型、ユニット型に LIFE 勉強会実施。R5 年度は介護職員から質問があった際にその都度指導を行った。また、デイサービス（3 名）、従来型特養（1 名）、ユニット型特養（1 名）に LIFE についての研修を個別に行った。
- チーム会議等で介護職員等が主に評価月に合わせた評価を行い、サービス向上会議で多職種による見直しを行っている。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(1) 介護職員等のキャリア形成の明確化に取り組む。

- 認知症介護基礎研修（4 名）、認知症介護実践リーダー研修（1 名）受講。年 2 回の認知症に関する研修実施し、認知症をもつ方とのコミュニケーション方法等について学んだ。

(2) 職場・労働環境の整備（やりがいと働きがいのある職場として）。

- 安全衛生委員会の中で各部署の腰痛発生状況確認。R5 年度のマッスルスーツの追加導入は無し。
- ハナストは記録のみでなく、連絡にも使用するよう周知。便利な機能の活用が不十分なため、今後も啓発必要。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- 朝の全体ミーティングの連絡等に記録管理システム（CARE KARTE）が活用できた。

6. コンプライアンスの徹底

(1) 関連法規（社会福祉法、介護保険法、指定基準等）や専門性向上のために、外部研修への積極的参加を継続する（様式 7：外部研修・出張等年間計画）。

- 各種 Web 研修、外部研修に参加し、情報を得たり、専門的知識を深めたりするように努めた。また、必要に応じ各職員に研修案内を出し受講を促す事ができた。

(2) 関係法規等に規定された内部研修の計画的実施を行う(様式6:職場内研修・会議計画)。

- 研修会:令和5年度介護サービス事業者等集団指導資料を用いて「認知症・権利擁護関係」研修)実施。他にも関連法規に定められた内部研修は主任者会議にて開催時期の確認を行いながら実施できた。

【2-2】施設サービス部門(従来型特養)

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(4) 入所率・利用率の低下防止、及び利用者増に向けて新規利用者の掘り起こし等に努める。

- 多職種の職員の意見を頂き、専門医への受診等を行い、科学的根拠に基づくケアに努めた。利用者様の日常のバイタル測定・皮膚観察等を行いながら特変等があった時は看護へ報告し早期対応を行った。今年度も新型コロナウイルスの感染対策を徹底した事で、入居者様のインフルエンザ感染者はなかった。風邪に感染された利用者様も少なかったが、今年度も年度末に新型コロナ感染者のクラスターがあり、コロナ感染に入居者20名、職員9名がコロナ感染者になる。持病による入院と転倒による骨折での入院もあり、入所率が91.0%まで低下してしまった。

(5) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

- 予算書に基づき、支出管理を実施した。

(7) 計画的な設備等の導入・廃棄等を図るため、パソコン設備一覧表(様式2)、車両設備一覧表(様式3)、設備等導入計画・修繕計画(様式4)、設備・備品等廃棄計画書(様式5)を作成し、中長期計画策定に取り組む。

- 計画に沿って実施できた。

(8) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

- 計画に沿って実施できた。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携の再構築(ポストコロナを見据えて)

- 新型コロナウイルス感染症に伴い、上天草市社協との連携会議やボランティアの受け入れ、小・中学校行事等の交流の受け入れは実施できなかった。
- 小・中・高校生の見学・体験実習等を受け入れ人材育成の取り組みについてもできなかった。婦人会の草取りのボランティアの参加は実施できた。
- 新型コロナウイルス感染症に伴い、地域の行事等も開催がなく、計画に沿って実施できなかった。
- 新型コロナウイルス感染症に伴い、社協や老人会等に施設行事への参加は実施できなかった。

(2) 家族との連携の再構築を図る（ポストコロナを見据えて）

- 夏祭りは新型コロナウイルス感染症に伴い小規模の夏の交流会をデイサービスで実施できた。

(4) 医療機関との連携強化を図る。

- 計画に沿って実施できた。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応）

～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(1) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による5つのゼロの達成

～利用者様の自立支援と自己実現に向けて～

- おむつゼロに向けて定期的にチーム会議を実施し、現状と課題の検討・評価を行い、サービス向上会議にて多職種の評価と意見を頂き、見直しを行いながら計画に沿って実施できた。
- 計画に沿って実施できた。スピーチロックについては、フロア会議にて身体拘束の議題の中で話し合っている。
- フロア会議、各チームでハイリスク者のスクリーニングを行い、ヒヤリ・はっと報告の啓発・職員間での情報共有を図り、骨折ゼロに取り組んでいたが、転倒骨折による事故、介助による骨折事故、身体的な骨折（圧迫骨折）等の骨折が発生してしまった。フロア会議、チーム会議でリスクの検討を行い骨折ゼロに取り組んでいきたい。
- 胃ろうゼロに向けて計画に沿って実施できた。（令和6年3月31日現在胃ろう造設者 2名、経鼻2名）
- フロア会議・チーム会議にて、ハイリスク者のスクリーニングと介護方法について、統一したケアを行い褥瘡発生予防に繋げている。委員会での検討や部署内研修等に参加し、入浴や排泄介助時の皮膚観察を実施して悪化防止に努めていたが入居者4名に踵の褥瘡があった。褥瘡対策に関するケアについては、計画・評価を行い褥瘡予防に繋げている。

(2) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による4つの自立支援活動

- チーム会議やフロア会議・職場内研修等で認知症ケアについての振り返り、利用者様の意向を伺い意向に沿うケアを実施しました。外部研修については、今年度は認知症リーダー研修の外部研修が実施できた。
- 今年度は新型コロナウイルス感染症の対策を実施しながら、毎月の外部PTによる指導を受けることができた。機能の維持向上に繋げる事ができ、サービス向上会議にて評価を実施した。
- 歯科医師の健診を年1回行い、必要に応じ往診・受診を実施して義歯の作成を検討等、歯科衛生士による口腔ケアの実施・指導により誤嚥性肺炎の軽減、口腔機能維持、経口摂取への移行に繋げる事ができた。
- 看取りケアについては、外部研修は新型コロナウイルス感染症に伴い出来なかったが、職場内研修会へ参加することができた。利用者様の体調等の報告に関しては、新型コロナウイルス感染症対策を行いご家族の面会等で連携を取り計

画に沿って実施できた。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- お楽しみ会やスイーツの日を実施して、利用者様へ調理の手伝いをして頂く事もでき、年間計画に沿って実施できた。
- 新型コロナ感染症に伴い、計画に沿って実施できなかったが苑外散歩は実施できた。
- 小規模な夏の交流会を計画に沿って実施できた。

(4) ISO-9001:2015に基づくサービスの品質管理。

- 業務分掌表の作成は、計画に沿って実施できた。
- フロア会議にて、ヒヤリ・はっと報告の啓発を行い、ヒヤリ・はっとの件数の増加を図りながら情報共有を行った。情報を得え職員がヒヤリ・はっとの重要性を認識して、不適合サービス（インシデント）の減少に繋げる事ができたが、不適合サービス（アクシデント）骨折や転落による骨粗鬆症、服薬での誤薬が多く発生してしまった。また、不適切なケアの研修を行い、グレーゾーンについての勉強会が実施できた。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

- ケアプランやマニュアルに基づいて実施できた。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(1) 介護職員等のキャリア形成の明確化に取り組む。

- 計画に沿って実施できた。

(2) 職場・労働環境の整備（年齢等に応じたやりがいと働きがいのある職場を目指して）。

- 計画に沿って実施できた。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- 計画に沿って実施できたが、他部署や他施設との交流はできなかった。

(4) 介護人材育成・確保に向けて。

- 新型コロナ感染症に伴い、計画に沿って実施できなかった。

5. 防災・防犯体制の強化に向けて

(1) 地震・風水害等の自然災害対策の強化と火災等の防災対策の継続。

- 計画に沿って実施できた。

6. コンプライアンスの徹底

(1) 関連法規（社会福祉法、介護保険法、指定基準等）や専門性向上のために、外部研修への積極的参加を継続する（様式7：外部研修・出張等年間計画）。

○ 計画に沿って実施できた。

- (2) 関係法規等に規定された内部研修の計画的実施を行う（様式6：職場内研修・会議計画）。

○ 計画に沿って実施できた。

【2-3】施設サービス部門（ユニット型特養介護）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

- (1) 災害発生時のBCPの作成、及び新型コロナウイルス感染症BCPの見直し

○ 施設内感染を予防するために、週一回の検査を実施し、個人の移動範囲や食事会等後の検査も、施設長から承諾を得、随時検査できる対応を取った。また少しでも身体的に異状があれば、部署全体で休める体制作りを努めた。

- (3) 各種加算の継続取得（様式1）と計画的取得（加算取得計画（様式1-2））に努める。

○ サービス向上会議時や口腔ケア後、山下歯科衛生士による助言や指導を受け、ブラッシング技術、入れ歯洗浄、入れ歯安定剤の使用方法等指導を受け実施できた。今後も定期的に施設内研修会を計画、実施し、専門的知識を深め、ケアの質の向上に努めたい。

- (4) 入所率・利用率の低下防止、及び利用者増に向けて新規利用者の掘り起こし等に努める。

○ 入居者様の既往歴や現病歴を踏まえた上で、身体状態の観察をこまめに行い、体調不良等早期発見に努めた。また看護職、介護職の連携がうまく取れ、医師への報告や早めの受診に繋げることができた。

○ ヒヤリ・はっとの報告件数については、入居者様の状態に応じて件数を出す事ができた。また品質管理委員会、主任者会議で多職種からの意見を取り入れて検討を行い、チーム会議やフロア会議で検討、周知を実施し事故等未然に防ぐ事ができた。しかし、予防、是正処置報告書の展開は一部の職員しか実施出来ていなかった。来年度は担当者を定め、毎月の検討を行い、確実に実施していく。

○ 出勤時に「ケアカルテ」記録システムを活用し、周知事項の把握をすることができた。また周知に関しては、部署全員への連絡はスマートフォンアプリ「LINE」を活用し、スピーディーで確実な周知を行う事が出来た。

○ 入居者様個人に必要な水分・食事摂取量、運動・機能訓練の内容や量等を施設サービス計画や各計画書（栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書等）で把握し、ケアの質の標準化を図るよう取り組んでいる。

○ 入退院時の連携については、入院期間中に看護師が面会を行い、医療機関やご家族との連携が取れた。5年度は、誤嚥性肺炎は発生していないが転倒骨折事故が5月に1件発生した。令和6年2月から導入した「見守り

ライフ」を活用し、夜間入居者様の状態把握を行い、迅速に対応できるようにし、骨折ゼロを目指し取り組んでいきたい。

- (5) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

○ 毎月予算執行し、管理を行い手順通りに執行した。

- (7) 計画的な設備等の導入・廃棄等を図るため、パソコン設備一覧表（様式2）、車両設備一覧表（様式3）、設備等導入計画・修繕計画（様式4）、設備・備品等廃棄計画書（様式5）を作成し、中長期計画策定に取り組む。

○ 毎月の設備点検を実施した。しかし備品の清掃や整理整頓ができていない。今後点検時だけでなく、定期的に、また職員の意識も持つよう毎月の定期会議時に啓発を行う。

- (8) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

○ 毎月のフロア会議やチーム会議時に、各自のムダ・ムラの進捗状況を確認し、年間通して継続的に取り組む事ができた。

- (9) 経営の見える化と見せる化の一層の推進を図り、事業運営の透明性の向上とガバナンスの強化を図る。

○ 社協主催の介護実践者研修に講師として派遣できた。
○ 中学生のワークキャンプは受け入れを夏休みに実施できた。久しぶりの受け入れでとてもよい内容だったと思う。参加者が少人数でも実施していきたい。
○ オレンジカフェの参加については、新型コロナウイルス感染症の流行にて実施できなかった。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

- (1) 地域との連携の再構築（ポストコロナを見据えて）

○ 「喫茶去」発行は毎月実施する事が出来た。また面会制限等ある中、近況報告の代わりとなる文章ではなく、写真の方が伝わりやすいのではという職員の意見で、少しでも施設内での生活を紹介できるようにと日常風景の模様や様子を写真に収めたカレンダーを作成し、毎月お送りする事が出来た。
○ ボランティアとの連携は、新型コロナウイルス感染症の流行にて実施できなかった。
○ 毎月1回、買い物も行ける時には村上商店へ出掛け、翌日に入居者様にも手つだって頂き、調理の行事を毎月行う事ができた。この行事は入居者様の楽しみの一つであり、継続して取り組むことができている。
○ 社協主催の介護実践者研修に講師として派遣できた。
○ 行政や区の行事も少しずつだが実施され始めたので、来年度から感染症対策を確実にし、積極的に参加して行きたい。

(2) 家族との連携の再構築を図る（ポストコロナを見据えて）

- 各入居様の誕生日、若しくは各職員の企画にて実施する事が出来た。自宅内への訪問は出来なかったが、周辺の散歩でもとても喜んで頂けた。今後も継続していきたい。また誕生日等の行事では、ご家族に事前に誕生日会を行う事をお伝えする事で、差し入れや本人様の好物、お花等たくさん頂いた。またユニットでも「誕生日は特別な月」という事を感じて頂くために、故郷訪問や出前を取り、ユニット全体でのお祝だけではなく、ご家族の代わりにはなれないが、担当者と個別にお祝いする事が出来た。来年度はふるさと訪問や、自宅から馴染みの物を施設に運び、環境整備にも取り組みたい。
- LINE 電話の活用は実施できなかった。
- 毎月のカレンダー作成は実施でき、とても好評なので今後も継続していきたい。
- 3か月に1回、フロア会議時に看取りケアについて話し合うことができた。また偲ぶ会では個人の想いや意見を聞き取り、課題の把握をし、次のケアに繋げる取り組みができたと思う。体年度は感染症対策も緩和されると思うので、以前のようにご家族にも寄り添い、協力していきたい。

(3) 上天草市・上天草市社会福祉協議会との連携強化（ポストコロナを見据えて）

- 中学生のワークキャンプは受け入れを夏休みに実施できた。久しぶりの受け入れでとてもよい内容だったと思う。参加者が少人数でも実施していきたい。また小学生の参加も社会福祉協議会と連携して促し、参加して頂けるよう協力していきたい。
- オレンジカフェの参加については、新型コロナウイルス感染症の流行にて実施できなかった。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応）

～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(1) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による5つのゼロの達成

～利用者様の自立支援と自己実現に向けて～

- おむつゼロの取組みとして、5名の実施を計画し、現在では4名の方のトイレ誘導が定着した。また1名の方は、骨粗鬆症等原因でトイレ誘導の取組みを途中中止した。
- 紙オムツを使用されている方は、新規入居者時や体調等により定期的に見直しを行い、現在は2名いらっしゃる。今後も状態に応じて見直し検討を行い、「オムツ外し」を実施していきたい。
- 水分摂取量の増加については、全体的に停滞気味である。今後も全職員意識して取り組むことが必要だと思う。
- 機能訓練は個人別実行計画書にも目標に掲げ、介護職員での実施が少しずつでもできるようになり、以前より改善傾向にある。今後も意識して取り組むたい。

- 身体拘束廃止について、毎月フロア会議時に自らの振り返りを行う機会を設けた。また毎月のサービス向上会議やチーム会議にて、椅子での日中の過ごし方やセンサーの使用についても検討し随時対応した。
- スピーチロックについてもチーム会議やフロア会議で検討を行い、日頃の自分達の接し方や行動、言葉使いについて見直す機会を設けたり、若しくは接し方や言葉使いに問題と感じた時等、状況に応じて会議の議題に挙げ、アンケートをとったり、グループワークや個人ワークにて振り返りを行った。またユマニチュードの取り組みとして、入居者様への接し方も見直すことで、スピーチロックの改善に向けた取り組みが出来たと感じている。今後も継続して取り組んでいく。
- 事故防止の取り組みとして、転倒骨折事故が5月に1件発生した。令和6年2月から導入した「見守りライフ」を活用し、夜間入居者様の状態把握を行い、迅速に対応できるようにし、骨折ゼロを目指し取り組んでいきたい。
- 事故防止の取り組みとして、ヒヤリ・はっと報告書をチーム会議で検討し、主任者会議、品質委員会、サービス向上会議にては多職種で検討した結果を再度フロア会議で周知を行い、事故予防に取り組んだ。また、ヒヤリはっとの評価を行い、転倒や表皮剥離のリスクが高い方についての検討を行い、随時対応した。しかし予防・是正処置の対応はできたと思うが、展開として報告書の作成ができなかった。
- ヒヤリはっと報告書は1日1件を目標にしていたが、月平均30件程度だった。原因として入居者様の状態、状況変化もあるが少ないと思う。来年度は報告書作成について担当者を決め、定期的に勉強会を実施したい。また事故を完全に防ぐことは難しいと思うので、対応として事故が起こる前の対策に力を入れ、ハードの見直しや歩行状態が安定するよう歩行、立位訓練等、介護職が主体で行う機能訓練に力を入れ、入居者様の健康作りに力を入れて行きたい。
- 嚥下マッサージ等、毎食前に実施できた。しかし記録が出来ていない。毎月のチーム会議やフロア会議で周知を行い改善して行きたい。今後も誤嚥性肺炎が原因となり、入院される事がないようにしていきたい。
- 多職種連携にて、褥瘡委員会やチーム会議で評価を行い実践できた。また、排泄交換や入浴介助時等、発見した場合は直ちに看護師やリーダーへ報告し写真を撮り、チーム全員で状態を把握し、共有する事で迅速に対応する事ができた。
- 褥瘡予防の指導について、看護師や理学療法士からアドバイスを受け、チーム会議での検討を行う事で意識を高めながら実施する事ができた。褥瘡ハイリスク者については、エアマットの使用や栄養状態の把握し、褥瘡予防に努めている。

(2) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による4つの自立支援活動

- ユマニチュードの実践について力を入れて取り組んだ。実践して実感することは、重度の認知症で、意思疎通が困難な方でも有効な手段であると

感じている。また反面、難しいことは「とても簡単そうに見えて、実は非常に難しい」という事と「継続して取り組む難しさ」について感じている。全職員にも取り組みが浸透しつつあると感じている。今後も継続して取り組み、「ユマニチュードはケアの基本である」とい事をユニット部門全体の共通目標として取り組んでいきたい。また研修会の参加も開催される状況になったら積極的に参加する。

- 口腔ケア計画についてチーム会議で毎月検討を行い、状況に応じて山下歯科衛生士に指導を受け実施できた。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- 新型コロナウイルス感染症の流行で、入居者様の外出は大幅に制限する事となったが、職員の工夫等で店からの出前や手作り屋台、また施設内調理にてお弁当を作り、施設の敷地内だが、外での食事等、入居者様に喜んで頂けるよう工夫して取り組むことが出来た。また町外へ出での買い物も2回実施する事ができた。今後も回数を増やしたり、入居者様の喜び楽しみを提供できる体制を作っていきたい。
- 個別での対応の充実を図る為、全体行事と別に、担当で企画を行う個別行事に力を入れ取り組んだ。内容は出前を取ったり、故郷訪問や散歩等を重点的に行い大変喜んで頂けた。
- ユニット中庭部分に、野菜や花を植え、水やりや草抜き等手伝って頂き、収穫した食材を調理したり、日常に楽しみや喜びが持てるよう努めた。
- 環境作りに関しては、入居者様の要望、身体状況に合わせた模様替えを行い検討等、随時見直し行った。また看取り期を迎えられた方には、付き添われるご家族へのソファの提供、また生花や写真、アルバムの準備、あと御自宅から大切にされた物や馴染みの物を持参いただき、最期の時間を有意義に過ごして頂けるよう飾り付けを行い、ご家族にも毎回好評で喜んで頂けた。今後も継続していきたい。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

- 24時間シートの活用や新規入居者様の作成、また評価はできなかった。現段階で、24時間シートの必要性や活用方法について再検討を行い、今後の方向性を検討していく。今回は、お茶の水ネット配信を使用し、個人で課題や目標を設定し、取り組んだ。年2回研修報告を作成し、自己の目標や数年後の自分についても目標設定できる事ができた。今後は施設長からも指摘があったが「介護福祉士資格取得がゴール」という感覚が今の職員全員にある。これからは「介護福祉士取得がスタート」という認識で、資格取得や研修の受講を積極的に受けて頂くよう支援していく。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- 職員教育では長期、短期、そして当日の目標等しっかりと定め、計画的な教育を行っている。

- 有給取得について、規定通りの有給は取得して頂けた。来年度はもっと計画的に、そして早くから取得していただけるよう実施していきたい。
- 資格取得や各研修については、介護職員 1 名が介護職員実務者研修を予定していたが、コロナ禍で中止となった。
- 腰痛対策では、マッスルスーツの導入とスライディングボードの活用により、腰痛を訴える職員はいない。また移乗介助等、以前は 2 名で行っていた方も、3 名で介助する事により、表皮剥離や痣等の予防にも繋がっていると思う。今後も継続して取り組んでいきたい。

(4) 介護人材育成・確保に向けて。

- 姫戸中学生を対象としたワークキャンプの受け入れは出来た。また小中学校の行事（運動会、文化祭、その他催し物等）の参加は出来なかった。次年度は 5 類にも分類されるので、感染症対策を行い実施できるよう検討していきたく。

【2-4】施設サービス部門（看護）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(3) 各種加算の継続取得（様式 1）と計画的取得（加算取得計画（様式 1 - 2））に努める。

- 経口移行についてはサービス向上会議で検討を行った。
- 嚥下障害スクリーニングテストはコロナの状況により 7 回の実施だった。
- 体重減少や食事量減少があった場合は、随時多職種で検討し、栄養補助食品の提供についても検討した。
- LIFE の活用と委員会を通し、他職種でハイリスク者や皮膚剥離者の方を把握し、毎月検討・対応出来た。

(4) 入所率・利用率の低下防止、及び利用者増に向けて新規利用者の掘り起こし等に努める。

- 誤嚥性肺炎での入院 6 名あり。嚥下機能低下があり、トロミ剤の使用や口腔マッサージ・口腔体操や口腔ケアの実施をしているが、効果的に行えていない部分もある可能性がある。歯科医師による健診時の助言や歯科衛生士からの指導助言を参考に今後も技術の向上に努め、取り組んで行く。
- 科学的根拠に基づくケアの取り組みとしては、施設内研修、サービス向上会議で、5 つのゼロについて話し合い、個人にあったリスク把握やケアを考え、実践した。日常的な状態観察・バイタルチェックをし、早めの対応・受診を行ったが、従来型は誤嚥性肺炎 6 名、急性肺炎・気管支炎・無気肺 11 名、骨折によるもの 2 名、持病悪化 6 名、尿路感染症 2 名。ユニット型は、持病の悪化 5 名、肺炎 4 名、インフルエンザ 1 名。以前に増し介護と看護の連携ができてはいるが、持病の悪化や老衰、重度化、急変され、

お亡くなりになられる方もおられた。従来型は、骨折 6 名、ユニット型は、骨折 1 名があった。入所率は、従来型 91.0%、ユニット型 95.8%であった。入院が長期化する方が多かった為、目標より下回った 低栄養状態の方については、主治医指示のもと、点滴を行うだけでなく、多職種で栄養状態を検討し、栄養補助食品も取り入れ提供した。骨折については、リスク者把握に努め、原因追及でき、取り組めている部分もあるが、取り組みの部分で、まだ不足している部分を今後も強化・改善していく。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(2) 家族との連携の再構築を図る（ポストコロナを見据えて）

- コロナ禍の為、面会を制限していたが、徐々に緩和した 制限中は、近況の問い合わせの時など、ご家族へわかりやすい言葉で、情報を説明し、又看取り介護になられている方のご家族へは、少しの変化の時でもご希望に沿って、状態を報告した。相談しやすい雰囲気になるよう、面会に来られる方へは、職員から出来るだけ声をかけ、話しやすいような環境作りを行った。感染対策の中にも、面会が出来るだけ継続してできるよう感染状況も考慮しながら多くの期間対応出来るように検討した方が良いと考える

(4) 医療機関との連携強化を図る。

- 入院の方の状態を医療支援課の方からの情報だけでなく、受診時や時間の許す時間帯がある場合は、電話で情報を把握するように心掛け、実践できた。入院の長期化にならないかを判断するため、相談員や看護職員から病院側に問い合わせをし、状態を見に行くことで情報を把握し、その都度必要に応じた対応が出来ている。
- 協力医療機関との連携会議などにも参加し、出来るだけ近い存在で連携が図れるよう、また主治医とも早めの連絡で、入居者様の状態を協力医療機関にも伝え、受診がスムーズになるようにもしてもらい、早めの受診にもつなげた。
- 看取り介護では、従来型・ユニット型で数名の方がおられたが、それぞれの方の対応での学び（偲ぶ会・看取り介護研修など）を活かし、看取り介護中の方にもより良いケアが提供できるように努力している。
- 嘱託医（主治医）である姫戸医院との協力体制については、コロナ感染症発症時や日頃からの入居者様の状態について、今よりもっと連携強化をしていく。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応）

～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(1) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による 5 つのゼロの達成

～利用者様の自立支援と自己実現に向けて～

(おむつゼロ)

- おむつ外しについては、サービス向上会議で、多職種で検討。従来型でもユニット型でも褥瘡まではいかない臀部の傷が増えている為、排泄介助時の皮膚観察と清潔保持に努め、長期化しないように座位時の姿勢・時間の工夫と緩衝剤、臥床時の緩衝材等も検討し、適切な器具・備品の使用をするようにした。褥瘡委員会でも座位が長時間にならない様にする事なども啓発し、部署でも啓発し実践する事で、以前に比べ介護職員の意識付けにもなっている為、早めの治癒に繋がっている。

(身体拘束ゼロ)

- 計画通りに研修は実施できた。センサーの必要性については、フロアやサービス向上会議・チーム会議などで検討し、必要に応じ使用をした。

(骨折ゼロ)

- フロア会議やサービス向上会議・チーム会議などで、転倒・転落リスク者拘縮等の把握し、情報の共有を図り、センサーマットの使用者や緩衝マットの使用・介護技術の知識向上、実践を進めたが、転倒や転落による骨折が従来型は7名、ユニット型は2名あった内、従来型2名、ユニット1名入院された。

(胃ろうゼロ)

- 毎月サービス向上会議の中で、経口移行について検討。また、嚥下・咀嚼障害のある方は、口腔体操実施やフードテストでの状況把握をし、多職種で情報を共有化し、注意事項を決め、食事介助を行った。以前に比べ、ムセの多い方や食物残渣物の残りがある方も増加している。

(褥瘡ゼロ)

- 研修については、計画通り実施できた。毎月の褥瘡対策委員会で、リスク者の把握と褥瘡になりやすい傷、または褥瘡が出来ている方の傷の状況を写真で把握し、処置の内容やケアの状況について話を進め、重傷で長期化した褥瘡罹患者はなかった。入浴時や排泄交換時、夜間の排泄交換時の皮膚観察により、重症につながる傷が防げた。従来型は、コロナ感染症により3名の方が褥瘡発生したが、悪化することなく治癒に向かった。

(2) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による4つの自立支援活動

(口腔ケア)

- 口腔ケアの実施とともに、咀嚼・嚥下状態が悪い方は、自動や他動で口腔体操、首周りの運動を食前や集団レクレーション時に行った。

(看取り介護)

- 研修は計画通り実施できた。従来型・ユニット型ともに、入居者様で看取り介護を行い、その都度その方にあった、看取りについて検討し、ご家族の意向に沿ったケアの充実を目指し、ケアを行った。偲ぶ会もその都度実施し、死生観教育や次の看取り介護へ繋げている。在宅者の看取りの方は、今回はなかった。

(4) ISO-9001:2015に基づくサービスの品質管理。

- ミーティング時に、重要なヒヤリ・はっとや不適合を報告し、情報の共有をした。
- 面会については、感染症数を把握しながら、その都度感染症対策委員会を通して決定し、実施出来た。3月23日から始まり、従来型のコロナクラスターが発生、ユニットもコロナ罹患された方がおられたが、必要備品が備蓄されていたことにより、スムーズな対応が出来た。
感染症対応については、日頃より職員の健康管理や入居者様、短期入所ご利用者様の状態観察をした。熱発された時の初動作が、研修で習得していた為、スムーズに行う事も出来た部分が多く、今回のコロナ感染対応については、現場でのマニュアルも充実し、今後の対応に活かせるものが出ている。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(2) 職場・労働環境の整備（年齢等に応じたやりがいと働きがいのある職場を目指して）。

- 各健診は時期のずれはあるが、実施できた。
- 今年度は、インフルエンザに罹患する方がユニットにあり、クラスターになった
- 新型コロナウイルス感染症について従来型・ユニットクラスター化した。感染症対策の備蓄衛生物品については、事務所と協力し、必要量を検討しながら、備蓄をしてもらっており、不足する事はなかった。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- ミーティングは、従来型・ユニット型ともに介護職員と同時間で実施できた。
- 看護・介護間では、ケアカルテを活用し、連絡事項に重要事項は入力し、周知するとともに、主任・リーダー・看護で早めの対応が必要な時は、口頭でもお互いが報連相を行うように日々心がけ実践した。
- 看護間では、口頭やメモ、ケアカルテを活用し、お互いがスムーズに業務が行なえる様、引き継ぎの申し送りをするように心がけ実践できた。
- 従来型では、ケアや情報共有について、もっと介護・看護間の連携していくことがまだまだ課題である。

【2-5】施設サービス部門（栄養調理）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

- 感染症によりディスプレイ対応があり、在庫を確認しながら対応できた。
- 加算関係では LIFE は確実に実施できた。療養食加算は入所（居）者には対象者はないが、ショート利用の方 1 名対応した。経口維持加算は従来型 2 名、ユニット型 4 名を実施。再入所時連携加算は従来型 2 名、ユニット型 1 名が対象となり加算取得となった。

- こども食堂は長期休み期間中、春休み 3 回、夏・冬休み 2 回の計 7 回実施した。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

- 令和 5 年度の台風による避難はなかった。清掃活動については、苑周辺の草引きを実施した。
- 再入所時連携加算については上天草総合病院の栄養課と連携し対応できた。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応）

～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

- 食事量、水分量についてはサービス向上会議にて報告した。
- 食に関する問題点についてもサービス向上会議にて検討したり、食事観察時に多職種で検討を行い対応した。
- 食の楽しみについては計画に沿って実施した。今年度は、従来型におやつ作りのお楽しみ会を計画し、担当者と協働で実施した。
- 専門性の向上については、KTSM の食事介助技術を学んだ。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

- 計画に沿って実施。

【3-1】居宅サービス部門（通所介護事業）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(1) 災害発生時の BCP の作成、及び新型コロナ感染症 BCP の見直し

- 送迎時の検温や体調確認、また来苑後の体調確認等を行い、感染の予防に努めた。バイタルの異常や体調が悪くなられた利用者様に対する感染対策と、個別対応も併せて行った

(2) 介護報酬の適正受給、補助金等の有効活用による収入の確保に努める。

- 返戻・保留の発生状況に適切に対応した

(4) 入所率・利用率の低下防止、及び利用者増に向けて新規利用者の掘り起こし等に努める。

- 利用時の体調確認・バイタル測定・手指消毒等の感染予防を行い、利用率の低下予防に努めた。また、休みによる代替利用を提案しながら、利用の促進につなげた

(5) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

- 予算書に基づき、適切な予算管理ができた。予定に未計上なものについては、見積もりを依頼し、適切な手順で行った

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携の再構築（ポストコロナを見据えて）

○ 部署広報誌を定期的に配布し、広報活動に努めた

(3) 上天草市・上天草市社会福祉協議会との連携強化（ポストコロナを見据えて）

○ 定期的な防災訓練をとおして、地震や津波、また大雨等の災害に対する安全対策の実践に努めた

(4) 医療機関との連携強化を図る。

○ ハイブリッド形式の研修会等への参加で、各事業所や多職種で情報を共有できるように努めた

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応）

～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(1) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による5つのゼロの達成

～利用者様の自立支援と自己実現に向けて～

○ 毎日のミーティングやフロア会議等を通して、利用者様の状態を検討し、ケアの質の向上や、サービスの統一につなげた。また、フロア会議内でフィジカル・スピーチ・ドラッグロックについて話し合い、接遇を含めた改善活動に取り組んだ。併せて、皮膚状況の確認・食事摂取状況の確認を行い、皮膚疾患の早期発見に努め、ご家族・医療との連携を図り悪化防止に取り組んだ。

(2) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による4つの自立支援活動

○ 計画に沿った訓練の実施行い、身体機能・認知力低下予防につなげた

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

○ 季節に合わせたおやつや食事等、栄養士と連携し、食の楽しみの提供を行った

(4) ISO-9001:2015に基づくサービスの品質管理。

○ ヒヤリハットや不適合サービスについては、ミーティングにて報告し、職員で今後の対応について検討し再発防止につなげている

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

○ 個人別実行計画に基づき、職員ごとに研修視聴を行いながら、自己学習への啓発につなげた

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(2) 職場・労働環境の整備（年齢等に応じたやりがいと働きがいのある職場を目指して）。

年 5 回以上の有給休暇や連休が取れるように勤務調整を行った。また、会議等は 9 時間勤務を充て、時間外の削減に努めた

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

ミニ研修を通して、接遇への意識と技術の向上につなげることができた。また、フロア会議にて接遇について話し合い、改善につなげた

5. 防災・防犯体制の強化に向けて

(1) 地震・風水害等の自然災害対策の強化と火災等の防災対策の継続。

計画に沿って行った

【3-2】居宅サービス部門（居宅介護支援事業）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(1) 災害発生時の BCP の作成、及び新型コロナウイルス感染症 BCP の見直し

避難等が必要な利用者の把握、利用者・家族等の情報把握はおこなえた。居宅支援事業所の事業継続計画（BCP）が未作成。在宅勤務がおこなえる体制は整えている。

(2) 介護報酬の適正受給、補助金等の有効活用による収入の確保に努める。

計画通り実施できた。

(3) 各種加算の継続取得（様式 1）と計画的取得（加算取得計画（様式 1-2））に努める。

計画通り実施できた。

(4) 入所率・利用率の低下防止、及び利用者増に向けて新規利用者の掘り起こし等に努める。

年間利用率は 82%であり、後期から利用率は上がった（前期：78%、後期 86%）。各機関との情報交換や連携は適宜おこない、介護サービス情報の公表も計画通り実施できた。

(5) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

計画通り実施できた。

(8) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

計画通り実施できた。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携の再構築（ポストコロナを見据えて）

自立支援型地域ケア会議に参加し、他の参加者と課題を検討できた。清掃

については、出勤後に部署全員で取り組んだ。

(3) 上天草市・上天草市社会福祉協議会との連携強化（ポストコロナを見据えて）

認知症サポーター養成講座にキャラバンメイトとして参加

(4) 医療機関との連携強化を図る。

- 主治医や薬剤師との情報交換をおこなった。
- 入院時の情報提供、退院時のカンファレンスへの参加をおこない、医療機関との連携を図った。
- 利用者はもちろん、家族の感染情報等も把握し、各事業所と連携した。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応）

～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(2) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による4つの自立支援活動

計画通り実施できた。

(4) ISO-9001：2015 に基づくサービスの品質管理。

- ケアカルテで利用者のサービス利用時の状態を把握することができた
- その他項目は、計画通り実施できた。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

計画通り実施できた

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(2) 職場・労働環境の整備（年齢等に応じたやりがいと働きがいのある職場を目指して）。

- イレギュラー（利用者の緊急時への対応等）な場合を除き、時間外勤務はなかった。
- 有給休暇、介護休暇は部署内の協力体制のもと取得できた。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- 接遇ミニ研修の取組みが不十分だった。
- 予定は部署内で把握でき、必要時は、携帯電話への連絡で連携を図った。連絡漏れ、忘れがないように、PCメールも活用した。

【3-3】居宅サービス部門（在宅介護支援センター事業）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

- 委託事業・委託費請求共に契約内容遵守し実施できた。
- 新規申請された方のフォローを行い、居宅利用率に貢献することができた。
- 生活困窮者レスキュー事業初任者研修・フォローアップ研修に参画した。
- 子育て支援課・ひかり保育園・姫戸小学校等と連携しながらこども食堂事

業試行を継続することができた。交流スペースの活用は感染症状況下にて困難な面が多かった。

- 部署内の整理整頓は時間を作り取り組むことができたが、在介会議室は物置と化している為改善必要(ものを置けばそこにものが置かれる悪循環)。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

- 広報誌「翔く」グループホーム後を職員紹介ページとして活用している。
- 母体施設が福祉避難所に指定されている事の周知を地域で行った。
- 個人情報保護の観点から招集人員が狭小化し、ケア会議開催に至らず、包括と在介で同行対応しているケース多い。
- 民生委員定例会に参画し関係各所と情報共有に努めた。
- 「コーディネーターだより」を奇数月に作成。地域活動や意識向上につなげた。
- 「みつば会」3回開催。地域の課題と向き合い、支え合い助け合いについて話し合う場として定着してきた。
- 生活支援に向けたボランティア養成研修に町内2名受講、市へ登録済。「ボランティアの組織化」へ一歩前進できた。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFEへの対応）

- 業務分掌表に基づき、自らの職務を遂行した。
- 母体の計画・個人別実行計画書に基づき、資質向上に努めた。
- 研修等の情報は積極的に収集し参画した。
- コロナ後初めて施設外での研修参加、web研修にはない仲間との一体感と情報入手が迅速かつ分かりやすく、新鮮だった。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

- 退勤時刻は声を掛け合い定時退勤しやすい雰囲気づくりに努めた。
- 有給休暇は業務に支障のない範囲で適宜、取得できている。
- 資格取得にかかる費用負担については整備に従い活用している。
- 介護休業を取得し仕事を続けながら遠方家族の介護が継続出来ている。
- 部署内の連携は図れているが、部署間の連携がやや不十分箇所あり改善必要。

5. 防災・防犯体制の強化に向けて

- 母体の計画に沿い実施できた。

6. コンプライアンスの徹底

- 母体の計画に沿い実施できた。

【3-4】居宅サービス部門（訪問介護事業）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(1) 災害発生時のBCPの作成、及び新型コロナウイルス感染症BCPの見直し

訪問先で体調不良があった際には、感染予防に努め、各関係先に連絡し対応することが出来た。

(2) 介護報酬の適正受給、補助金等の有効活用による収入の確保に努める。

計画どおり実施できた。

(3) 各種加算の継続取得（様式1）と計画的取得（加算取得計画（様式1-2））に努める。

計画どおり実施できた。

(4) 入所率・利用率の低下防止、及び利用者増に向けて新規利用者の掘り起こし等に努める。

受診等で訪問がキャンセルになった場合は、他の曜日に代替訪問で対応し調整することが出来た。

(5) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

計画どおり実施できた。

(8) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

居宅、在介、訪問介護と共有しながら取り組むことが出来た。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携の再構築（ポストコロナを見据えて）

在介、居宅、訪問介護で輪番を使用し、草取りや玄関周辺を清掃することができた。

(4) 医療機関との連携強化を図る。

ご家族が受診に付き添われる時や先生の往診がある時は、利用者様の様子や状態を伝えることが出来ている。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFEへの対応）

～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(1) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による5つのゼロの達成 ～利用者様の自立支援と自己実現に向けて～

環境整備では、電気コード類のはみ出しは短くまとめたり、敷物の寄れがあった際は、しわを伸ばして転倒防止に努めることが出来た。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

○ 本人様の食べたい物を一緒に調理を行い、下ごしらえの切る作業や味付けで美味しく出来た時の喜びを感じることが出来た。

(4) ISO-9001:2015に基づくサービスの品質管理。

○ 3か月評価については、3人で分担して、各担当ケアマネに報告することが出来た。

○ 毎月の利用実績の報告の際は、担当ケアマネに利用者様のサービス提供中のヒヤリハットを報告している。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

○ 施設内での研修会に参加できた。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(1) 介護職員等のキャリア形成の明確化に取り組む。

○ 新規の利用者様には、一緒に訪問し提供内容の手順を伝え、3人で共有することが出来た。また、分からない所はお互いで助言することも出来た。

(2) 職場・労働環境の整備（年齢等に応じたやりがいと働きがいのある職場を目指して）。

○ 定時の退勤や有給休暇、月1回の連休を取得し、心身ともにリフレッシュすることができ業務に取り組むことが出来た。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

○ 利用者様には、笑顔で挨拶を行い、言葉使いにも気をつけ接遇改善につめることが出来た。

○ 職員間では、出退勤時や訪問に行く前、帰着時は気持ちよく挨拶をすることが出来た。

【3-5】居宅サービス部門（認知症対応型共同生活介護事業）

1. 経営組織の安定・強化と透明性の確保、地域貢献

(1) 災害発生時のBCPの作成、及び新型コロナ感染症BCPの見直し

○ 4月からの訓練はできなかったが、昨年実施したことを踏まえて、入居者様が発熱等感染症と思われる疾病発症時には感染症拡大防止のための対応や関係者との連携について、BCPに基づき実施できていた。

(2) 介護報酬の適正受給、補助金等の有効活用による収入の確保に努める。

○ 運営基準や介護報酬についての職場内研修はできなかったが、適正な職員配置や適正受給はできた。

(4) 入所率・利用率の低下防止、及び利用者増に向けて新規利用者の掘り起こし等に努める。

○ 姫戸医院看護師や主治医と日常的に連携が取れ、情報の共有ができ早期受診につなげることが出来た。

(5) 既決原価、未決原価の適正化と月次予算、月次決算に基づく適正な執行管理を行い、財務規律の強化を図る。

○ 適正な予算執行ができた。

(8) 個人別実行計画書による効率化の共有により、ムダ・ムラの削減を図る。

○ ムダ・ムラの削減については、水道光熱費や消耗品等の削減に努めることが出来た。

(9) 経営の見える化と見せる化の一層の推進を図り、事業運営の透明性の向上とガバナンスの強化を図る。

○ 運営推進会議及び身体拘束等適正化のための対策を検討する委員会は、2ヶ月ごとに開催できた。また、広報誌の発行もできた。自己評価、外部評価については、事業活動期間が短かったため実施できなかった。

2. 地域包括ケアの中核を担う高齢者福祉拠点としての使命

(1) 地域との連携の再構築（ポストコロナを見据えて）

○ 事業活動期間が短かったため、実施できなかった。

(2) 医療機関との連携強化を図る。

○ 姫戸医院看護師とは、毎日健康チェック表を発行し健康状態の情報について共有を図ることができ、迅速に主治医の指示を仰ぐことができた。

○ 受診日や薬の管理についても、ケアカルテや白板等を用い情報共有できた。

3. 科学的根拠に基づくサービスの提供（自立支援の追求：LIFE への対応）

～高品質サービス（自己実現介護）の提供に向けて～

(1) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による5つのゼロの達成

～利用者様の自立支援と自己実現に向けて～

○ おむつゼロに向けた取り組みはできた。特に羞恥心への配慮を行うために、トイレでの排泄時にはバスタオルで下半身を覆うなどの対応を行った。

○ 身体拘束等の適正化のための指針について、読み合わせなどは行っていないが、毎月のフロア会議で、身体拘束について検討を実施した。職員全体研修としての研修会は5月に実施。

○ 転倒での骨折事故が5月に1件発生した。骨折やケガにはつながらなかったが、居室内での転倒が2件発生しており、居室内の環境整備について見直しを行った。

○ 利き手で箸やスプーンが持ちにくくなっておられる方へは、食器や自助具の工夫を行い、なるべく自立摂取できるよう支援を行った。

- 嚥下体操については毎昼食・夕食前に実施できた。
- 褥瘡の予防的支援を行い、褥瘡の発生は無かった。皮膚の状態についても観察ができ、皮膚疾患や傷などは姫戸医院と連携し早めの治療につなげることが出来た。

(2) 現場職員の主体的取組み（気づきと実践）による4つの自立支援活動

- ユマニチュードの「ケアの4つの柱」「ケアの5つのステップ」について朝礼ミニ研修を活用し読み合わせを行い、理解が深められるように取り組んだ。
- 近隣散歩や廊下歩行で歩行訓練を実施した。
- 毎日、午前午後にストレッチやラジオ体操の実施が出来た。
- 個人的な訓練メニューの作成はできなかった。
- 毎食後口腔ケアを実施し、口腔内のトラブルが無いかの観察も行った。
- 事業実施期間が短かったために、看取り研修は実施できなかった。また、看取り対象の入居者様もおられなかった。

(3) 喜び、楽しみ、笑顔溢れる日常生活の提供。

- 食の楽しみにむけて、毎月の行事食や誕生会など入居者様の希望を取り入れながら実施できた。コロナ感染所蔓延防止のため、ご家族と一緒に実施することはできなかった。
- 桜やつつじ、菖蒲の花など出かけて鑑賞できる機会を設けることができた。また、入居者様の希望を聞きながら日常的な外出支援も実施できた。
- 趣味活動の支援やイベント湯など実施できた。屋上での野菜や花作りも実施できたが、天候も影響し良くできなかった。
- 事業所閉鎖に伴い実施できなかった。
-

(4) ISO-9001:2015に基づくサービスの品質管理

- 必要な力量がもてるように、個別に職員指導を行った。
- 職員間や関係機関との情報共有や連携に「ケアカルテ」を活用した。
- 毎月のフロア会議で、ヒヤリハットの分析や啓発ができた。
- 不適合サービス発生時には、速やかに改善に取り組むことが出来た。

(5) 個別ケアの推進、サービスの質の向上。

- アセスメント、モニタリングは介護職員へも協力してもらい実施できた。介護計画書は、入居者様へも確認いただいた。
- 社会福祉士通信講座のスクーリングへの参加支援はできたが、それ以外の外部研修参加はできなかった。
- 個人別実行計画書に、受講を目標とし、各職員で取り組みが出来た。
- 管理者は自己学習したが、他職員への研修はできなかった。

4. 魅力ある職場づくり（働き方改革への対応と介護人材の育成と定着に向けて）

(2) 職場・労働環境の整備（年齢等に応じたやりがいと働きがいのある職場を目指して）

- 職員の病欠等があり、休日出勤や時間外勤務もあったが、平常時は時間外勤務を行わないように努めた。
- 業務が終わったら速やかに帰宅できるよう職員間で協力して取り組むことが出来た。
- 職員全体研修へ参加できなかった場合は、なるべく勤務時間内で受講できるようにした。
- 有休取得について、年 2 回以上の連休を取得できるよう各部所で計画的に取り組む。また、年間 5 日以上の実績な取得に向けて毎月の集計表を確認し、時季を指定する等の対応を行う。
- 有給休暇年 5 日以上と連休の取得に向けて、毎月の勤務表作成時に計画的に取得できるようにした。また、集計表を作成し、毎月実績を確認した。
- 昨年より引き続き、社会福祉士通信講座の受講、認知症ケア専門士の資格取得に向けての支援を行った。

(3) 対人援助サービスに必要なコミュニケーション能力の育成。

- 実施できた。

5. 防災・防犯体制の強化に向けて

(1) 地震・風水害等の自然災害対策の強化と火災等の防災対策の継続。

- 8 月 31 日での事業所閉鎖の為に実施できなかった。

IV. 行事等報告

【1】家族会・運営推進会議等

(1) 特養（従来型特養・ユニット型特養）

期 日	出席者数	審議事項等	備 考
R5.9.17	17名	【翔洋苑家族会・敬老会】 ① 家族会（15名） ② 敬老会・昼食会（17名）	

(2) ユニット型特養（運営推進会議）

期 日	出席者数	審議事項等	備 考
R5.5.29	13名	【第1回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和5年度 社会福祉法人姫戸福祉会 事業経営計画（概要） ② 令和5年度 事業報告（4～5月） ③ 令和5年度 行事計画（6～7月） ④ 事業運営に関する評価、意見等 ⑤ その他	地域交流 スペース
R5.7.28	11名	【第2回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和5年度 社会福祉法人姫戸福祉会 事業経営計画（概要） ② 令和5年度 事業報告（6～7月） ③ 令和5年度 行事計画（8～9月） ④ 事業運営に関する評価、意見等 ⑤ その他	地域交流 スペース
R5.9.28	12名	【第3回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和5年度 事業報告（6～7月） ② 令和5年度 行事計画（8～9月） ③ 事業運営に関する評価、意見等 ④ その他	地域交流 スペース
R5.11.29	11名	【第4回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和5年度 事業報告（10月～11月） ② 令和5年度 行事計画（12月～R6年1月） ③ 事業運営に関する評価、意見等 ④ その他	地域交流 スペース
R6.1.30	12名	【第5回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和5年度 事業報告（12月～R6年1月） ② 令和5年度 行事計画（2月～3月） ③ 事業運営に関する評価、意見等	地域交流 スペース

		④ その他	
R6.3.29	10名	【第6回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和5年度 事業報告（2月～3月） ② 令和6年度 行事計画（4月～5月） ③ 事業運営に関する評価、意見等 ④ その他	地域交流 スペース

(3) グループホーム（運営推進会議）

期 日	出席者数	審議事項等	備 考
5月26日	3名	① 活動報告と活動予定 ② 事業運営に関する評価・ご意見等 ③ 身体拘束適正化のための対策を検討する委員会	
7月26日	4名	① 活動報告と活動予定 ② 事業運営に関する評価・ご意見等 ③ 身体拘束適正化のための対策を検討する委員会	書面開催

(4) 苦情処理状況等の第三者委員への報告

期 日	出席者数	審議事項等	備 考
R5.6.7	4名	【令和4年度 苦情処理状況等の報告】 ① 苦情（相談・要望・意見）について （社会福祉法人 姫戸福祉会） ② 苦情（相談・要望・苦情） に関する意見、評価	地域交流 スペース

【2】 行事報告

(1) 従来型特養

No.	期 日	行 事 名	出席者数	備 考
1	R5年4月8日	山下優子様誕生日	0名	
2	R5年4月9日	ツツジの花見学	5名	
3	R5年4月12日	里田ハスミ様誕生日	0名	
4	R5年4月16日	ツツジの花見学	5名	
5	R5年4月23日	スイーツの日	30名	
6	R5年5月2～5日	菖蒲湯	0名	
7	R5年5月5日	端午の節句	30名	
8	R5年5月18日	お楽しみ会	30名	
9	R5年5月31日	堀江ミスエ様誕生日	30名	
10	R5年6月4日～	菖蒲見学	5名	
11	R5年6月7日	打越山サツキ様誕生日	0名	

12	R5年6月16日	田中廣様誕生日	30名	
13	R5年6月18日	スイーツの日	0名	
14	R5年6月24日	村上ミサエ様誕生日	0名	
15	R5年6月28日	お楽しみ会	30名	
16	R5年6月29日	松下一美様誕生日	0名	
17	R5年7月7日	七夕	6名	
18	R5年7月16日	スイーツの日	30名	
19	R5年7月28日	お楽しみの日	30名	
20	R5年8月13日	お盆法要	30名	
21	R5年8月20日	スイーツの日	30名	
22	R5年8月27日	夏の交流会	30名	
23	R5年8月29日	お楽しみ会	30名	
24	R5年9月3日	大川ヤヨイ様誕生日	0名	
25	R5年9月14日	お楽しみ会	30名	
26	R5年9月17日	翔洋苑敬老会	0名	
27	R5年10月1日	川畑隆昭様誕生日	0名	
28	R5年10月12日	お楽しみ会	30名	
29	R5年10月18日	福嶋定子様誕生日	0名	
30	R5年10月21日	中原イツエ様誕生日	0名	
31	R5年10月26日	たこ焼きの日	0名	
32	R5年11月3日	文化祭見学	5名	
33	R5年11月10日	段下トシエ様誕生日	0名	
34	R5年11月27日	お楽しみ会	30名	
35	R5年11月26日	中ハツキ様誕生日	0名	
36	R5年12月11日	木下フキ子様誕生日	0名	
37	R5年12月19日	濱口マユミ様誕生日	0名	
38	R5年12月19日	櫻庭令子様誕生日	0名	
39	R5年12月21日	入居者様忘年会	30名	
40	R5年12月22~24日	ゆず湯	30名	
41	R5年12月24日	クリスマス会	30名	
42	R5年12月25日	餅つき	6名	
43	R5年12月27日	藤本敏江様誕生日	30名	
44	R6年1月5日	脇本フデ子様誕生日	0名	
45	R6年1月10日	須崎百合子様誕生日	0名	
46	R6年1月10日	山本エミ子様誕生日	0名	
47	R6年1月17日	お楽しみ会	30名	
48	R6年1月18日	前田穂一様誕生日	0名	
49	R6年1月26日	岩本恵様誕生日	0名	
50	R6年2月3日	節分	30名	
51	R6年2月15日	お楽しみ会	0名	

52	R6年2月18日	スイーツの日	30名	
53	R6年2月27日	山本政子様誕生日	0名	
54	R6年2月28日	松本潤子様誕生日	30名	
55	R6年3月3日	ひな祭り	30名	
56	R6年3月18日	岩下京子様誕生日	0名	
57	R6年3月21日	岩本サカエ様誕生日	0名	

(2) ユニット型特養

No.	期 日	行 事 名	出席者数	備 考
1	4/2	白岳ヘッツジ鑑賞	7名	
2	4/9	白岳ヘッツジ鑑賞	4名	
3	4/16	白岳ヘッツジ鑑賞	4名	
4	4/24	手作りの日(春野菜ちまき)	17名	
5	4/28	本田節夫様、水上キヌエ様誕生会	15名	
6	5/5	リビングへこいのぼりの飾り付け	17名	
7	5/1~3	菖蒲湯	17名	
8	5/7	白岳、姫戸統括支所ヘッツジ鑑賞	13名	
9	5/21	小島へ散歩	4名	
10	5/24	買い物行こう(浦本ストア)	1名	
11	5/25	手作りの日(ちゃんぽん on 皿うどん)	18名	
12	6/4	二間戸本郷地区竹本様邸に菖蒲鑑賞	9名	
13	6/10	山田代志子様誕生会	18名	
14	6/11	苑周辺や小島へ散歩	5名	
15	6/14	スイーツの日(羊羹)	18名	
16	6/16	苑周辺、小島、統括支所方面へ散歩	13名	
17	7/1~4	七夕飾り作成	18名	
18	7/2	買い物行こう(松島町ゆめマート)	2名	
19	7/7	七夕飾り付け	19名	
20	7/20	スイーツの日(かき氷)	18名	
21	8/13	お盆の法要(従来型にて)	15名	
22	9/2	小島散歩	8名	
23	9/10	二間戸地区諏訪神社へドライブ	4名	
24	9/14	お楽しみの日(手作りスイーツ)	18名	
25	9/17	苑敬老会	20名	
26	9/24	9月合同誕生会	16名	
27	10/1	小島周辺散歩	12名	
28	10/15	龍ヶ岳町町祭り参加	2名	
29	10/18	買い物に行こう(村上商店)	2名	
30	10/19	手作りの日(ホットケーキ作り)	20名	

31	10/22	姫戸町町祭り（神輿見学）	20名	
32	10/23	手作りの日（混ぜご飯、かき揚げ、豚汁）	20名	
33	10/28	9月合同誕生会	20名	
34	10/31	手芸、工作活動	3名	
35	11/3	姫戸町文化祭	5名	
36	11/8	西河内地区コスモス畑鑑賞	3名	
37	11/9	スイーツの日（フルーツヨーグルト）	17名	
38	11/10	買い物の日（松島町ゆめマート）	2名	
39	11/12	永目地区祭り	1名	
40	11/22	カップ麺の日	17名	
41	11/25	山口梶女様故郷訪問（松島町）	1名	
42	11/28	喫茶店「アイドル」へ行こう	2名	
43	11/29	山内様誕生会	15名	
44	12/2	姫戸中学校持久走大会見学	4名	
45	12/3	ふるさと訪問（濱田ミツヨ様）	1名	
46	12/6	苑周辺散歩	7名	
47	12/19	谷口幸子様誕生会	16名	
48	12/20	ユニット忘年会	19名	
49	12/20	ゆず湯	6名	
50	12/21	ゆず湯	6名	
51	12/22	ゆず湯	7名	
52	12/24	クリスマスケーキ作り	14名	
53	12/25	従来型特養と合同餅つき	11名	
54	1/11	スイーツの日（クリームワッフル）	16名	
55	1/14	二間戸地区諏訪神社初詣	6名	
56	1/15	二間戸地区諏訪神社初詣	4名	
57	1/16	姫浦地区永目神社	4名	
58	1/17	姫浦地区永目神社	4名	
59	1/28	1月合同誕生会	15名	
60	2/3	節分豆まき	18名	
61	2/8	スイーツの日（カスタードケーキ）	16名	
62	2/18	元釜地区散歩	6名	
63	3/30	手作りの日（山形名物 だんご焼）	17名	

(3) 栄養調理

月	日(曜日)	①行事名	②実施献立	③評価等
4	3 (月)	開苑記念祝い 膳日	赤飯・鯛の刺身・ごま 豆腐・なます・海老つ みれ汁・杏仁豆腐	今年はメバルが獲れないとの 事で鯛の刺身の変更。いつも より量が多い刺身を喜ばれ た。
	5 (水)	DS セレクト 食	エビチリ：柳川風煮	美味しく出来ていた。
	10 (月)	特養・DSセレ クト食	魚の野菜あんかけ：キ ャベツハンバーグ	ハンバーグはパサつき硬いと の声があった。
	18 (火)	DS セレクト 食	千草焼き：揚げ豆腐の 海老あんかけ	美味しく出来ていた。
	19 (水)	お弁当の日	ピース御飯・大葉入り ハンバーグ・スパゲテ ィー・卵焼き・さつま 芋の甘煮・菜の花のピ ーナッツ和え・かき玉 汁・フルーチェ	旬のグリーンピース御飯を喜ば れた。
	25 (火)	ごっつおの日	たけのこ御飯・魚の照 焼・アスパラの白和 え・清汁・コーヒーゼ リー	たけのこ御飯が薄味だった。 白和えはもう少しアスパラの 風味があれば良かったが食感 はあった。
	27 (木)	DS セレクト 食	肉団子のトマト煮：魚 のパン粉焼き	魚の皮が硬かった。(メルルー サ) 表面のパサつき感があっ た。
5	1 (月)	DS セレクト 食	蒸し鶏の味噌だれ：卵 の袋煮	ボリュームに差があった。
	5 (金)	こどもの日	彩り寿司・煮しめ・菜 の花の辛子和え・そば 汁・マンゴープリン	彩り寿司は食材が色々入り味 は良かったが、盛り付けが色 を活かされていなかった。
	12 (金)	DS セレクト 食	千草焼き：魚と野菜の 炒め物	千草焼きが黄色が白っぽく寂 しく感じた。
	16 (火)	特養・DSセレ クト食	鶏肉のきのこクリー ム：白身魚の南蛮	鶏肉のきのこクリームの味が 薄かった。
	24 (水)	ごっつおの日	ちらし寿司・新じゃが の煮物・揚げだし豆 腐・そうめん汁・ヨー グルトババロア	ちらし寿司の具材が少なく、 盛り付けも寂しかった。揚げ 出し豆腐の豆腐が硬かった。 だしが多いと良かったのでは ないか。

	25 (木)	DS セレクト食	金目鯛のきのこあんかけ：れんこん卸し揚げ	金目鯛の味が薄く生臭かった。
	29 (月)	お弁当の日	ロコモコ丼・ささ身サラダ・チキンスープ・オレンジ	御飯におかずが盛り付けあるため食べやすようであった。サラダのささ身が細かくなり過ぎていて食感がなかった。
	31 (水)	DS セレクト食	白身魚の野菜あんかけ・クリームシチュー	野菜あんが薄味であった。
6	5 (月)	DS セレクト食	ハンバーグ：魚のかき揚げ	美味しく出来ていた。
	13 (火)	DS セレクト食	豆腐入りすり身揚げ：トマトと海老の卵炒め	美味しく出来ていた。
	16 (金)	お弁当の日	ひじき御飯・アジの南蛮漬け・大根いところ煮・卵焼き・さつま芋とりんごの甘煮・ゴーヤサラダ・卵スープ・あじさいゼリー	甘煮のりんごが少し硬めだった。
	21 (水)	特養・DS セレクト食	白身魚のオーロラソース：鶏と豆腐の蒸し物	美味しく出来ていた。
	26 (月)	ごつつおの日	新じゃがのコロッケ・サラダ・コーンスープ・抹茶ゼリー	コロッケは大きく 1 個だった。2 個に分けた方が食べやすく見た目もよい。サラダは味が薄すぎた。
	29 (木)	DS セレクト食	松風焼：揚げ豆腐のきのこあんかけ	美味しく出来ていた。
7	3 (月)	DS セレクト食	魚のパン粉焼き：じゃが芋のレモンバター炒め	レモンバター炒めはさっぱりとして美味しかった。
	7 (金)	七夕	ちらし寿司・煮しめ・卵豆腐あんかけ・そうめん汁・抹茶ゼリー	ちらし寿司はトマト・卵・大葉をトッピングし彩りは良かったが、トマトのタネ・大葉の水分があった。下処理のしっかり行う必要がある。また、大葉の切り方が大きく咽頭のくつき危ないとの指摘をいただいた。
	14 (金)	特養・DS セレ	ゴーヤの天ぷら：ポー	天ぷら自体の味が薄かった。

		クト食	クかつ	
	18 (火)	DS セレクト食	じゃが芋入りオムレツ：エビマヨ	美味しく出来ていた。
	26 (水)	DS セレクト食	鶏肉のバター醤油焼き：白身魚の甘酢炒め	鶏肉はバターの風味が足りなかった。
	28 (金)	ごつつおの日	とろろそば・赤山、とうもろこしのかき揚げ・なすの辛子和え・マンゴープリン	全体的ボリュームがあり過ぎた。
	30 (日)	土用丑の日	うな重	量も丁度良く喜ばれた。
8	3 (木)	特養・DS セレクト食	金目鯛のマスタードソース：なすのはさみ揚げ	美味しく出来ていた。
	11 (金)	DS セレクト食	松風焼き：苦瓜のみそ炒め	みそ炒めの方がボリュームがあった。また、両方共にみそ味であった。
	14 (月)	DS セレクト食	大葉入りハンバーグ：アジフライ	アジが硬いとの意見があった。
	15 (火)	盆(精進料理)	いなり寿司・煮しめ・ごま豆腐・すまし汁・コーヒーゼリー	美味しく出来ていた。
	22 (火)	DS セレクト食	白身魚の甘酢ソース：蓮根だんご	蓮根は硬いとのイメージで魚に偏った。
	24 (木)	ごつつおの日	いなり寿司・煮しめ・キャベツごま和え・清汁・杏仁豆腐	いなりには香味野菜が混ぜ込んであったが量が少なく風味があまりせず残念だった。
	29 (火)	お弁当の日	ガパオライス・ゴーヤサラダ・卵スープ・苺プリン	ガパオライスの味付けをハッキリさせた方がよかった。具材が細かく食べにくいとの意見があった。
	30 (水)	DS セレクト食	ソースとんかつ・揚げ豆腐の野菜あんかけ	豆腐に味付けがないため、薄くしてあんをたっぷりかけた方が食べやすい。
9	7 (木)	DS セレクト食	金目鯛のきのこあんかけ：チキンナゲット	チキンナゲット自体に味がなく、添えてあるケチャップの味だった。
	12 (火)	特養・DS セレクト食	飛竜頭：白身魚のたらも焼き	たらも焼きは白々しているため、たらこの量を増やすと彩りがよくなるのではないか。
	17 (日)	敬老会	いなり寿司・卵巻き寿司・すき焼き・刺身・	彩りよく豪華なお弁当だった。里芋、海老が硬かった。

			海老のオーロラソース・なすと里芋の田楽・さつま芋の彩りサラダ・フルーツたっぷりババロア	
	18 (月)	従来型敬老の日	赤飯・天ぷら・大根の辛子酢和え・茶碗蒸し・清汁・苺プリン	美味しく出来ていた。
	18 (月)	DS 敬老祝い膳	松茸御飯・天ぷら・大根の辛子酢和え・茶碗蒸し・松茸の吸物・苺プリン	3日間共、DS ホールで土鍋で松茸御飯を炊いた。ホールや廊下に松茸の香りがした。天ぷらのボリュームが無く大きなお皿では寂しく感じた。
	19 (火)	DS 敬老祝い膳	松茸御飯・赤魚となすの卸し煮・春雨の酢の物・茶碗蒸し・松茸の吸物・コーヒーゼリー	松茸のカットが大きく、薄く切り直した。「松茸が沢山入っていた」との声があった。
	20 (水)	DS 敬老祝い膳	松茸御飯・豚の角煮・なすのサラダ・茶碗蒸し・松茸の吸物・杏仁豆腐	初めて豚の角煮を提供。硬いとの声はなかった。
	22 (金)	DS セレクト食	ハンバーグ：鮭のごま浸し	美味しく出来ていた。
	23 (土)	秋分の日	おはぎ	おはぎは喜ばれる。
	25 (月)	DS セレクト食	豚肉の紅生姜揚げ：白身魚のパン粉焼き	豚肉の周りが「硬い」との声があった。もう少し薄くして揚げても良かったのではないかな。
10	4 (水)	DS セレクト食	白身魚の磯辺揚げ：ポークチャップ	ポークチャップは肉が硬く、肉自体に味付けがないため混ぜ合わせた方が良いのではないかな。
	12 (木)	DS セレクト食	ミートローフ：シーフードシチュー	美味しく出来ていた。
	16 (月)	特養・DS セレクト食	ソースとんかつ：豆腐団子の生姜あんかけ	豆腐団子の味が薄い。
	20 (金)	ごつつおの日	赤飯・煮しめ・大根の酢の物・海老つみれ汁・マロンババロア	美味しく出来ていた。
	22 (日)	町祭	ちらし寿司・炒り鶏・なすのごま和え・あお	ちらし寿司は好評だった。

			さ汁・プリン	
	26 (木)	お弁当の日	高菜御飯・鶏のきのこあん・サラダロールフライ・だし巻き卵・スパゲティー・ほうれん草のり和え・かき玉汁・煮豆・フルーチェ	ボリュームがあり喜ばれた。
	27 (金)	DS セレクト食	白身魚のパン粉焼き：麻婆じゃが芋	魚はパン粉が多く、じゃが芋は旨味がないとの意見をいただいた。
	31 (火)	DS セレクト食	大根と豚バラの煮物：鮭フライ	大根の煮物が薄かった。
11	8 (水)	DS セレクト食	白身魚のオーロラソース：鶏肉と野菜のうま煮	うま煮は鶏肉が少なかった。
	15 (水)	お弁当の日	オムハヤシ・りんごサラダ・卵スープ・苺パバロア	オムハヤシ盛り付けは良かったが、コクがなかった。
	16 (木)	DS セレクト食	大葉入りハンバーグ：エビマヨ	ハンバーグパサつき硬かった。
	20 (月)	ごつつおの日	おにぎり・天ぷらうどん・ほうれん草白和え・抹茶ゼリー	美味しく出来ていた。つゆに浸けて食べないとごぼうの天ぷらは硬かった。
	24 (金)	DS セレクト食	赤魚の甘酢ソース：なすの豚肉巻き煮	なすの豚肉はやわらかかったが、一つが大きいと切らないと食べにくかった。
	27 (月)	DS セレクト食	鶏団子の梅あんかけ：なすと海老の味噌炒め	鶏団子は 16 日の鶏ハンバーグと違いやわらかかった。
12	5 (火)	DS セレクト食	松風焼：白身魚のグリーンソース	グリーンソースの風味がなかった。
	13 (水)	特養 DS セレクト食	挽肉のパン粉焼き・うなぎの卵とじ	卵とじがやわらかくできていた。
	21 (木)	DS セレクト食	豚肉の韓国風照焼：サバの唐揚げ卸しソース	サバは卸しソースたっぷりの方が食べやすい。
	25 (月)	クリスマス	チキンライス・フライドチキン・スパゲティーサラダ・苺プリン	フライドチキンの衣が硬く高齢者には不向きだった。
	26 (火)	DS 忘年会	帆立としめじの炊き込み御飯・おでん・ブ	例年通りデイホールにて土鍋で炊き込み御飯を炊いた。

			ロッコリー華風和え・茶碗蒸し・あおさ汁・抹茶ゼリー	
	27 (水)	DS 忘年会	里芋ときのこの炊き込み御飯・すき焼き・大根の酢の物・茶碗蒸し・ワンタンスープ・コーヒーゼリー	茶碗蒸しは喜ばれる。
	28 (木)	DS 忘年会	玉葱とベーコンの洋風炊き込み御飯・サバのトマト煮・キャベツの辛子酢味噌和え・茶碗蒸し・冬瓜スープ・杏仁豆腐	サバのトマト煮はブロッコリーとミニトマトの盛り付けに工夫が必要だった。
	30 (土)	DS 年越しそば	天ぷらそば	最終日を年越しそばで締めた。
	31 (日)	特養年越しそば	年越しそば	年越しそばで令和 5 年を締めくくった。
1	1 (月)	お節料理	ちらし寿司・ブリ照焼・煮しめ・伊達巻・数の子・かまぼこ・なます・おたふく豆・羊羹・淡雪・栗きんとん・海老つみれ汁・苺	食事で正月を味わっていただいた。
	4 (木)	DS セレクト食	金目鯛のたらこクリーム：ジンジャーチキン	美味しく出来ていた。
	7 (日)	七草粥	七草粥	毎年七草粥は喜ばれる。
	11 (木)	鏡開き	ぜんざい	季節の行事を感じていただいた。
	16 (火)	特養・DS セレクト食	赤魚のムニエルマスタートード：豚キムチ	豚キムチは辛すぎず高齢者も食べやすく出来ていた。
	18 (木)	お弁当の日	ボルガライス・コールスローサラダ・コンソメスープ・フルーチェ	初めてのメニューで好評だった。
	24 (水)	DS セレクト食	千草焼き：白身魚のフライ	美味しく出来ていた。
	26 (金)	特養ごっつおの日	白身魚のかぶら蒸し卸し和え・あおさ汁・杏仁豆腐	美味しく出来ていた。
	26 (金)	DS ごっつお	刺身・治部煮風煮物・	刺身は DS で購入。お代わり

		の日	茶碗蒸し・魚の吸物・杏仁豆腐	される方もあり好評だった。
2	2 (金)	特養・DSセレクト食	鶏肉の蒸し物：エビマヨ	エビマヨのソースが少なかった。
	3 (土)	節分	ちらし寿司・金目鯛の煮付け・大根サラダ・呉汁・抹茶ゼリー	美味しく出来ていた。
	5 (月)	DS セレクト食	飛竜頭：大根と豚バラの炒め煮	美味しく出来ていた。
	13 (火)	DS セレクト食	赤魚のマスタードソース：卵の袋煮	美味しく出来ていた。
	21 (水)	DS セレクト食	スペイン風オムレツ：鶏肉の野菜あんかけ	美味しく出来ていた。
	22 (木)	特養ごっつおの日	あんかけチャーハン・大根サラダ・コンソメスープ・コーヒーゼリー	チャーハン、あん共に味が濃いためあんを抑えた方が良かった。
	22 (木)	DS ごっつおの日	ミックスフライカレー・大根サラダ・コンソメスープ・コーヒーゼリー	カレーはデイホールでついた。いつもと違う提供方法だけでご馳走感があり喜ばれた。3種のフライでボリュームがあったが食べてしまわれる方多かった。
	26 (月)	お弁当の日	山菜ごはん・豆腐ハンバーグ・和風スパゲティ・揚げなす・ブロッコリーサラダ・卵スープ・煮豆・フルーチェ	お弁当は喜ばれる。
3	3 (日)	ひな祭り	ちらし寿司・金目鯛の煮付け・ほうれん草梅和え・すまし汁・苺プリン	ちらし寿司を喜ばれた。
	8 (金)	DS セレクト食	白身魚の野菜あんかけ：豆乳シチュー	美味しく出来ていた。
	11 (月)	従来型・DSセレクト食	うなぎの卵とじ：エビチリ	美味しく出来ていた。
	18 (月)	ごっつおの日	巻き寿司・煮しめ・白和え・海老つみれ汁・いちご	巻き寿司を喜ばれた。
	19 (火)	DS セレクト	白身魚のきのこソー	美味しく出来ていた。

		食	ス：トマトの卵炒め	
	22 (金)	DS 開所記念日	赤飯・炒り鶏・刺身・鯛の吸物・コーヒーゼリー	赤飯・刺身でお祝いました。
	26 (火)	お花見弁当	ゆかり御飯・ミートローフ・かき揚げ・卵焼き・大根金平・ブロッコリーサラダ・煮豆・かき玉汁・ヨーグルト	桜は蕾程度の花見弁当となった。特養は感染症対応中の花見弁当となった。
	27 (水)	DS セレクト食	けんちんうどん・チャンポン	麵のセレクトを喜ばれた。

(4) 通所介護

No.	期 日	行 事 名	出席者数	備 考
1	4.12	手作りの日 (サンドイッチ)	19	
2	4.20	スイーツの日 (桜餅)	22	
3	5.8	手作りの日 (フルーチェ)	25	
4	5.19	スイーツの日 (シュークリーム)	27	
5	6.8	手作りの日 (フルーツゼリー)	23	
6	6.20	スイーツの日 (ロールケーキ)	18	
7	6.30	七夕		
8	7.4	手作りの日 (コーヒーゼリー)	18	
9	7.17	スイーツの日 (アイスクリーム)	22	
10	7.28	ごっつおの日 (とろろそば・赤山かき揚げ)	23	
11	8.4	手作りの日 (ところてん)	21	
12	8.16	スイーツの日 (かき氷)		
13	~18			
14	8.24	ごっつおの日 (いなり寿司・煮しめ)	20	
15	9.11	手作りの日 (白玉ぜんざい)	26	
16	9.18	ごっつおの日 (敬老会)		
17	~20			
18	9.22	スイーツの日 (おはぎ)	19	
19	10.5	スイーツの日 (モンブランケーキ)	22	
20	10.10	手作りの日 (フレンチトースト)	13	
21	10.20	ごっつおの日 (赤飯・煮しめ)	17	
22	11.9	手作りの日 (みたらし団子)	25	
23	11.14	スイーツの日 (肉まん・あんまん)	16	
24	11.20	ごっつおの日 (天ぷらうどん)	23	
25	12.4	スイーツの日 (赤巻き)	22	
26	12.20	ゆず湯		

27	～22			
28	12.22	手作りの日 (クリスマスケーキ)	17	
29	12.26	忘年会		
30	～28			
31	R6.1.11	手作りの日 (白玉ぜんざい)	14	
32	R6.1.17	スイーツの日 (どら焼き)	16	
33	R6.1.26	ごっつおの日 (刺身)	13	
34	R6.2.3	節分	10	
35	R6.2.6	手作りの日 (生チョコ)	18	
36	R6.2.14	スイーツの日 (バレンタインデー)	15	
37	R6.2.22	ごっつおの日 (お楽しみカレーライス)	19	
38	R6.3.1	雛祭り	17	
39	R6.3.14	スイーツの日 (ホワイトデー)	22	
40	R6.3.18	ごっつおの日 (巻きずし)	19	
41	R6.3.27	手作りの日 (芋ぜんざい)	15	

(5) グループホーム

No.	期 日	行 事 名	出席者数	備 考
1	4月10日、 13日	つつじの花見外出	9名	
2	5月5日	端午の節句 (菖蒲湯、行事食、鯉のぼり作り)	7名	
3	5月20日	森藤マサエ様誕生会	6名	
4	6月1日～ 7日	二間戸竹本様宅菖蒲園見学	6名	
5	6月13日 ～	七夕飾り作成 (6月22日飾りつけ、6月20日姫戸小学校へ七夕飾り寄付)	6名	
6	7月7日	七夕行事食	5名	
7	7月20日	カキ氷作り	6名	
8	7月28日	田上カホル様誕生会	3名	

V. 研修会議等

【1】施設内研修

(1) 総務

No.	期 日	研 修 名	研 修 概 要	出席者数	備 考
1	R5.4.25	(1)感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練 (2)感染症及び災害に係る業務継続計画に関する研修及び訓練	① 「新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画 (BCP)」研修 ② 「業務継続計画 (BCP)」の訓練～レッドゾーン・グリーンゾーンの対応マニュアル～ ③ その他	35名	デイサービスセンター (2部制)
2	R5.5.25	(1)身体的拘束等の適正化のための従業者に対する研修 (2)虐待の防止のための従業者に対する研修	身体拘束等適正化及び虐待防止のための従業者に対する研修「高齢者福祉施設・事業所における虐待の防止について」	39名	デイサービスセンター グループホームひめど (2部制)
3	R5.6.23	(1)非常災害対策に係る訓練 (2)事故発生防止のための従業者に対する研修	①介護保険施設における安全対策強化研修 「訴訟に発展した場合の考え方」「施設全体で取り組むべきこと」 ②非常災害対策の訓練 「警戒レベルと防災気象情報発令時の入所者避難等の対応」に基づく対応確認(各部署で実施)	36名	デイサービスセンター (2部制)
4	R5.7.25	(1)メンタルヘルスケアに関する研修 (2)褥瘡対策に関する継続的職員教育	①「心を軽くするアンガーマネジメント」 ②「褥瘡予防のための状況別ポジショニング」	30名	デイサービスセンター (2部制)
5	R5.8.25	認知症ケアに関する研修	「五感対話法～苦しみを抱えて生きる人との心の対話～」	39名	デイサービスセンター (2部制)
6	R5.9.25	(1)看取り介護に関する研修	「看取りケアに関する研修」	27名	デイサービスセンター (2部制)
7	R5.9.25	非常災害対策に係る訓練	防災訓練 (夜)	32名	全館

8	R5.10.25	(1)虐待の防止のための従業者に対する研修 (2)身体的拘束等の適正化のための従業者に対する研修	介護報酬改定対応研修 ～介護施設・事業所における虐待防止及び身体拘束等の適正化について～ ①虐待防止規定について ②身体拘束等の適正化推進について ③介護施設・事業所における虐待防止研修プログラムの紹介・活用方法 ④まとめ	34名	デイサービスセンター (2部制)
9	R5.11.24	(1)感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練 (2)感染症及び災害に係る業務継続計画に関する研修及び訓練	①「インフルエンザ・ノロウイルス」(お茶の水フォローアップ研修ネット配信) ②「実践で学ぶ嘔吐物処理」(YouTube City Of Yokohama) ③嘔吐物処理の実践 ④インフルエンザ・ノロウイルス感染者への対応について確認(BCP)	34名	デイサービスセンター (2部制)
10	R5.12.4～1 R5.12.6	キャリアパス説明会	翔洋苑キャリアパスについて	38名	デイサービスセンター
11	R5.12.27	(1)感染症及び災害に係る業務継続計画に関する研修 (2)感染症及び災害に係る業務継続計画に関する訓練 (3)ハラスメントに関する研修	①「社会福祉法人姫戸福祉会業務継続計画(BCP)」の基本方針、及び平常時の対応について ②「社会福祉法人姫戸福祉会ハラスメント防止対策に関する基本方針」について ③「ハラスメント防止に関する苦情対応委員会規定」の改正について	40名	デイサービスセンター (2部制)
12	R6.1.25	(1)褥瘡対策に関する継続的職員教育 (2)看取り介護に関する研修	①「褥瘡発生のメカニズムとずれについて」 ②「ターミナルケアと看取りケア」 (①②ともにお茶の水フォローアップ研修ネット配信)	23名	デイサービスセンター (2部制)
13	R6.2.22	(1)認知症ケアに関する研修	①「認知症者とのコミュニケーション法2 コマニチュー	29名	デイサービスセンター

		(2メンタルヘルスケアに関する研修)	ド①」 ②「精神的ケア」 (①②ともにお茶の水フォローアップ研修ネット配信)		(2部制)
14	R6.3.25	非常災害対策に係る訓練	防災訓練(昼)	20名	全館

(2) 生活相談員(介護支援専門員)

No.	期 日	研 修 名	研 修 概 要	出席者数	備 考
1	R5.10.5	「不適切なケア」について	①「不適切なケア」について 動画視聴 ②介護福祉士会 天草支部第4回研修 研修報告 ③アンケート結果報告 ④グループ討議	26名	デイサービスセンター
2	R5.10.10	転倒・骨折事故予防研修会	①R4年度、R5年度 骨折事故報告 ②検討会	16名	デイサービスセンター
3	R6.1.26	食事介助勉強会	「KTSM」について	7名	デイサービスセンター

(3) 従来型特養

No.	期 日	研 修 名	研 修 概 要	出席者数	備 考
1	R5年4月7日	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1名	
	R5年5月12日	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1名	
	R5年6月9日	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1名	
	R5年7月7日	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1名	
	R5年8月4日	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1名	
	R5年9月15日	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1名	
	R5年10月6日	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1名	
	R5年11月10日	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1名	
	R5年12月8日	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1名	
	R6年1月12日	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1名	
	R6年2月2日	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1名	
	R6年3月8日	園田 PT 指導	機能訓練計画・評価指導	1名	

(4) ユニット型特養

No.	期 日	研 修 名	研 修 概 要	出席者数	備 考
-----	-----	-------	---------	------	-----

	4/13	排泄物品研修	外部講師	10名	講師依頼
	6/31	看取りケア研修	看取り介護指針読み合わせ	11名	部署内
	7/26	認知症ケア研修	ユマニチュード読み合わせ	9名	部署内
	8/31	事故対応時研修	事故発生防止指針読み合わせ	10名	部署内
	1/29	看取り介護研修	看取り介護指針読み合わせ	10名	部署内
	1/29	感染症研修	BCP読み合わせ	10名	部署内

【2】施設外研修

令和5年度出張・研修実績

No.	月日	部所	出張用件	場所	出張者	人員	旅費	研修費	備考(復命書)
1	4月26日	総務	KOMICA MINDLIA 第78回WEBセミナー 正しい大規模修繕等補助金の進め方		松下	1			Web (○)
2	4月27日	総務	CareTEX365ウェブナー-Live配信 知らない！損！補助金でICT導入するコツ		松下	1			Web (○)
3	5月29日	総務	R5年度県経営協 経営研修会	熊本テルサ	施設長	1			
4	6月15日	総務	安全管理講習会	天草市民センター	山下洋	1			
5	6月19日	総務	社会福祉法人及び社会福祉法人指導監査担当職員等研修会		施設長 小島	3			オンライン
6	7月3日	総務	令和5年度(2024年度) 介護老人ホーム及び特別養護老人ホーム整備に係る事前協議の助成金	熊本県庁	松下	1			
7	7月12日	特養	福祉機器展 ミタカノチカラ in 天草2023	天草市民センター	花田豪	3			
8	7月20日	工特	第20回認知症に関わる多職種連携会議	アロママ	仲田	1			
9	7月20日	特養	第20回認知症に関わる多職種連携会議		小西	2			Zoom
10	7月26日	特養	介護サービス事業者等集団指導動画視聴、アンケート回答		小西	1			
11	7/28~9/15(8日)	居宅	主任介護支援専門員更新研修		山下貴	1	34,300	Zoom	
12	8月8日	総務	技能実習責任者講習	熊本県青年会館	施設長	1		13,200	
13	8月10日	総務	生産性向上の取組に関する介護事業所向けビジネスセミナー		施設長 松下	2			
14	8月24日	居宅	第22回上天草総合病院地域連携会議		山下貴	1		Zoom	
15	8月24日	特養	第22回上天草総合病院地域連携会議		施設長 小西	3		Zoom	
16	9/7~9/25	工特	認知症介護基礎研修		若松	1		3,000	e-ラーニング
17	9月3日	居宅	社会福祉学科通信制スクーリング	熊本YMCA学院	北垣	1			
18	9月22日	従特	介護福祉士会天草支部研修会	国際交流会館ポルト	坂本	3			自己負担
19	9月22日	工特	介護福祉士会天草支部研修会	国際交流会館ポルト	清水				自己負担
20	9月22日	デイ	介護福祉士会天草支部研修会	国際交流会館ポルト	汐口				自己負担
21	9月22日	H S	介護福祉士会天草支部研修会	国際交流会館ポルト	前森				自己負担
22	9月24日	居宅	社会福祉学科通信制スクーリング	熊本YMCA学院	北垣	1			
23	9月25日	従特	認知症介護基礎研修		池田	1	3,000	e-ラーニング	
24	9/26~	従特	認知症介護基礎研修		川本	1	3,000	e-ラーニング	
25	9/27~	従特	認知症介護基礎研修		トウエツト	1	3,000	e-ラーニング	
26	9/28~10/4(8日)	従特	認知症介護実践リダー研修		野村	1			Web
27	9/28~10/7(8日)	特養	介護支援専門員更新研修		出口	1			
28	9/28~10/9(8日)	特養	介護支援専門員更新研修		仲田	2			
29	9月28日	特養	天草地区特別養護老人ホーム連絡協議会第1回施設長・副施設長・事務委員会	ホテルアトレグリアガーデンツクス天草	施設長	1		7,000	
30	9月28日	特養	天草地区特別養護老人ホーム連絡協議会第1回施設長・副施設長・事務委員会	ホテルアトレグリアガーデンツクス天草	松下	1		2,000	
31	10月26日	特養	令和5年度福祉サービス苦情解決研修会	熊本市楠木文化センター	松下	2		2,000	
32	11月13日	在介	県経営協：3/6生計困難者レスキュー事業CSW初任者研修会	熊本総合福祉センター	北垣				
33	11月21日	従特	熊本県老人福祉施設協議会研究大会	熊本テルサ	小西	2		0	○
34	11月21日	デイ	熊本県老人福祉施設協議会研究大会	熊本テルサ	尾上	1		0	
35	11月21日	工特	熊本県老人福祉施設協議会研究大会	熊本テルサ	宮下	1		0	

No.	月日	部所	出張用件	場所	出張者	人員	旅費	研修費	備考(復命書)
36	11月12日	居宅	社会福祉学科通信制スクーリング	熊本YMCA学院	北垣	1			
37	11月14日	総務	令和5年熊本県老人福祉施設協議会事務長会議		山下洋				
38	11月23日	特養	KTSM実技セミナー	桜十字病院	出口	1		10,000	○
39	12月17日	特養	KTSM食事サポーター講座		出口	1		5,000	ZOOM ○
40	12月21日	在介	令和5年度生活支援コーディネーター養成研修	d	橋本	1		0	
41	1月21日	居宅	社会福祉学科通信制スクーリング	熊本YMCA学院	北垣	1			
42	2月15日	総務	R5年度九社連老施設施設長研修	ホテル日航熊本	施設長	1		39,830	
43	2月25日	居宅	社会福祉学科通信制スクーリング	YMCA学院	北垣	1		0	
44	3月6日	在介	県経営協：3/6生計困難者レスキュー事業CSWフォローアップ研修会	熊本総合福祉センター	北垣	1		3,700	

【3】会議

(1) 総務

① 職員会議

No.	期 日	研 修 名	研 修 概 要	出席者数	備 考
1		職員会議	コロナ感染対応のため開催無し		

② 主任者会議

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 5. 4.18	① 前月議事録の確認、確定 ② 内部・外部監査の結果、予定 ③ 顧客に関する情報 不適合サービス（意見・苦情）の状況 ④ 各部署の実施状況および課題 教育訓練、行事、不適合サービス（事故）の状況、予算達成状況、ヒヤリ・はっと状況、部門別利用状況、委員会活動、事業計画の進捗状況・会議、身体拘束廃止、虐待防止検討委員会 ⑤ 改善の進捗状況 是正・予防処置 ⑥ 前回までの運営管理責任者の指示事項に関する報告 ⑦ 法規制・市場の変化 ⑧ 改善のための提案 事故発生防止委員会報告、来月の定例会議日程、各部署退勤時間、各部署からの課題・問題 等	10名	Zoom 会議
2	R 5.5.16	上記 ①～⑧	11名	Zoom 会議
3	R 5. 6.16	上記 ①～⑧	11名	Zoom 会議
4	R 5. 7.18	上記 ①～⑧	11名	Zoom 会議
5	R 5. 8.16	上記 ①～⑧	11名	Zoom 会議
6	R 5. 9.19	上記 ①～⑧	10名	Zoom 会議
7	R 5.10.17	上記 ①～⑧	9名	Zoom 会議
8	R 5.11.20	上記 ①～⑧	12名	Zoom 会議
9	R 5.12.16	上記 ①～⑧	10名	Zoom 会議
10	R6. 1.17	上記 ①～⑧	10名	Zoom 会議
11	R 6. 2.19	上記 ①～⑧	10名	Zoom 会議
12	R 6. 3.15	上記 ①～⑧	9名	Zoom 会議

(2) 生活相談員（介護支援専門員）

① ボランティア連携会議

なし

② 入所検討委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R5.5.12	【第95回入所検討委員会】 ① 入所希望者名簿に基づく入所順位の決定 等	7名	ユニット棟1階エントランスホール
2	R6.1.19	【第96回入所検討委員会（書面審議）】 ① 入所希望者名簿に基づく入所順位の決定 等	7名	ユニット棟1階エントランスホール

【従来型特養：こもれび】

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R5.4.20	① 栄養ケア計画 評価 ② 機能訓練計画 評価 ③ 介護に関する評価 ④ 看護に関する評価 ⑤ LIFE 評価 ⑥ 施設サービス計画 評価 等	6名	Zoom 会議
2	R5.5.22	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
3	R5.6.23	上記 ①～⑥	5名	Zoom 会議
4	R5.7.24	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
5	R5.8.21	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
6	R5.9.19	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
7	R5.10.23	上記 ①～⑥	8名	Zoom 会議
8	R5.11.22	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
9	R5.12.21	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
10	R6.1.22	上記 ①～⑥	4名	Zoom 会議
11	R6.2.21	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
12	R6.3.18	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議

【従来型特養：こころ】

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R5.4.24	① 栄養ケア計画 評価 ② 機能訓練計画 評価 ③ 介護に関する評価 ④ 看護に関する評価 ⑤ LIFE 評価 ⑥ 施設サービス計画 評価 等	7名	Zoom 会議

2	R5.5.23	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
3	R5.6.20	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
4	R5.7.20	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
5	R5.8.22	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
6	R5.9.21	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
7	R5.10.24	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
8	R5.11.20	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
9	R5.12.20	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
10	R6.1.22	上記 ①～⑥	5名	Zoom 会議
11	R6.2.19	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
12	書面審議	上記 ①～⑥	6名	

【従来型特養：だんだん】

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R5.4.21	① 栄養ケア計画 評価 ② 機能訓練計画 評価 ③ 介護に関する評価 ④ 看護に関する評価 ⑤ LIFE 評価 ⑥ 施設サービス計画 評価 等	4名	Zoom 会議
2	R5.5.24	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
3	R5.6.22	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
4	R5.7.25	上記 ①～⑥	5名	Zoom 会議
5	R5.8.24	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
6	R5.9.20	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
7	R5.10.25	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
8	R5.11.20	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
9	R5.12.22	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
10	R6.1.24	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
11	R6.2.21	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
12	R6.3.21	上記 ①～⑥	5名	Zoom 会議

④ 感染症対策委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R 5. 4.18	① 新型コロナウイルス感染症の現状について ② 入所者・利用者・面会者等への対応について ③ 職員の対応等について ④ その他 (主任者会議内で実施)	10名	Zoom 会議

2	R 5.5.16	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	11名	Zoom 会議
3	R 5.6.16	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	11名	Zoom 会議
4	R 5.7.18	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	11名	Zoom 会議
5	R 5.8.16	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	11名	Zoom 会議
6	R 5.9.19	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	10名	Zoom 会議
7	R5.10.17	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	9名	Zoom 会議
8	R5.11.20	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	12名	Zoom 会議
9	R5.12.16	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	10名	Zoom 会議
10	R6.1.17	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	10名	Zoom 会議
11	R 6.2.19	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	10名	Zoom 会議
12	R 6.3.15	上記 ①～④（主任者会議内で実施）	9名	Zoom 会議

⑤ 事故発生防止委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R5.4.6	① 前月の議事録確認 ② 不適合サービス前月分の再検討・是正処置の状況 ③ ヒヤリはっと前月分の再検討・予防処置の状況 ④ 当月分ヒヤリはっとの協議 ⑤ 当月分不適合サービスの協議 ⑥ 改善へ向けた提案 等	7名	Zoom 会議
2	R5.5.5	上記 ①～⑥	8名	Zoom 会議
3	R5.6.1	上記 ①～⑥	5名	Zoom 会議
4	R5.7.6	上記 ①～⑥	8名	Zoom 会議
5	R5.8.3	上記 ①～⑥	9名	Zoom 会議
6	R5.9.7	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
7	R5.10.5	上記 ①～⑥	8名	Zoom 会議
8	R5.11.9	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
9	R5.12.7	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
10	R6.1.11	上記 ①～⑥	6名	Zoom 会議
11	R6.2.8	上記 ①～⑥	7名	Zoom 会議
12	R6.3.7	上記 ①～⑥	5名	Zoom 会議

⑥ 褥瘡対策委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R5.4.12	① 褥瘡発生状況 ② 褥瘡ハイリスク者の状況 等	7名	Zoom 会議
2	R5.5.17	上記 ①～②	7名	Zoom 会議
3	R5.6.14	上記 ①～②	5名	Zoom 会議

4	R5.7.12	上記 ①～②	95名	Zoom 会議
5	R5.8.9	上記 ①～②	7名	Zoom 会議
6	R5.9.13	上記 ①～②	7名	Zoom 会議
7	R5.10.11	上記 ①～②	5名	Zoom 会議
8	R5.11.8	上記 ①～②	7名	Zoom 会議
9	R5.12.13	上記 ①～②	7名	Zoom 会議
10	R6.1.10	上記 ①～②	7名	Zoom 会議
11	R6.2.14	上記 ①～②	6名	Zoom 会議
12	R 5. 3. 8	上記 ①～②	7名	Zoom 会議

⑦ 医療的ケア対策推進委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R5.4.12	① 褥瘡発生状況 ② 褥瘡ハイリスク者の状況 等	7名	Zoom 会議
2	R5.5.17	上記 ①～②	7名	Zoom 会議
3	R5.6.14	上記 ①～②	5名	Zoom 会議
4	R5.7.12	上記 ①～②	95名	Zoom 会議
5	R5.8.9	上記 ①～②	7名	Zoom 会議
6	R5.9.13	上記 ①～②	7名	Zoom 会議
7	R5.10.11	上記 ①～②	5名	Zoom 会議
8	R5.11.8	上記 ①～②	7名	Zoom 会議
9	R5.12.13	上記 ①～②	7名	Zoom 会議
10	R6.1.10	上記 ①～②	7名	Zoom 会議
11	R6.2.14	上記 ①～②	6名	Zoom 会議
12	R 5. 3. 8	上記 ①～②	7名	Zoom 会議

⑧ 身体的拘束等適正化検討委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R5.5.17	① 施設内での身体的拘束廃止に向けての現状把握、改善についての検討 ② 身体を実施せざるを得ない倍の検討及び手続 ③ 身体拘束を実施した場合の解除の検討 ④ 身体拘束廃止に関する職員全体への指導 ⑤ 身体拘束廃止に向けての研修について	8名	Zoom 会議
2	R5.8.22	4月と同審議事項	8名	Zoom 会議
3	R5.11.8	4月と同審議事項	7名	Zoom 会議
4	R6.2.14	4月と同審議事項	6名	Zoom 会議

⑨ 安全衛生委員会

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	R5.4.19	① 巡視・災害報告 ② 腰痛対策 ③ 健康診断 ④ メンタルヘルスケア 等	7名	産業医： 岸川秀樹医師 地域交流スペース
2	R5.5.24	上記 ①～④	8名	地域交流スペース
3	R5.6.21	上記 ①～④	8名	地域交流スペース
4	R5.7.19	上記 ①～④	9名	地域交流スペース
5	R5.8.23	上記 ①～④	8名	地域交流スペース
6	R5.9.20	上記 ①～④	8名	地域交流スペース
7	R5.10.18	上記 ①～④	9名	地域交流スペース
8	R5.11.22	上記 ①～④	8名	地域交流スペース
9	R5.12.20	上記 ①～④	8名	地域交流スペース
10	R6.1.24	上記 ①～④	10名	地域交流スペース
11	R6.2.21	上記 ①～④	10名	地域交流スペース
12	R6.3.27	上記 ①～④	7名	地域交流スペース

(3) 従来型特養

No.	期 日	会 議 名	会議の概要	出席者数
1	R5年4月21日	フロア会議	主任者会議報告・身体拘束廃止・ヒヤリ・はっと・その他ケアについて	10名
2	R5年5月18日	フロア会議	〃	7名
3	R5年6月22日	フロア会議	〃	9名
4	R5年7月21日	フロア会議	〃	8名
5	R5年8月22日	フロア会議	〃	13名
6	R5年9月20日	フロア会議	〃	14名
7	R5年10月23日	フロア会議	〃	11名
8	R5年11月22日	フロア会議	〃	13名
9	R5年12月20日	フロア会議	〃	13名
10	R6年1月22日	フロア会議	〃	13名
11	R6年2月23日	フロア会議	〃	8名
12	R6年3月19日	フロア会議	〃	15名

(4) ユニット型特養

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	4月7日	しらぬいチーム会議	4名	
2	4月8日	しらたけチーム会議	5名	

3	4月13日	フロア会議	10名	
4	5月7日	しらぬいチーム会議	5名	
5	5月10日	しらたけチーム会議	5名	
6	5月19日	フロア会議	11名	
7	6月6日	しらぬいチーム会議	4名	
8	6月12日	しらたけチーム会議	4名	
9	6月20日	フロア会議	8名	
10	7月8日	しらたけチーム会議	4名	
11	7月14日	しらぬいチーム会議	4名	
12	7月26日	フロア会議	9名	
13	8月16日	しらたけチーム会議	5名	
14	8月23日	しらぬいチーム会議	5名	
15	8月31日	フロア会議	10名	
16	9月14日	しらぬいチーム会議	4名	
17	9月14日	しらたけチーム会議	4名	
18	9月27日	フロア会議	11名	
19	10月13日	しらぬいチーム会議	4名	
20	10月18日	しらたけチーム会議	3名	
21	10月19日	フロア会議	8名	
22	11月9日	しらぬいチーム会議	3名	
23	11月9日	しらたけチーム会議	3名	
24	11月23日	フロア会議	10名	
25	12月17日	しらぬいチーム会議	3名	
26	12月18日	しらたけチーム会議	3名	
27	12月26日	フロア会議	9名	
28	1月16日	しらぬいチーム会議	4名	
29	1月17日	しらたけチーム会議	4名	
30	1月29日	フロア会議	10名	
31	2月16日	しらたけチーム会議	4名	
32	2月16日	しらぬいチーム会議	3名	
33	2月28日	フロア会議	7名	
34	3月14日	しらたけチーム会議	4名	
35	3月14日	しらぬいチーム会議	3名	
36	3月28日	フロア会議	10名	

(5) 栄養調理

No	期日	会議概要（審議事項・議決事項）	人数	備考
1	4月19日	主任者会議・給食委員会・日清報告 業務の改善について、ヒヤリ・はっと集計報告	6	
2	5月24日	主任者会議・給食委員会・日清報告	5	

		ヒヤリ・はっと集計報告		
3	6月26日	主任者会議・給食委員会・日清報告 ヒヤリ・はっと集計報告	6	
4	7月28日	主任者会議・給食委員会・日清報告 ヒヤリ・はっと集計報告	6	
5	8月24日	主任者会議・給食委員会・日清報告 ヒヤリ・はっと集計報告	6	
6	9月20日	主任者会議・給食委員会・日清報告 ヒヤリ・はっと集計報告	6	
7	10月20日	主任者会議・給食委員会・日清報告 ヒヤリ・はっと集計報告 ノロウイルスについて	5	
8	11月20日	給食委員会・日清報告 ヒヤリ・はっと集計報告	5	
9	12月26日	主任者会議・給食委員会・日清報告 ヒヤリ・はっと集計報告	5	
10	1月18日	主任者会議・給食委員会・日清報告 ヒヤリ・はっと集計報告	5	
11	2月22日	主任者会議・給食委員会・日清報告 ヒヤリ・はっと集計報告	5	
12	3月18日	主任者会議 ヒヤリ・はっと集計報告	5	

(6) 通所介護

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	4.20	フロア会議 ① 主任者会議報告 ② 身体拘束廃止について ③ リスクマネジメント（不適合サービス・ヒヤリはっと報告） ④ 事業計画の進捗状況確認 ⑤ 教育訓練・勉強会の状況 ⑥ 行事 ⑦ 改善のための提案、その他	8	
2	5.18	フロア会議 同協議事項	6	
3	6.20	フロア会議 同協議事項	6	
4	7.20	フロア会議 同協議事項	7	
5	8.22	フロア会議 同協議事項	7	
6	9.21	フロア会議 同協議事項	10	
7	10.20	フロア会議 同協議事項	8	
8	11.22	フロア会議 同協議事項	8	

9	12.20	フロア会議 同協議事項	7	
10	R6.1.23	フロア会議 同協議事項	9	
11	R6.2.21	フロア会議 同協議事項	8	
12	R6.3.20	フロア会議 同協議事項	8	

(7) グループホーム

No.	期 日	会議の概要（審議事項・議決事項等）	出席者数	備 考
1	4月12日	フロア会議 1 主任者会議報告 2 行事評価・予定 3 ヒヤリ・はっと・不適合サービスの検討とヒヤリ・はっと啓発 4 身体拘束等適正化についての検討 5 虐待についての検討 6 職員からの意見・要望 7 業務改善点の提案・検討 8 その他	6名	
2	5月16日	フロア会議 1 主任者会議報告 2 行事評価・予定 3 ヒヤリ・はっと・不適合サービスの検討とヒヤリ・はっと啓発 4 身体拘束等適正化についての検討 5 虐待についての検討 6 職員からの意見・要望 7 業務改善点の提案・検討 8 その他	5名	
4	6月14日	フロア会議 1 主任者会議報告 2 行事評価・予定 3 ヒヤリ・はっと・不適合サービスの検討とヒヤリ・はっと啓発 4 身体拘束等適正化についての検討 5 虐待についての検討 6 職員からの意見・要望 7 業務改善点の提案・検討 8 その他	5名	
5	7月10日	フロア会議 1 主任者会議報告 2 行事評価・予定	5名	

		3 ヒヤリ・はっと・不適合サービスの検討とヒヤリ・はっと啓発 4 身体拘束等適正化についての検討 5 虐待についての検討 6 職員からの意見・要望 7 業務改善点の提案・検討 8 その他		
--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

【4】施設内講習会等

(1) 施設内講習会

No.	期 日	講習会の演題	担当職氏名	出席者数	備 考
		なし			

(2) 実習等受入れ

No.	期 日	実習の概要	受入部所	参加者数	備 考
1	R5.6.7 ～5.7.12	上天草高校3年福祉科「形態別介護実習」	ユニット	3名	
2	R5.7.24 ～5.7.27	上天草高校3年福祉科「形態別介護実習」	ヘルパー	3名	
3	R5.7.11 ～7.12	姫戸中学校2年生 職場体験学習	デイ ユニット	2名	
4	R5.8.23	社協ワークキャンプ	デイ	5名	

(3) ボランティア受入れ

No.	期 日	ボランティア名	概 要	参加者数	備 考
1	R5.6.25	姫戸婦人会	草取り	15名	翔洋苑苑庭

令和5年度

決算報告書

自：令和5年4月1日

至：令和6年3月31日

社会福祉法人 姫戸福社会

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	337,457,000	339,541,045	-2,084,045
		障害福祉サービス等事業収入	1,756,000	1,764,390	-8,390
		生計困難者に対する相談支援事業収入	50,000		50,000
		その他の事業収入		910,000	-910,000
		経常経費寄附金収入	172,000	280,000	-108,000
		受取利息配当金収入	1,000	960	40
		その他の収入	1,724,000	1,809,705	-85,705
	収入計(1)				
	支出	人件費支出	252,545,000	244,936,759	7,608,241
		事業費支出	58,025,000	54,797,093	3,227,907
		事務費支出	59,229,000	54,593,663	4,635,337
		生計困難者に対する相談支援事業支出	50,000		50,000
		利用者負担軽減額	176,000	111,756	64,244
		支払利息支出	1,359,000	1,357,067	1,933
その他の支出		101,000	87,949	13,051	
支出計(2)					
収支差額(3) = (1) - (2)		30,220,000	14,807,286	15,412,714	
施設整備等による収支	収入				
	支出	設備資金借入金元金償還支出	9,000,000	9,000,000	
		固定資産取得支出	4,428,000	4,097,940	330,060
施設整備等による収支計(4)					
収支差額(5) = (4) - (3)		13,428,000	13,097,940	330,060	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,363,000	49,020	1,313,980
		サービス区分間繰入金収入		8,000,000	-8,000,000
		その他の活動による収入計(7)	1,363,000	8,049,020	-6,686,020
	支出	積立資産支出	1,363,000	2,115,428	-752,428
		サービス区分間繰入金支出		8,000,000	-8,000,000
その他の活動による収支計(8)					
収支差額(9) = (8) - (7)		0	-1,066,408	1,066,408	
収支差額(10) = (3) + (5) + (9)		30,220,000	13,730,878	16,489,122	

法人単位事業活動計算書

(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	339,541,045	366,970,860	-27,429,815
	障害福祉サービス等事業収益	1,764,390	1,630,938	133,452
	生計困難者に対する相談支援事業収益		67,021	-67,021
	その他の事業収益	910,000		910,000
	経常経費寄附金収益	280,000	1,054,500	-774,500
	サービス活動収益計(1)	342,495,435	369,723,319	-27,227,884
	費用			
	人件費	243,915,977	262,008,825	-18,092,848
	事業費	54,797,093	57,632,627	-2,835,534
	事務費	54,593,663	57,137,505	-2,543,842
	生計困難者に対する相談支援事業支出		67,021	-67,021
	利用者負担軽減額	111,756	167,914	-56,158
	減価償却費	21,351,383	22,078,707	-727,324
国庫補助金等特別積立金取崩額	-6,160,596	-6,085,053	-75,543	
サービス活動費用計(2)	368,609,276	393,007,546	-24,398,270	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-26,113,841	-23,284,227	-2,829,614	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	960	1,171	-211
	その他のサービス活動外収益	1,828,515	1,943,226	-114,711
	サービス活動外収益計(4)	1,829,475	1,944,397	-114,922
	費用			
	支払利息	1,357,067	1,498,023	-140,956
その他のサービス活動外費用	87,949	140,405	-52,456	
サービス活動外費用計(5)	1,445,016	1,638,428	-193,412	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	384,459	305,969	78,490	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	-25,729,382	-22,978,258	-2,751,124	
特別増減の部	収益			
	固定資産受贈額	106,000	114,400	-8,400
	サービス区分間繰入金収益	8,000,000		8,000,000
	特別収益計(8)	8,106,000	114,400	7,991,600
	費用			
	固定資産売却損・処分損		3	-3
国庫補助金等特別積立金積立額	2,457,000		2,457,000	
サービス区分間繰入金費用	8,000,000		8,000,000	
特別費用計(9)	10,457,000	3	10,456,997	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-2,351,000	114,397	-2,465,397	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-28,080,382	-22,863,861	-5,216,521	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	126,568,227	149,432,088	-22,863,861
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	98,487,845	126,568,227	-28,080,382
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)			
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	98,487,845	126,568,227	-28,080,382

法人単位貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産	130,069,399	163,649,067	-33,579,668	流 動 負 債	31,530,009	42,807,142	-11,277,133
普 通 預 金	75,311,861	105,314,831	-30,002,970	事 業 未 払 金	9,090,271	18,051,202	-8,960,931
事 業 未 収 金	52,237,536	55,372,567	-3,135,031	1年以内返済予定 設備資金借入金 預り金	7,666,000	9,000,000	-1,334,000
未 収 金		75,819	-75,819		27,966		27,966
未 収 補 助 金	2,457,000	2,835,000	-378,000	職 員 預 り 金	3,057,772	961,940	2,095,832
立 替 金	10,000		10,000	賞 与 引 当 金	11,688,000	14,794,000	-3,106,000
前 払 金	6,600	50,850	44,250	固 定 負 債	94,340,770	100,463,887	-6,123,117
仮 払 金	46,402		46,402	設 備 資 金 借 入 金	70,330,000	77,996,000	-7,666,000
固 定 資 産	401,663,897	417,268,457	-15,604,560	退 職 給 付 金	24,010,770	22,467,887	1,542,883
基 本 財 産	354,758,355	372,181,124	-17,422,769	負 債 の 部 合 計	125,870,779	143,271,029	-17,400,250
土 地	120,946,856	120,946,856		純 資 産 の 部			
建 物	233,811,499	251,234,268	-17,422,769	基 本 金	216,759,934	216,759,934	
そ の 他 の 固 定 資 産	46,905,542	45,087,333	1,818,209	基 本 金	216,759,934	216,759,934	
建 物	33,753	164,127	-130,374	国 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 金	81,614,738	85,318,334	-3,703,596
構 築 物	209,431	244,633	-35,202	国 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 金	81,614,738	85,318,334	-3,703,596
車 輛 運 搬 具	1,415,025	2,163,167	-748,142	そ の 他 の 積 立 金	9,000,000	9,000,000	
器 具 及 び 備 品	11,539,815	10,350,771	1,189,044	人 件 費 積 金	9,000,000	9,000,000	
権 利	371,548	371,548		次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	98,487,845	126,568,227	-28,080,382
退 職 給 付 引 当 資 産	24,010,770	22,467,887	1,542,883	次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	98,487,845	126,568,227	-28,080,382
人 件 費 積 立 資 産	9,000,000	9,000,000		(うち当期活動 増 減 差 額)	-28,080,382	-22,863,861	-5,216,521
差 入 保 証 金	25,200	25,200					
そ の 他 の 固 定 資 産	300,000	300,000		純 資 産 の 部 合 計	405,862,517	437,646,495	-31,783,978
資 産 の 部 合 計	531,733,296	580,917,524	-49,184,228	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	531,733,296	580,917,524	-49,184,228

第一号第四様式（第十七条第四項関係）
 特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点区分資金収支計算書
 （自）令和 5年 4月1日 （至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収入	介護保険事業収入	337,457,000	339,541,045	-2,084,045
	施設介護料収入	108,353,000	108,412,608	-59,608
	介護報酬収入	97,528,000	97,585,983	-57,983
	利用者負担金収入(公費)	370,000	375,903	-5,903
	利用者負担金収入(一般)	10,455,000	10,450,722	4,278
	居宅介護料収入(介護報酬収入)	48,739,000	49,718,064	-979,064
	介護報酬収入	48,718,000	49,478,925	-760,925
	介護予防報酬収入	21,000	239,139	-218,139
	居宅介護料収入(利用者負担金収入)	5,596,000	5,674,970	-78,970
	介護負担金収入(公費)	17,000	24,161	-7,161
	介護負担金収入(一般)	5,577,000	5,624,238	-47,238
	介護予防負担金収入(一般)	2,000	26,571	-24,571
	地域密着型介護料収入(介護報酬収入)	78,755,000	80,604,014	-1,849,014
	介護報酬収入	78,755,000	80,604,014	-1,849,014
	地域密着型介護料収入(利用者負担金収)	9,111,000	9,245,516	-134,516
	介護負担金収入(一般)	9,111,000	9,245,516	-134,516
	居宅介護支援介護料収入	5,894,000	5,992,980	-98,980
	居宅介護支援介護料収入	5,872,000	5,992,980	-120,980
	介護予防支援介護料収入	22,000		22,000
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	12,685,000	12,760,736	-75,736
	事業費収入	11,381,000	11,484,054	-103,054
	事業負担金収入(一般)	1,304,000	1,276,682	27,318
	利用者等利用料収入	57,131,000	57,538,545	-407,545
	食費収入(一般)	22,440,000	22,610,791	-170,791
	食費収入(特定)	7,678,000	7,808,360	-130,360
	居住費収入(一般)	17,831,000	17,509,247	321,753
	居住費収入(特定)	8,160,000	8,340,971	-180,971
	その他の利用料収入	1,022,000	1,269,176	-247,176
	その他の事業収入	11,193,000	9,593,612	1,599,388
	補助金事業収入(公費)	3,787,000	2,457,000	1,330,000
	上天草市受託事業収入(公費)	7,406,000	6,853,437	552,563
	上天草市受託事業収入(一般)		283,175	-283,175
	障害福祉サービス等事業収入	1,756,000	1,764,390	-8,390
	自立支援給付費収入	1,666,000	1,665,920	80
介護給付費収入	957,000	945,200	11,800	
特例介護給付費収入	709,000	720,720	-11,720	
特定費用収入	90,000	98,470	-8,470	
生計困難者に対する相談支援事業収入	50,000		50,000	
生計困難者に対する相談支援事業収入	50,000		50,000	
生計困難者に対する相談支援事業収入	50,000		50,000	
その他の事業収入		910,000	-910,000	
補助金事業収入		910,000	-910,000	
経常経費寄附金収入	172,000	280,000	-108,000	
経常経費寄附金収入	172,000	280,000	-108,000	
受取利息配当金収入	1,000	960	40	
受取利息配当金収入	1,000	960	40	
その他の取入	1,724,000	1,809,705	-85,705	
受入研修費収入	42,000	42,000		
利用者等外給食費収入	103,000	115,288	-12,288	
雑収入	1,579,000	1,652,417	-73,417	
事業活動にト			-2,140,400	
人件費支出	252,545,000	244,936,759	7,608,241	
役員報酬支出	200,000	187,872	12,128	
職員給料支出	154,659,000	154,654,606	4,394	

特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点区分資金収支計算書

(自) 令和 5年 4月1日 (至) 令和 6年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
収入	職員賞与支出	35,863,000	35,858,364	4,636
	非常勤職員給与支出	15,651,000	15,533,282	117,718
	退職給付支出	13,398,000	9,932,710	3,465,290
	法定福利費支出	32,774,000	28,769,925	4,004,075
	事業費支出	58,025,000	54,797,093	3,227,907
	給食費支出	23,668,000	23,386,559	281,441
	介護用品費支出	4,168,000	3,739,250	428,750
	医薬品費支出	357,000	255,204	101,796
	保健衛生費支出	3,547,000	3,185,760	361,240
	被服費支出	109,000	105,280	3,720
	教養娯楽費支出	1,764,000	1,753,006	10,994
	日用品費支出	1,078,000	732,336	345,664
	水道光熱費支出	10,486,000	9,748,386	737,614
	燃料費支出	1,092,000	1,070,760	21,240
	消耗器具備品費支出	3,130,000	2,679,411	450,589
	保険料支出	3,656,000	3,648,100	7,900
	賃借料支出	2,895,000	2,864,440	30,560
	車輛費支出	1,799,000	1,359,876	439,124
	雑支出	276,000	268,725	7,275
	支出	事務費支出	59,229,000	54,593,663
福利厚生費支出		2,917,000	2,482,220	434,780
職員被服費支出		1,490,000	908,915	581,085
旅費交通費支出		30,000	23,925	6,075
研修研究費支出		1,716,000	1,705,179	10,821
事務消耗品費支出		1,637,000	1,504,845	132,155
印刷製本費支出		11,000	2,850	8,150
水道光熱費支出		814,000	641,803	172,197
修繕費支出		3,607,000	1,724,238	1,882,762
通信運搬費支出		1,548,000	1,450,549	97,451
会議費支出		94,000		94,000
広報費支出		101,000	74,500	26,500
業務委託費支出		31,734,000	30,768,785	965,215
手数料支出		1,486,000	1,369,585	116,415
賃借料支出		2,055,000	2,052,294	2,706
土地・建物賃借料支出		700,000	700,000	
租税公課支出		199,000	192,500	6,500
保守料支出		6,123,000	6,116,274	6,726
渉外費支出		359,000	356,000	3,000
諸会費支出		490,000	488,500	1,500
雑支出		2,118,000	2,030,701	87,299
生計困難者に対する相談支援事業支出		50,000		50,000
生計困難者に対する相談支援事業支出		50,000		50,000
生計困難者に対する相談支援事業支出		50,000		50,000
利用者負担軽減額		176,000	111,756	64,244
利用者負担軽減額		176,000	111,756	64,244
支払利息支出		1,359,000	1,357,067	1,933
支払利息支出	1,359,000	1,357,067	1,933	
その他の支出	101,000	87,949	13,051	
利用者等外給食費支出	81,000	69,139	11,861	
雑支出	20,000	18,810	1,190	

特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点区分資金収支計算書

(自) 令和 5年 4月1日 (至) 令和 6年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
施設整備等による収支	収入			
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	9,000,000	9,000,000	
	設備資金借入金元金償還支出	9,000,000	9,000,000	
	固定資産取得支出	4,428,000	4,097,940	330,060
	器具及び備品取得支出	4,428,000	4,097,940	330,060
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	1,363,000	49,020	1,313,980
	退職給付引当資産取崩収入	1,363,000	49,020	1,313,980
	サービス区分間繰入金収入		8,000,000	-8,000,000
	サービス区分間繰入金収入		8,000,000	-8,000,000
	その他の活動による収入計(7)	1,363,000	8,098,020	-6,735,020
	支出			
	積立資産支出	1,363,000	2,115,428	-752,428
	退職給付引当資産支出	1,363,000	2,115,428	-752,428
	サービス区分間繰入金支出		8,000,000	-8,000,000
サービス区分間繰入金支出		8,000,000	-8,000,000	
その他の活動による支出計(8)	1,363,000	10,230,856	-8,867,856	
その他の活動による収支差額(9)=(7)-(8)		2,067,164	2,067,164	
予備費(10)	2,800,000		2,800,000	
当期資金収支差額合計(11)=(9)+(10)		4,867,164	4,867,164	
前期末支払資金残高(12)	149,820,542	144,653,925	5,166,617	
当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)	152,687,606	149,521,089	3,166,517	

特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点区分事業活動計算書

（自）令和 5年 4月 1日（至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サ イ ビ ス 活 動	介護保険事業収益	339,541,045	366,970,860	-27,429,815
	施設介護料収益	108,412,608	110,666,850	-2,254,242
	介護報酬収益	97,585,983	99,600,165	-2,014,182
	利用者負担金収益(公費)	375,903	368,995	6,908
	利用者負担金収益(一般)	10,450,722	10,697,690	-246,968
	居宅介護料収益(介護報酬収益)	49,718,064	47,827,811	1,890,253
	介護報酬収益	49,478,925	47,531,747	1,947,178
	介護予防報酬収益	239,139	296,064	-56,925
	居宅介護料収益(利用者負担金収益)	5,674,970	5,475,348	199,622
	介護負担金収益(公費)	24,161	134,435	-110,274
	介護負担金収益(一般)	5,624,238	5,308,017	316,221
	介護予防負担金収益(一般)	26,571	32,896	-6,325
	地域密着型介護料収益(介護報酬収益)	80,604,014	97,061,878	-16,457,864
	介護報酬収益	80,604,014	97,061,878	-16,457,864
	地域密着型介護料収益(利用者負担金収)	9,245,516	11,923,592	-2,678,076
	介護負担金収益(一般)	9,245,516	11,923,592	-2,678,076
	居宅介護支援介護料収益	5,992,980	5,838,520	154,460
	居宅介護支援介護料収益	5,992,980	5,838,520	154,460
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	12,760,736	13,622,401	-861,665
	事業費収益	11,484,054	12,255,832	-771,778
	事業負担金収益(一般)	1,276,682	1,366,569	-89,887
	利用者等利用料収益	57,538,545	60,916,164	-3,377,619
	食費収益(一般)	22,610,791	23,363,505	-752,714
	食費収益(特定)	7,808,360	8,243,235	-434,875
	居住費収益(一般)	17,509,247	19,188,704	-1,679,457
	居住費収益(特定)	8,340,971	7,808,980	531,991
	その他の利用料収益	1,269,176	2,311,740	-1,042,564
	その他の事業収益	9,593,612	13,638,296	-4,044,684
	補助金事業収益(公費)	2,457,000	6,068,295	-3,611,295
	上天草市受託事業収益(公費)	6,853,437	7,292,024	-438,587
	上天草市受託事業収益(一般)	283,175	277,977	5,198
	障害福祉サービス等事業収益	1,764,390	1,630,938	133,452
	自立支援給付費収益	1,665,920	1,545,600	120,320
介護給付費収益	945,200	866,430	78,770	
特例介護給付費収益	720,720	679,170	41,550	
特定費用収益	98,470	85,338	13,132	
生計困難者に対する相談支援事業収益		67,021	-67,021	
生計困難者に対する相談支援事業収益		67,021	-67,021	
生計困難者に対する相談支援事業収益		67,021	-67,021	
その他の事業収益	910,000		910,000	
その他の事業収益	910,000		910,000	
補助金事業収益	910,000		910,000	
経常経費寄附金収益	280,000	1,054,500	-774,500	
経常経費寄附金収益	280,000	1,054,500	-774,500	
サービス活動収益計(1)	342,495,435	369,723,319	-27,227,884	
人件費	243,915,977	262,008,825	-18,092,848	
役員報酬	187,872	150,336	37,536	
職員給料	154,654,606	160,956,639	-6,302,033	
職員賞与	21,064,364	20,974,445	89,919	
賞与引当金繰入	11,688,000	14,794,000	-3,106,000	
非常勤職員給与	15,533,282	19,282,076	-3,748,794	
退職給付費用	12,017,928	12,388,108	-370,180	
法定福利費	28,769,925	33,463,221	-4,693,296	

特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点区分事業活動計算書

（自）令和 5年 4月 1日（至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
増 減 の 部 用	費	事業費	54,797,093	57,632,627	-2,835,534
		給食費	23,386,559	22,829,972	556,587
		介護用品費	3,739,250	3,711,665	27,585
		医薬品費	255,204	342,037	-86,833
		保健衛生費	3,185,760	3,466,819	-281,059
		被服費	105,280	47,107	58,173
		教養娯楽費	1,753,006	1,494,965	258,041
		日用品費	732,336	890,840	-158,504
		水道光熱費	9,748,386	12,742,121	-2,993,735
		燃料費	1,070,760	953,678	117,082
		消耗器具備品費	2,679,411	2,979,083	-299,672
		保険料	3,648,100	3,440,555	207,545
		賃借料	2,864,440	2,712,682	151,758
		車輛費	1,359,876	1,555,265	-195,389
		雑費	268,725	465,838	-197,113
		事務費	54,593,663	57,137,505	-2,543,842
		福利厚生費	2,482,220	2,559,216	-76,996
		職員被服費	908,915	1,104,456	-195,541
		旅費交通費	23,925	328,443	-304,518
		研修研究費	1,705,179	912,666	792,513
		事務消耗品費	1,504,845	1,656,669	-151,824
		印刷製本費	2,850	13,995	-11,145
		水道光熱費	641,803	856,093	-214,290
		修繕費	1,724,238	4,737,396	-3,013,158
		通信運搬費	1,450,549	1,685,050	-234,501
		広報費	74,500	76,560	-2,060
		業務委託費	30,768,785	31,379,277	-610,492
		手数料	1,369,585	857,641	511,944
		賃借料	2,052,294	1,743,637	308,657
		土地・建物賃借料	700,000	1,400,000	-700,000
		租税公課	192,500	250,500	-58,000
		保守料	6,116,274	4,726,953	1,389,321
渉外費	356,000	587,000	-231,000		
諸会費	488,500	519,500	-31,000		
雑費	2,030,701	1,742,453	288,248		
生計困難者に対する相談支援事業支出		67,021	-67,021		
生計困難者に対する相談支援事業支出		67,021	-67,021		
生計困難者に対する相談支援事業支出		67,021	-67,021		
利用者負担軽減額	111,756	167,914	-56,158		
利用者負担軽減額	111,756	167,914	-56,158		
減価償却費	21,351,383	22,078,707	-727,324		
減価償却費	21,351,383	22,078,707	-727,324		
国庫補助金等特別積立金取崩額	-6,160,596	-6,085,053	-75,543		
国庫補助金等特別積立金取崩額	-6,160,596	-6,085,053	-75,543		
サービス活動費用計(2)	368,609,276	393,007,546	-24,398,270		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-26,113,841	-23,284,227	-2,829,614		
サー ビス 活 動	収 益	受取利息配当金収益	960	1,171	-211
		受取利息配当金収益	960	1,171	-211
		その他のサービス活動外収益	1,828,515	1,943,226	-114,711
		受入研修費収益	42,000	26,500	15,500
		利用者等外給食収益	115,288	109,375	5,913
		雑収益	1,671,227	1,807,351	-136,124
サービス活動外収益計(4)	1,829,475	1,944,397	-114,922		

特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点区分事業活動計算書

（自）令和 5年 4月 1日（至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
外 増 減 の 部	費			
	支払利息	1,357,067	1,498,023	-140,956
	支払利息	1,357,067	1,498,023	-140,956
	その他のサービス活動外費用	87,949	140,405	-52,456
	利用者等外給食費	69,139	89,456	-20,317
	雑損失	18,810	50,949	-32,139
	サービス活動外費用計(5)	1,445,016	1,638,428	-193,412
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	384,459	305,969	78,490
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	-25,729,382	-22,978,258	-2,751,124
特 別 増 減 の 部	収			
	固定資産受贈額	106,000	114,400	-8,400
	その他の受贈額	106,000	114,400	-8,400
	サービス区分間繰入金収益	8,000,000		8,000,000
	サービス区分間繰入金収益	8,000,000		8,000,000
	特別収益計(8)	8,106,000	114,400	7,991,600
	減			
	固定資産売却損・処分損		3	-3
	車輛運搬具売却損・処分損		1	-1
	器具及び備品売却損・処分損		2	-2
用				
国庫補助金等特別積立金積立額	2,457,000		2,457,000	
国庫補助金等特別積立金積立額	2,457,000		2,457,000	
サービス区分間繰入金費用	8,000,000		8,000,000	
サービス区分間繰入金費用	8,000,000		8,000,000	
特別費用計(9)	10,457,000	3	10,456,997	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-2,351,000	114,397	-2,465,397
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-28,080,382	-22,863,861	-5,216,521
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額(12)	126,568,227	149,432,088	-22,863,861
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	98,487,845	126,568,227	-28,080,382
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)			
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	98,487,845	126,568,227

特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産	130,069,399	163,649,067	-33,579,668	流 動 負 債	31,530,009	42,807,142	-11,277,133
普 通 預 金	75,311,861	105,314,831	-30,002,970	事 業 未 払 金	9,090,271	18,051,202	-8,960,931
事 業 未 収 金	52,237,536	55,372,567	-3,135,031	1年以内返済予定 設備資金借入金 預り金	7,666,000	9,000,000	-1,334,000
未 収 金		75,819	-75,819	職 員 預 り 金	27,966		27,966
未 収 補 助 金	2,457,000	2,835,000	-378,000	賞 与 引 当 金	3,057,772	961,940	2,095,832
立 替 金	10,000		10,000	固 定 負 債	11,688,000	14,794,000	-3,106,000
前 払 金	6,600	50,850	-44,250	設 備 資 金 借 入 金	94,340,770	100,463,887	-6,123,117
仮 払 金	46,402		46,402	退 職 給 付 金 引 当 金	70,330,000	77,996,000	-7,666,000
固 定 資 産	401,663,897	417,268,457	-15,604,560	負 債 の 部 合 計	24,010,770	22,467,887	1,542,883
基 本 財 産	354,758,355	372,181,124	-17,422,769		125,870,779	143,271,029	-17,400,250
土 地	120,946,856	120,946,856		純 資 産 の 部			
建 物	233,811,499	251,234,268	-17,422,769	基 本 金	216,759,934	216,759,934	
そ の 他 の 固 定 資 産	46,905,542	45,087,333	1,818,209	基 本 金	216,759,934	216,759,934	
建 物	33,753	164,127	-130,374	国 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 金	81,614,738	85,318,334	-3,703,596
構 築 物	209,431	244,633	-35,202	国 庫 補 助 金 等 特 別 積 立 金	81,614,738	85,318,334	-3,703,596
車 輛 運 搬 具	1,415,025	2,163,167	-748,142	そ の 他 の 積 立 金	9,000,000	9,000,000	
器 具 及 び 備 品	11,539,815	10,350,771	1,189,044	人 件 費 積 金	9,000,000	9,000,000	
権 利	371,548	371,548		次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	98,487,845	126,568,227	-28,080,382
退 職 給 付 引 当 資 産	24,010,770	22,467,887	1,542,883	次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	98,487,845	126,568,227	-28,080,382
人 件 費 積 立 資 産	9,000,000	9,000,000		(うち当期活動 増 減 差 額)	-28,080,382	-22,863,861	-5,216,521
差 入 保 証 金	25,200	25,200					
そ の 他 の 固 定 資 産	300,000	300,000		純 資 産 の 部 合 計	405,862,517	437,646,495	-31,783,978
資 産 の 部 合 計	531,733,296	580,917,524	-49,184,228	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	531,733,296	580,917,524	-49,184,228

	法人本部	特別養護老人ホーム	短期入所生活介護	デイサービスセンター	ヘルパーステーション	在宅介護支援センター	居宅介護支援	グループホームひめだ	ユニット	グループホームデイ	生計困難百レシキユー
		133,128,633	25,992,190	43,474,311	7,369,600	6,606,200	6,016,500	9,190,562	107,763,049		339,54
		108,412,608									108,41
		97,585,983									97,58
(公費)		375,903									37
(一般)		10,450,722									10,45
介護報酬収入			18,770,895	27,382,413	3,564,756						49,71
			18,531,756	27,382,413	3,564,756						49,47
			239,139								23
利用者負担金収入			2,195,555	3,084,007	395,408						5,61
公費			3,620		20,541						3
一般			2,165,364	3,084,007	374,867						5,62
収入(一般)			26,571								7
収入(介護報酬収入)								6,616,307	73,987,707		80,60
								6,616,307	73,987,707		80,60
収入(利用者負担金収)								881,463	8,364,053		9,24
一般								881,463	8,364,053		9,24
収入								5,992,980			5,99
収入								5,992,980			5,99
収入											12,70
支援総合事業収入				9,357,680	3,403,056						11,48
				8,421,912	3,062,142						11,48
(一般)				935,768	340,914						1,27
収入		23,377,025	5,025,740	3,143,319	6,380			1,692,792	24,293,289		57,55
		10,350,346	2,743,265	2,371,005				732,500	6,413,675		22,62
		4,053,875	135,525						3,618,960		7,80
		5,228,014	1,709,615					640,000	9,931,618		17,50
		3,744,790	267,145						4,329,036		8,33
収入			170,190	772,314	6,380			320,292			1,20
収入		1,339,000		506,892		6,606,200	23,520		1,118,000		9,55
(公費)		1,339,000							1,118,000		2,44
収入(公費)				223,717		6,606,200	23,520				6,80
収入(一般)				283,175							2
事業収入			744,540	767,500	252,350						1,70
収入			692,850	720,720	252,350						1,69
			692,850		252,350						9
収入				720,720							7
			51,690	46,780							9
											9
											2
	280,000										2
収入	280,000										2
	15	411		483				51			
収入	15	411		483				51			
	10,600	1,176,338	10,000	189,608	16,673		77,529	63,500	265,557		1,8
		12,000			6,000				24,000		
収入				111,638				3,750			1
	10,500	1,164,338	10,000	78,070	10,673		77,529	59,750	241,557		1,6
(1)	290,515	135,215,382	26,746,730	44,431,902	7,638,623	6,606,200	6,094,029	9,254,113	108,028,606		344,3
	144,768	103,821,029	8,344,095	34,897,192	9,910,727	5,014,721	7,185,791	13,299,778	62,318,658		244,9
	144,768	43,104									1
		64,200,870	5,144,584	22,522,401	7,320,720	4,186,526	4,082,087	8,342,936	38,854,482		154,6
		15,672,329	1,037,741	4,825,754	1,165,781	482,283	1,513,231	1,937,894	9,223,351		35,8
日		8,893,882	582,170	2,040,104					4,017,126		15,5
		3,546,734	663,755	1,074,500	342,500	90,888	311,612	1,115,000	2,787,721		9,9
		11,464,110	915,845	4,434,433	1,081,726	255,024	1,278,861	1,903,948	7,435,978		28,7
		21,397,637	6,300,020	8,724,729	535,532	279,785	140,981	1,387,350	16,031,059		54,7
		9,622,805	2,732,063	3,279,810				605,997	7,145,884		23,3
		1,857,677	556,970	7,014					1,317,589		3,7
		183,042	42,308	3,829					26,025		2
		1,014,855	318,282	677,205	116,907	46,738	24,991	76,518	910,264		3,1
		85,126	17,936						2,218		1
		577,352	138,247	579,141	591	278	253	12,227	444,977		1,7
		239,272	80,154	167,609				7,017	238,284		7
		3,317,729	1,043,688	1,817,451	15,344	8,030	7,313	467,646	3,071,185		9,7
		437,282	126,497	165,050					341,931		1,0
出		1,159,725	368,319	405,353	1,075	685	389	24,306	719,559		2,6
		1,236,465	390,869	727,944	196,769	159,671	73,221	12,390	850,771		3,6
		1,274,247	372,486	262,940				133,760	821,007		2,8
		253,064	74,475	611,710	204,906	64,383	34,814	37,489	79,035		1,3
		138,996	37,726	19,673				10,000	62,330		2
	151,701	23,060,516	5,903,409	7,909,215	673,929	1,271,583	606,959	1,805,291	13,211,060		54,5
		931,176	284,917	364,978	91,172	63,983	31,455	165,612	548,927		2,4
		243,934	97,512	153,722	40,455	34,866	10,329	97,722	230,375		9
		12,103	3,682	3,965					4,175		1,7
		536,045	136,288	199,165	20,551	323,562	118,416	22,000	349,152		1,5
		816,460	226,675	31,713	36,402	92,160	45,077	59,600	196,758		1,5
		83	17			1,099	1,001	370	280		
		226,177	69,801		138,335	83,999	42,201		81,301		
		822,146	290,879	272,267	71,090			15,345	252,511		1,7
		637,552	160,438	116,533	2,380	92,387	48,537	132,973	259,749		1,4
		41,026	14,074						19,400		
	67,106	13,969,120	3,220,964	4,075,646	66,718	46,086	20,632	567,343	8,735,170		30,7
	1,595	410,504	151,100	765,294	6,787	335	105	2,112	31,753		1,7
		692,727	185,869	482,120	17,160	294,081	163,619	7,326	209,392		2,0
支出		83,370	16,630	100,000				500,000			
		35,083	15,620	113,400					28,397		
		2,306,876	673,658	980,760	123,273	208,657	122,340	133,458	1,567,252		6,7
	43,000	172,576	34,424	10,000	26,500				69,500		
	40,000	176,016	73,859	36,000	15,000	20,000			127,625		
		947,542	247,002	203,652	18,106	10,379	3,247	101,430	499,343		2,0
		104,831		6,925							
		104,831		6,925							
		31,487							1,325,580		1,7
		31,487							1,325,580		1,7
				65,389				3,750	18,810		
支出				65,389				3,750			
(2)	296,469	148,415,500	20,547,524	51,596,525	11,127,113	6,566,089	7,933,731	16,496,169	92,905,167		355,7
(3)=(1)-(2)	-5,954	-13,200,118	6,199,206	-7,164,623	-3,488,490	40,111	-1,839,702	-7,242,056	15,123,439		-11,7
計(4)		2,508,000							6,492,000		9,1
清算支出		2,508,000							6,492,000		9,1
金庫支出		2,056,120		350,240					1,691,580		4,4
支出		2,056,120		350,240					1,691,580		4,4
計(5)		4,564,120		350,240					8,183,580		13,1
繰越(6)=(4)-(5)		4,564,120		-350,240					-8,183,580		-13,1
									49,020		
取崩収入									49,020		8,8
金収入	40,000	8,000,000									8,8
入金収入	40,000	8,000,000							49,020		8,8
上る収入計(7)	40,000	8,000,000									8,8
		1,042,492		309,170	49,020		105,780	118,250	490,716		2,2
支出		1,042,492		309,170	49,020		105,780	118,250	490,716		2,2
金支出		20,000		8,000,000					20,000		8,8
入金支出		20,000		8,000,000					20,000		8,8
出計(8)		1,062,492		8,309,170	49,020		105,780	118,250	51		

計算書類に対する注記

社会福祉法人 姫戸福祉会

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 建物及び付属設備、構築物、車両運搬具、器具及び備品

平成25年3月31日以前は旧定率法または定率法、平成25年4月1日以降事業年度から定額法によって

いる。

② リース資産

該当なし

(4) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

② 徴収不能引当金

該当なし

③ 退職給付引当金

熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済制度に加入している職員に係る掛け金納付額のうち法人の負担額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(6) リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引

引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(7) 税効果会計の適用について

該当なし

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

法人で採用する退職給付制度は以下のとおりである。

(1) 社会福祉施設職員等退職手当共済制度

加入対象となる職員について、独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入している。

(2) 熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済制度

加入対象となる職員について、熊本県社会福祉協議会の実施する退職共済制度に加入している。

5. 法人が作成する計算書類等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類(第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式)

(2) 事業区分別内訳表(第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)

当法人では社会福祉事業である介護保険事業のみをおこなっており作成していない。

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)

当法人は1拠点のみであり作成していない。

(4) 公益事業及び収益事業における拠点区分別内訳表(第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)

当法人では公益事業及び収益事業を実施していない為作成していない。

(5) 翔洋苑拠点計算書類(第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)

(6) 拠点区分事業活動明細書(別紙3⑩)、拠点区分資金収支明細書(別紙3⑩)

(7) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア、特別養護老人ホーム翔洋苑拠点区分(社会福祉事業)

「特別養護老人ホーム翔洋苑」

「特別養護老人ホーム翔洋苑ユニット棟」

「翔洋苑デイサービスセンター」

「姫戸町在宅介護支援センター」

「姫戸町ホームヘルパーステーション翔洋苑」

「居宅介護支援事業」

「短期入所生活介護事業」

「認知症対応型共同生活介護グループホームひめど」

「生計困難者レスキュー」

「法人本部」

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	120,946,856	0	0	120,946,856
建物	251,234,268	0	17,422,769	233,811,499
合 計	372,181,124	0	17,422,769	354,758,355

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し 該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

土地（基本財産）	48,532,856円
建物（基本財産）	129,324,920円
計	177,857,776円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	計 77,996,000円
-----------------------	---------------

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物（基本財産）	434,420,102	200,608,603	233,811,499
建物	4,994,201	4,960,448	33,753
構築物	1,473,733	1,264,302	209,431
車両運搬具	6,823,090	5,408,065	1,415,025
器具及び備品	58,434,962	46,895,147	11,539,815
合 計	506,146,088	259,136,565	247,009,523

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の 当期末残高
事業未収金	52,237,536	0	52,237,536
未収補助金	2,457,000	0	2,457,000
合 計	54,694,536	0	54,694,536

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。
該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。
該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

財 産 目 録

令和 6年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
普通預金	肥後銀行松島支店 3口計 あまくさ農協上支所 4口計 天草信用金庫龍ヶ岳支店 1口 姫戸郵便局 1口	— — — —	運転資金として " " "	— — — —	— — — —	48,979,300 16,236,057 6,725,807 3,370,697
事業未収金	熊本県国民健康保険団体連合会他	—	小計	—	—	75,311,851
未収補助金	熊本県他	—	2・3月分介護施設サービス報酬他	—	—	52,237,536
立替金	—	—	高齢者施設等物価高騰対策支援金他	—	—	2,457,000
前払金	富士山マガジンサービス	—	R5年度年間購読料	—	—	10,000
仮払金	1・2月分県退職共済掛金のうち退職者分一時支払分	—	—	—	—	6,600
流動資産合計						46,402
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	上天草市姫戸町姫浦3055-106 (2,413.8㎡) 特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	72,414,000	—	72,414,000
	上天草市姫戸町姫浦3055-45 (1,654.3㎡) 特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	41,032,856	—	41,032,856
	上天草市姫戸町姫浦3055-45 (331.46㎡) 特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	7,500,000	—	7,500,000
建物	上天草市姫戸町姫浦3055-106 2004.83㎡ 特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点	1991	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	104,612,400	90,125,909	120,946,856
	上天草市姫戸町姫浦3055-45 1737.21㎡ 特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点	2011	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	239,807,614	110,482,694	129,324,920
基本財産合計						233,811,499
(2) その他の固定資産						
建物	イナバ物置設置工事特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点	2008	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	104,420	104,419	1
	イナバ物置設置工事 特別養護老人ホーム 翔洋苑拠点 (グループホーム) 電気設備他内装工事一式	2005	第2種社会福祉事業であるグループホーム等に使用している。	4,889,781	4,856,029	33,752
構築物	地下水ボーリング工事他	—	小計	—	—	33,753
車両運搬具	トヨタラクティス他 8台	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	1,473,733	1,264,302	209,431
器具及び備品	電動ベッド・車椅子他	—	利用者送迎用	6,823,090	5,408,065	1,415,025
権利	電話加入権 0969-58-3611他	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	58,434,962	46,895,147	11,539,815
退職給付引当資産	熊本県民間福祉施設事業従事者退職共済掛金	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	—	—	371,548
人件費積立資産	定期貯金 姫戸郵便局	—	将来における職員の人件費支給の為に積立している	24,010,770	—	24,010,770
差入保証金	上天草市公営住宅	—	将来における人件費支払の為に積み立てている	9,000,000	—	9,000,000
その他の固定資産	納骨堂	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している。	25,200	—	25,200
		—		300,000	—	300,000
その他の固定資産合計						46,905,542
固定資産合計						401,663,897
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分諸経費未払額	—	—	—	—	9,090,271
1年以内返済予定設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構他	—	—	—	—	7,666,000
預り金	—	—	—	—	—	27,966
職員預り金	3月分源泉所得税他	—	—	—	—	3,057,772
賞与引当金	翌期支給予定の賞与見込額の内当期帰属額	—	—	—	—	11,688,000
流動負債合計						31,530,009
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人 福祉医療機構他	—	—	—	—	70,330,000
退職給付引当金	熊本県民間福祉施設事業従事者退職共済掛金	—	—	—	—	24,010,770
固定負債合計						94,340,770
負債合計						125,870,779
差引純資産						405,862,517